

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 国語 科目 論理国語

教科： 国語 科目： 論理国語 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：1組：武田 2組：高世 3組：金森 4組：武田 5組：金森 6組：金森 7組：高世 8組：高世

使用教科書：（ 143筑摩現国710『論理国語』（筑摩書房） ）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 論理国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をも深め、言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	多様性のほうへ 【知識及び技能】 読解を通して、言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 読解を通して、評論文という評論文という文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが要旨を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 学習の見通しをもって言葉がもつ価値への認識を深めようとする。 定期考査	・指導事項 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握する。 ・教材 「自然を守る」ということ 「貨幣共同体」 ・一人1台端末の活用 等 語句の意味を調べる。 自分の意見を分かりやすく伝える。		○	○	【知識及び技能】 読解を通して、言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 読解を通して、評論文という評論文という文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが要旨を把握することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 学習の見通しをもって言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。	○	○	○	10
	可視化する力 【知識及び技能】 文中に含まれた語句を通して、論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 読解を通して、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりする。 定期考査	・指導事項 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫する。 ・教材 「つながりと秩序」 「真実の百面相」 「死の恐怖について」 ・一人1台端末の活用 等 語句の意味を調べる。 意見を交流する。		○	○	【知識及び技能】 文中に含まれた語句を通して、論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 読解を通して、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりすることができる。	○	○	○	15
	語りと世界 【知識及び技能】 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 読解を通して、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとする。 定期考査	・指導事項 論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、表現や進行など話合いの仕方や結論の出し方を工夫する。 ・教材 「ことばへの問い」 「物語としての自己」 「ポピュリズムとは何か」 ・一人1台端末の活用 等 メモを取る。 自分の文章を校正し、発表する。		○	○	【知識及び技能】 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 読解を通して、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査						○	○		1
2							○	○		1

学 期	「近代」を再読する 【知識及び技能】 読解を通して、主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 読解を通して、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとする。	・指導事項 論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成を評価する。 目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめ、自分の文章の長や課題を捉え直したりする。 ・教材 「主義は広大なる事」 「自由の説」 「何のための「自由」か」 ・一人1 台端末の活用 等 メモを取る。 自分の文章を校正し、発表する。	○	○	【知識及び技能】 読解を通して、主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 読解を通して、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査					○	○		1
3 学 期	記号がつくる世界 【知識及び技能】 読解を通して、文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 評論文という文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要旨を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとする。	・指導事項 実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、情報を相互に関係付けながら自分の考えを深める。 目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめ、自分の文章の長や課題を捉え直したりする。 ・教材 「ものごと」 「過剰性と稀少性」 ・一人1 台端末の活用 等 目的や意図に応じて図表を読む。 情報の妥当性について検討する。	○	○	【知識及び技能】 読解を通して、文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 評論文という文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要旨を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとする。	○	○	○	14
	定期考査					○	○		1

高等学校 令和 6 年度（3 学年用） 国語 科目 古典探究

教 科： 0 科 目： 古典探究 単位数： 4 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 5 組

教科担当者：1組：金森 2組：金森 3組：高世 4組：高世 5組：高世

使用教科書： 50大修館古探706『古典探究古文編』（大修館書店）、50大修館古探707『古典探究漢文編』（大修館書店）

教科 古典探究 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 古典探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりする。	言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚をも深め、言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話	書	読					
1 学 期	随筆・物語(1)・漢詩 【知識及び技能】 ・作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・「読むこと」において、作品の内容や形式について、批評したり討論したりする。 ・「読むこと」において、異なる時代に成立した随筆や小説、物語などを読み比べ、それらを比較して論じたり評論したりする活動する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・唐詩に興味を持ち、作者の主張から多様な価値観を読み取る。 定期考査	【指導事項】 ・随筆において具体例をあげながら読者をひきつけていく独特の文体を味わう。 ・古語の意味と効果を正確に捉える。 ・登場人物の人物像をとらえる。 ・文章表現の特色と物語の展開の仕方について理解する。 ・故事成語の意味や日本への影響を理解する。 【教材】 「二月つごもりごろに」枕草子 「肝試し」大鏡 「刎頸之交」史記（列伝） 「子夜呉歌」漢詩 【一人1台端末の活用 等】 ・語句の意味を調べる。 ・意見を交流する。	○	○		【知識及び技能】 ・作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 ・「読むこと」において、作品の内容や形式について、批評したり討論したりしている。 ・「読むこと」において、異なる時代に成立した随筆や小説、物語などを読み比べ、それらを比較して論じたり評論したりする活動をしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・平安時代の貴族の暮らしに興味をもち、宮中のしきたりや制度について理解しようとしている。 ・唐詩に興味を持ち、登場人物の言動から多様な価値観を読み取ろうとしている。	○	○	○	20
	物語(2)・漢詩 【知識及び技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持つ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとする意識を持つ。 定期考査	【指導事項】 ・物語の表現の特徴をとらえる。 ・登場人物の言動や心中思惟を的確にとらえ、人物造型を把握する。 ・引歌表現や歌ことば・歌の修辭の効果について理解する。 ・古体詩の形式に関する知識を得ることで、既習の近体詩の特徴を理解する。 ・人生の哀歓や苦悩、社会に対する省察や批判等を読み取り、深く味わう。 【教材】 「須磨の秋」源氏物語 「紫の上の死」源氏物語 「売炭翁」白氏文集 【一人1台端末の活用 等】 ・語句の意味を調べる。 ・意見を交流する。	○	○		【知識及び技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	○	○	○	35
	定期考査						○	○		1

2 学 期	日記・思想 【知識・技能】 ・表現の特色に着目して情景と心情の描写の妙を把握する。 ・作者の人物批評を把握し、批評がどのように展開しているか理解している。 ・孔子の門人評や、孔子と門人との対話から、師弟のあり方を考える。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉える。 ・話題の人物について作者の評言を理解し、その評について自らの考えを持っている。 ・道家・墨家・法家の「愛」のとらえ方の違いを知り、それぞれの思想の特質を理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日記に興味をもち、関連するほかの作品との関係をふまえて内容の理解を深め、作品の価値を考察しようとしている。	【指導事項】 ・表現の特色に着目して情景と心情の描写の妙を把握する。 ・関連するほかの作品との関係をふまえて内容の理解を深める。 【教材】 「和泉式部と清少納言」紫式部日記 「紫式部のこと」無名草子 「暴虎馮河」論語 「子路問君子」論語 【一人1台端末の活用 等】 ・語句の意味を調べる。 ・意見を交流する。	○	○							
	定期考査								○	○	

3 学 期	芸能・長恨歌と日本の文学 【知識・技能】 - 言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深める。 【思考・判断・表現】 - 関連する複数の文章に表れているものの見方や考え方をもとに、自分のものの見方や考え方を深める。 - 叙述表現の巧みさを鑑賞し、登場人物の感情を的確に読み取る。 【主体的に学習に取り組む態度】 - 能・浄瑠璃に興味をもち、能に関するものの見方や考え方に親しみ、自分のものの見方や考え方を豊かにする。 - 教材に興味をもって取り組み、既習の詩と関連づけて「長恨歌」の表現を多角的にとらえようとしている。	【指導事項】 - 能・浄瑠璃に関するものの見方や考え方の特徴を理解する。 - 本文に表れている言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解する。 【教材】 「因果の花」風姿花伝 「道行」曾根崎心中 「長恨歌」白氏文集 【一人1台端末の活用 等】 - 語句の意味を調べる。 - 意見を交流する。	○	○	【知識・技能】 - 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、関心をもった事柄に関連するさまざまな古典の作品や文章などをもとに、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 - 能・浄瑠璃に興味をもち、浄瑠璃に関するものの見方や考え方に親しみ、自分のものの見方や考え方を豊かにしようとしている。 - 近体詩について興味をもち、日本の言語文化に与えた影響について理解しようとしている。	○	○	○	35
	定期考査					○	○		1
	物語(3)・小説 【知識・技能】 - 時間の経過による言葉の変化や、現代まで続く言語文化に古典が与えた影響について十分に理解し、本文の読解に生かしている。 『古事記』の文学史的意義について理解し、説明している。 『雨月物語』が典拠とした中国小説を認識し、翻案作品とはどのようなものか説明している。 【思考・判断・表現】 - 上代語特有の語法や語彙に注意して神話のおもしろさと魅力を読み味わっている。 - 神話の型や構成を意識し、表れた古代の人々の思想や生活を的確に読み取っている。 - 勝四郎と宮木の言動を整理し、それぞれの人物像や心情を読み取り、その違いを説明している。 - 中島敦「山月記」との比較を通じて、中国古典小説としての「人虎伝」のおもしろさを理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 - 古典に興味をもち、多角的な視点から言語文化について自分の考えを広げたり深めたりする。	【指導事項】 - 古典の作品を多角的にとらえ、古代より現代まで続く言語文化について自分の考えを広げたり深めたりする。 【教材】 「海幸山幸」古事記 「浅茅が宿」雨月物語 「我將に託する所有らんとす」人虎伝 【一人1台端末の活用 等】 - 語句の意味を調べる。 - 意見を交流する。	○	○	【知識・技能】 - 時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することをおして、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。 「人虎伝」と「山月記」それぞれの成立背景や相違点について理解し、自分の解釈を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 - 古典に興味をもち、多角的な視点から言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。 - 中島敦「山月記」との比較を通じ、共通点と相違点を自ら発見しようとしている。	○	○	○	28
	定期考査					○	○		1

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 国語 科目 現代文演習（自選）

教科：国語 科目：現代文演習 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 1組～6組

教科担当者：葭田 英一

使用教科書：（143筑摩現国710『論理国語』（筑摩書房）補助教材『現代文読解問題』（駿台文庫））

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代文演習（自選） の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をも深め、言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	多様性のほうへ 【知識及び技能】 読解を通して、言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 読解を通して、評論文という評論文という文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 学習の見通しをもって言葉がもつ価値への認識を深めようとする。	・指導事項 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握する。 ・教材 「自然を守る」ということ 「貨幣共同体」 ・一人1台端末の活用 等 語句の意味を調べる。 自分の意見を分かりやすく伝える。 大学入試問題演習を行う。			○ ○	【知識及び技能】 読解を通して、言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 読解を通して、評論文という評論文という文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握することができている。 【学びに向かう力、人間性等】 学習の見通しをもって言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。	○	○	○	10
	定期考査						○	○		1
	可視化する力 【知識及び技能】 文中に含まれた語句を通して、論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 読解を通して、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要定期考査	・指導事項 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫する。 ・教材 「つながりと秩序」 「真実の百面相」 「死の恐怖について」 ・一人1台端末の活用 等 語句の意味を調べる。 大学入試問題演習を行う。			○ ○	【知識及び技能】 文中に含まれた語句を通して、論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができている。 【思考力、判断力、表現力等】 主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈することができている。 【学びに向かう力、人間性等】 読解を通して、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりすることができている。	○	○	○	15
	定期考査						○	○		1
2	語りと世界 【知識及び技能】 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 読解を通して、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとする定期考査	・指導事項 論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、表現や進行など話合いの仕方や結論の出し方を工夫する。 ・教材 「ことばへの問い」 「物語としての自己」 「ポピュリズムとは何か」 ・一人1台端末の活用 等 メモを取る。 自分の文章を校正し、発表する。 大学入試問題演習を行う。			○ ○	【知識及び技能】 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 読解を通して、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めることができている。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査						○	○		1

学 期	「近代」を再読する 【知識及び技能】 読解を通して、主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 読解を通して、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとする。	・指導事項 論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成を評価する。 目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめ、自分の文章の特長や課題を捉え直したりする。 ・教材 「主義は広大なる事」 「自由の説」 「何のための「自由」か」 ・一人1台端末の活用 等 自分の文章を校正し、発表する。 大学入試問題演習を行う。	○	○	【知識及び技能】 読解を通して、主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 読解を通して、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査					○	○		1
3 学 期	記号がつくる世界 【知識及び技能】 読解を通して、文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 評論文という文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にししながら要旨を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとする。	・指導事項 実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、情報を相互に関係付けながら自分の考えを深める。 目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめ、自分の文章の特長や課題を捉え直したりする。 ・教材 「ものごと」 「過剰性と稀少性」 ・一人1台端末の活用 等 目的や意図に応じて図表を読む。 情報の妥当性について検討する。 大学入試問題演習を行う。	○	○	【知識及び技能】 読解を通して、文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 評論文という文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にししながら要旨を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとする。	○	○	○	14
	定期考査					○	○		1

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 国語 科目 古典演習α（必選）

教科： 国語 科目： 古典演習α（必選） 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 ～6組

教科担当者： 葭田 英一

使用教科書：（ 50大修館706/707『古典探究』（大修館書店） ）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 古典演習α（必選） の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をも深め、言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	説話 【知識及び技能】 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 説話という文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・説話文学に興味をもち、登場人物の言動から多様な価値観を読み取る。	・説話に描かれた登場人物それぞれのことばを具体的におさえながら、心情の変化や批判的思考を読み取る。 ・基本的な古典文法や古語について確認する。 ・説話の特徴や、この話が語り伝えられた意義について理解する。 ・教材 「古今著聞集」 「今昔物語集」 「今昔物語」 「故事・逸話」 ・一人1台端末の活用 等 語句の意味を調べる。 視覚的に構造をとらえる。			○ ○	知識・技能】 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・説話文学に興味をもち、登場人物の言動から多様な価値観を読み取ろうとしている。 ・古文の説話と現代のさまざまな文化との繋がりを理解しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査						○	○		1
	随筆 【知識及び技能】 ・作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・「読むこと」において、作品の内容や形式について、批評したり討論したりする。 ・「読むこと」において、異なる時代に成立した随筆や小説、物語などを読み比べ、それらを比較して論じたり評論したりする活動する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・唐詩に興味を持ち、作者の主張から多様な価値観を読み取ろうとしている。 ・古文の説話と現代のさまざまな文化との繋がりを理解しようとする意識を持つ。	・指導事項 ・随筆において具体例をあげながら読者をひきつけていく独特の文体を味わう。 ・古語の意味と効果を正確に捉える。 ・教材 「徒然草」「枕草子」 「刎頸の交はり」「漢詩」 ・一人1台端末の活用 等 語句の意味を調べる。 意見を交流する。			○ ○	【知識及び技能】 ・作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 ・「読むこと」において、作品の内容や形式について、批評したり討論したりしている。 ・「読むこと」において、異なる時代に成立した随筆や小説、物語などを読み比べ、それらを比較して論じたり評論したりする活動をしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・唐詩に興味を持ち、登場人物の言動から多様な価値観を読み取ろうとしている。 ・古文の説話と現代のさまざまな文化との繋がりを理解しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査						○	○		1

2 学 期	物語 (1) 【知識・技能】 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解する。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解する。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉える。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察する。 ・同じ題材を取り上げた複数の古典の作品や文章を読み比べ、思想や感情などの共通点や相違点について論述したり発表する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、物語の内容や作品の背景、歌に込められた登場人物の思いをとらえる。	・指導事項 登場人物の人物像をとらえる。 文章表現の特色と物語の展開の仕方について理解する。 故事成語の意味や日本への影響を理解する。 表現や進行など話合いの仕方や結論の出し方を工夫する。 ・教材 源氏物語「葵の上と物の怪」「須磨の秋」 「暴虎馮河」「過猶不及」 ・一人1台端末の活用 等 当時の文化を調べる。	○	○	【知識・技能】 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 ・同じ題材を取り上げた複数の古典の作品や文章を読み比べ、思想や感情などの共通点や相違点について論述したり発表したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、物語の内容や作品の背景、歌に込められた登場人物の思いをとらえようとしている。	○	○	○	14
	定期考査					○	○		1
	物語 【知識及び技能】 ・作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 ・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえる。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物のものの見方、感じ方を読み味わおうとする意識を持つ。	・指導事項 話の展開をとらえ、作者が話に込めた意図を読み取る。 ・漢詩の形式や詩の表現の特徴を理解する。 ・自然をうたった詩、友情をうたった詩、人生をうたった詩を、それぞれ読み味わい、表現の工夫をとらえる。 ・教材 大鏡「三船の才」「鶯宿梅」 「長恨歌」「無之以為用」 ・一人1台端末の活用 等 メモを取る。 自分の文章を校正し、発表する。	○	○	【知識及び技能】 ・作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作者のものの見方、感じ方を読み味わおうとしている。	○	○	○	14
	定期考査					○	○		1

3 学 期	物語 (2) 【知識及び技能】 - 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 - 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえる。 「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈する。 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価する。 「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえて、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持つ。 【学びに向かう力、人間性等】 - 言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとする意識を持つ。	- 指導事項 - 物語の表現の特徴をとらえる。 - 物語の展開を整理し、登場人物の心情を理解する。 - 思想について書かれた文章を読み、現代に生きている言葉や考え方について理解を深める。 ・教材 「提中物語」「蜻蛉日記」「風蕭蕭として易水寒し」「図窮まりて匕首見る」 ・一人1台端末の活用 等 目的や意図に応じて図表を読む。情報の妥当性について検討する。	○ ○	【知識及び技能】 - 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 〔(2)ア〕 - 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 〔(2)ウ〕 【思考力・判断力・表現力等】 「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえている。〔B (1)ア〕 「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。〔B (1)イ〕 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。〔B (1)ウ〕 「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえて、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。〔B (1)オ〕 【学びに向かう力、人間性等】 - 言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。				14
定期考査								1

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 国語 科目 古典演習α（自選）

教科： 国語 科目： 古典演習α（自選） 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 ～5組

教科担当者： 葭田 英一

使用教科書：（ 50大修館706/707『古典探究』（大修館書店） ）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 古典演習α（自選） の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をも深め、言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
説話 【知識及び技能】 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 説話という文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・説話文学に興味をもち、登場人物の言動から多様な価値観を読み取る。	・説話に描かれた登場人物それぞれのことばを具体的におさえながら、心情の変化や批判的思考を読み取る。 ・基本的な古典文法や古語について確認する。 ・説話の特徴や、この話が語り伝えられた意義について理解する。 ・教材 「古今著聞集」 「今昔物語集」 「今昔物語」 「故事・逸話」 ・一人1台端末の活用 等 語句の意味を調べる。 視覚的に構造をとらえる。			○ ○	知識・技能】 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・説話文学に興味をもち、登場人物の言動から多様な価値観を読み取ろうとしている。 ・古文の説話と現代のさまざまな文化との繋がりを理解しようとしている。	○	○	○	10
定期考査						○	○		1
1 学期 随筆 【知識及び技能】 ・作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・「読むこと」において、作品の内容や形式について、批評したり討論したりする。 ・「読むこと」において、異なる時代に成立した随筆や小説、物語などを読み比べ、それらを比較して論じたり評論したりする活動する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・唐詩に興味を持ち、作者の主張から多様な価値観を読み取ろうとしている。 ・古文の説話と現代のさまざまな文化との繋がりを理解しようとする意識を持つ。	・指導事項 ・随筆において具体例をあげながら読者をひきつけていく独特の文体を味わう。 ・古語の意味と効果を正確に捉える。 ・教材 「徒然草」「枕草子」 「刎頸の交はり」「漢詩」 ・一人1台端末の活用 等 語句の意味を調べる。 意見を交流する。			○ ○	【知識及び技能】 ・作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 ・「読むこと」において、作品の内容や形式について、批評したり討論したりしている。 ・「読むこと」において、異なる時代に成立した随筆や小説、物語などを読み比べ、それらを比較して論じたり評論したりする活動をしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・唐詩に興味を持ち、登場人物の言動から多様な価値観を読み取ろうとしている。 ・古文の説話と現代のさまざまな文化との繋がりを理解しようとしている。	○	○	○	13
定期考査						○	○		1

2 学 期	物語 (1) 【知識・技能】 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解する。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解する。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉える。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察する。 ・同じ題材を取り上げた複数の古典の作品や文章を読み比べ、思想や感情などの共通点や相違点について論述したり発表する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、物語の内容や作品の背景、歌に込められた登場人物の思いをとらえる。	・指導事項 登場人物の人物像をとらえる。文章表現の特色と物語の展開の仕方について理解する。 故事成語の意味や日本への影響を理解する。 表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫する。 ・教材 源氏物語「葵の上と物の怪」「須磨の秋」 「暴虎馮河」「過猶不及」 ・一人1台端末の活用 等 当時の文化を調べる。	○	○	【知識・技能】 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 ・同じ題材を取り上げた複数の古典の作品や文章を読み比べ、思想や感情などの共通点や相違点について論述したり発表したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、物語の内容や作品の背景、歌に込められた登場人物の思いをとらえようとしている。	○	○	○	14
	定期考査					○	○		1
	物語 【知識及び技能】 ・作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 ・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえる。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物のものの見方、感じ方を読み味わおうとする意識を持つ。	・指導事項 話の展開をとらえ、作者が話に込めた意図を読み取る。 ・漢詩の形式や詩の表現の特徴を理解する。 ・自然をうたった詩、友情をうたった詩、人生をうたった詩を、それぞれ読み味わい、表現の工夫をとらえる。 ・教材 大鏡「三船の才」「鶯宿梅」 「長恨歌」「無之以為用」 ・一人1台端末の活用 等 メモを取る。 自分の文章を校正し、発表する。	○	○	【知識及び技能】 ・作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作者のものの見方、感じ方を読み味わおうとしている。	○	○	○	14
	定期考査						○	○	

3 学 期	物語 (2) 【知識及び技能】 - 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 - 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえる。 「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈する。 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価する。 「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持つ。 【学びに向かう力、人間性等】 - 言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとする意識を持つ。	- 指導事項 - 物語の表現の特徴をとらえる。 - 物語の展開を整理し、登場人物の心情を理解する。 - 思想について書かれた文章を読み、現代に生きている言葉や考え方について理解を深める。 - 教材 「提中物語」「蜻蛉日記」「風蕭蕭として易水寒し」「図窮まりて匕首見る」 - 一人1台端末の活用 等 目的や意図に応じて図表を読む。情報の妥当性について検討する。	○	○	【知識及び技能】 - 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 〔(2)ア〕 - 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 〔(2)ウ〕 【思考力・判断力・表現力等】 「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえている。〔B (1)ア〕 「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。〔B (1)イ〕 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。〔B (1)ウ〕 「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。〔B (1)オ〕 【学びに向かう力、人間性等】 - 言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。				14	1
定期考査										1

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 国語 科目 古典演習β

教科： 国語 科目： 古典演習β 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組 ・ 6 ～ 8 組

教科担当者：金森雄大

使用教科書：（ 50大修館706/707『古典探究』（大修館書店） ）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 古典演習β の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をも深め、言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	説話 【知識及び技能】 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 説話という文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・説話文学に興味をもち、登場人物の言動から多様な価値観を読み取る。	・説話に描かれた登場人物それぞれのことを具体的におさえながら、心情の変化や批判的思考を読み取る。 ・基本的な古典文法や古語について確認する。 ・説話の特徴や、この話が語り伝えられた意義について理解する。 ・教材 「古今著聞集」 「今昔物語集」 「今昔物語」 「故事・逸話」 ・一人1台端末の活用 等 語句の意味を調べる。 視覚的に構造をとらえる。			○ ○	知識・技能】 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・説話文学に興味をもち、登場人物の言動から多様な価値観を読み取ろうとしている。 ・古文の説話と現代のさまざまな文化との繋がりを理解しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査						○	○		1
	随筆 【知識及び技能】 ・作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・「読むこと」において、作品の内容や形式について、批評したり討論したりする。 ・「読むこと」において、異なる時代に成立した随筆や小説、物語などを読み比べ、それらを比較して論じたり評論したりする活動をする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・唐詩に興味を持ち、作者の主張から多様な価値観を読み取ろうとしている。 ・古文の説話と現代のさまざまな文化との繋がりを理解しようとする意識を持つ。	・指導事項 ・随筆において具体例をあげながら読者をひきつけていく独特の文体を味わう。 ・古語の意味と効果を正確に捉える。 ・教材 「徒然草」「枕草子」 「刎頭の交はり」「漢詩」 ・一人1台端末の活用 等 語句の意味を調べる。 意見を交流する。			○ ○	【知識及び技能】 ・作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 ・「読むこと」において、作品の内容や形式について、批評したり討論したりしている。 ・「読むこと」において、異なる時代に成立した随筆や小説、物語などを読み比べ、それらを比較して論じたり評論したりする活動をしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・唐詩に興味を持ち、登場人物の言動から多様な価値観を読み取ろうとしている。 ・古文の説話と現代のさまざまな文化との繋がりを理解しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査						○	○		1

2 学 期	物語 (1) 【知識・技能】 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解する。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解する。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉える。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察する。 ・同じ題材を取り上げた複数の古典の作品や文章を読み比べ、思想や感情などの共通点や相違点について論述したり発表する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、物語の内容や作品の背景、歌に込められた登場人物の思いをとらえる。	・指導事項 登場人物の人物像をとらえる。 文章表現の特色と物語の展開の仕方について理解する。 故事成語の意味や日本への影響を理解する。 表現や進行など話合いの仕方や結論の出し方を工夫する。 ・教材 源氏物語「葵の上と物の怪」「須磨の秋」 「暴虎馮河」「過猶不及」 ・一人1台端末の活用 等 当時の文化を調べる。	○	○	【知識・技能】 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 ・同じ題材を取り上げた複数の古典の作品や文章を読み比べ、思想や感情などの共通点や相違点について論述したり発表したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、物語の内容や作品の背景、歌に込められた登場人物の思いをとらえようとしている。	○	○	○	14
	定期考査					○	○		1
	物語 【知識及び技能】 ・作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 ・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえる。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物のものの見方、感じ方を読み味わおうとする意識を持つ。	・指導事項 話の展開をとらえ、作者が話に込めた意図を読み取る。 ・漢詩の形式や詩の表現の特徴を理解する。 ・自然をうたった詩、友情をうたった詩、人生をうたった詩を、それぞれ読み味わい、表現の工夫をとらえる。 ・教材 大鏡「三船の才」「鶯宿梅」 「長恨歌」「無之以為用」 ・一人1台端末の活用 等 メモを取る。 自分の文章を校正し、発表する。	○	○	【知識及び技能】 ・作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作者のものの見方、感じ方を読み味わおうとしている。	○	○	○	14
	定期考査					○	○		1

3 学 期	物語 (2) 【知識及び技能】 - 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 - 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえる。 「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈する。 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価する。 「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえて、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持つ。 【学びに向かう力、人間性等】 - 言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとする意識を持つ。	- 指導事項 - 物語の表現の特徴をとらえる。 - 物語の展開を整理し、登場人物の心情を理解する。 - 思想について書かれた文章を読み、現代に生きている言葉や考え方について理解を深める。 ・教材 「提中物語」「蜻蛉日記」「風蕭蕭として易水寒し」「図窮まりて匕首見る」 ・一人1台端末の活用 等 目的や意図に応じて図表を読む。情報の妥当性について検討する。	○ ○	【知識及び技能】 - 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 〔(2)ア〕 - 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 〔(2)ウ〕 【思考力・判断力・表現力等】 「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえている。〔B (1)ア〕 「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。〔B (1)イ〕 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。〔B (1)ウ〕 「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえて、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。〔B (1)オ〕 【学びに向かう力、人間性等】 - 言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。				14
定期考査								1

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 地歴科 科目 世界史研究

教科：地歴科

科目：世界史研究

単位数：4 単位

対象学年組：第3学年 3組～5組

教科担当者：（3組：橋本）（4組：橋本）（5組：橋本）

使用教科書：（詳説世界史 世界史探究（山川出版社））

教科 地歴科

の目標：

【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解し、調査や諸資料からさまざまな情報を適切、効果的に調べまとめる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】地理・歴史に関わる事象の意味や意義、相互の関連を概念など活用して、多面的・多角的に考察したり表現したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】地理・歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現に向けて課題を主体的に探究する態度を養い、日本国民としての自覚と、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。

科目 世界史研究

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関連する諸事象を理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身につける。	図版や諸資料をもとに、世界の歴史の大きな枠組みと展開について多面的・多角的に考察し表現している。	世界の歴史の大きな枠組みと展開について、多面的な考察や深い理解を通して興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	【知識及び技能】 中世後期のヨーロッパ各地の動向と封建社会の変容に関連する諸事象の、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、諸資料から関連する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 中世後期のヨーロッパ各地の動向と封建社会の変容について、多面的・多角的に考察し表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 中世後期のヨーロッパ各地の動向と封建社会の変容について、興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	ヨーロッパ世界の変容と展開 ・自作プリント・ワークノート・資料集・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 封建社会の衰退と教皇権の衰退過程及び中央集権国家に向けた西ヨーロッパ各国の動きを理解している。 【思考・判断・表現】 図版や諸資料をもとに、中世後期の西欧各地の動向と封建社会の変容について、多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	【知識及び技能】 近世ヨーロッパ世界の動向に関連する諸事象の、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、諸資料から関連する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 近世ヨーロッパ世界の動向について、多面的・多角的に考察し、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 近世ヨーロッパ世界の動向について、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	近世ヨーロッパ世界の動向 ・自作プリント・ワークノート・資料集・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 近世ヨーロッパ世界の動向に関連する諸事象について理解し、諸資料から関連する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 図版や諸資料をもとに、近世ヨーロッパ世界の動向について、多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	16
	【知識及び技能】 産業革命と露大西洋革命に関連する諸事象の、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、諸資料から関連する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 産業革命と露大西洋革命について、よりよい社会実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養い、多面的・多角的に考察し表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 産業革命と露大西洋革命について、多面的・多角的な考察や深い理解を通して興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組むことができる。	産業革命と露大西洋革命 ・自作プリント・ワークノート・資料集・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 産業革命と露大西洋革命に関連する諸事象について理解し、諸資料から関連する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 図版や諸資料をもとに、産業革命と露大西洋革命に関連する諸事象について、多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	12
	【知識及び技能】 イギリスの優位と欧米国民国家の形成に関連する諸事象を理解し、諸資料から関連する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 イギリスの優位と欧米国民国家の形成について、課題を主体的に探究しようとする態度を養い、多面的・多角的に考察し表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 イギリスの優位と欧米国民国家について、多面的・多角的な考察や深い理解を通して興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組むことができる。	イギリスの優位と欧米国民国家の形成 ・自作プリント・ワークノート・資料集・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 イギリスの優位と欧米国民国家の形成に関連する諸事象を理解し、諸資料から関連する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 図版や諸資料をもとに、イギリスの優位と欧米国民国家の形成に関連する諸事象について、多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
2 学期	【知識及び技能】 帝国主義と2つの世界大戦に関連する諸事象を理解し、諸資料から関連する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 帝国主義と2つの世界大戦について、多面的・多角的に考察し表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 帝国主義と2つの世界大戦について、興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組むことができる。	帝国主義と2つの世界大戦 ・自作プリント・ワークノート・資料集・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 帝国主義と2つの世界大戦に関連する諸事象を理解し、諸資料から関連する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 図版や諸資料をもとに、帝国主義と2つの世界大戦に関連する諸事象について、多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	16
	【知識及び技能】 冷戦と第三世界の台頭に関連する諸事象を理解し、諸資料から関連する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 冷戦と第三世界の台頭について、多面的・多角的に考察し表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 冷戦と第三世界の台頭について、多面的・多角的な考察や深い理解を通して興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組むことができる。	冷戦と第三世界の台頭 ・自作プリント・ワークノート・資料集・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 冷戦と第三世界の台頭に関連する諸事象を理解し、諸資料から関連する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 図版や諸資料をもとに、冷戦と第三世界の台頭に関連する諸事象について、多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	24
	定期考査			○	○		1
	【知識及び技能】 冷戦の終結と今日の世界に関連する諸事象を理解し、諸資料から関連する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 冷戦の終結と今日の世界について、主体的に探究し、多面的・多角的に考察し表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 冷戦の終結と今日の世界について、興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	1 冷戦の終結と今日の世界 ・自作プリント・ワークノート・資料集・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 冷戦の終結と今日の世界に関連する諸事象の、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、諸資料から関連する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 図版や諸資料をもとに、冷戦の終結と今日の世界に関連する諸事象について、多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	18
	【知識及び技能】 冷戦の終結と今日の世界に関連する諸事象を理解し、諸資料から関連する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 冷戦の終結と今日の世界について多面的・多角的に考察し表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 冷戦の終結と今日の世界について、興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	2 冷戦の終結と今日の世界 ・自作プリント・ワークノート・資料集・一人2台端末の活用 等	【知識・技能】 冷戦の終結と今日の世界に関連する諸事象について、多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	20
3 学期	定期考査			○	○		1
	【知識及び技能】 地球世界の課題について、自らの疑問や探究したい課題を見つけ、その解決に向け調査・分析する技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 図版や諸資料をもとに、地球世界の課題について多面的・多角的に考察し、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 地球世界の課題について、多面的な考察や深い理解を通して興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	地球世界の課題 課題を見つけ、その解決に向けて個人またはグループで課題解決学習を行う。 ・自作プリント・ワークノート・資料集・一人2台端末の活用 等 地球世界の課題 探究の成果をレポートにまとめ、発表する。 ・自作プリント・ワークノート・資料集・一人2台端末の活用 等	【知識・技能】 自らの疑問や探究したい課題を個人またはグループで見つけ、その解決に向け調査・分析する技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 図版や諸資料をもとに、地球世界の課題について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って個人またはグループで学習に取り組もうとしている。	○	○	○	10

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 日本史研究

教 科： 地理歴史 科 目： 日本史研究 単位数： 4 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 4 組

教科担当者：（1～4組：安田 秀幸）

使用教科書：（ 詳説日本史（山川出版社） ）

教科 地理歴史 の目標： 社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵かん養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 日本史研究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるように	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在のつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵かん養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第8章 近世の幕開け 【知識及び技能】 村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流に関する諸資料から情報を読み取り、織豊政権の特色や貿易・対外関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 織豊政権の諸政策の目的や、ヨーロッパ諸国の進出がアジアに与えた影響などについて多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 時代の転換に着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。	1 織豊政権 2 桃山文化	【知識及び技能】 村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流に関する諸資料から情報を読み取り、織豊政権の特色や貿易・対外関係について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 織豊政権の諸政策の目的や、ヨーロッパ諸国の進出がアジアに与えた影響などについて多面的・多角的に考察し、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 時代の転換に着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現することができる。	○	○	○	5
	第9章 幕藩体制の成立と展開 【知識及び技能】 国家の形成と古墳文化について、中国大陸・朝鮮半島との関係に着目して、小国の形成過程や古墳の特色を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 中国の歴史書の記事、日本列島内外の金石文、小国の王墓の副葬品などをもとに、中国大陸・朝鮮半島との交渉がもつ意味や、小国の形成過程について多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して、小国の形成について考察することを通じ、古墳文化の展開とのつながりを見出す。	1 幕藩体制の成立 2 幕藩社会の構造 3 幕政の安定 4 経済の発展 5 元禄文化	【知識及び技能】 国家の形成と古墳文化について、中国大陸・朝鮮半島との関係に着目して、小国の形成過程や古墳の特色を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 中国の歴史書の記事、日本列島内外の金石文、小国の王墓の副葬品などをもとに、中国大陸・朝鮮半島との交渉がもつ意味や、小国の形成過程について多面的・多角的に考察し、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して、小国の形成について考察することを通じ、古墳文化の展開とのつながりを見出すことができる。	○	○	○	15
	第10章 幕藩体制の動揺 【知識及び技能】 幕府・諸藩の経済的窮乏、百姓一揆などに関する諸資料から情報を読み取り、享保の改革や田沼時代の諸政策の意義について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 商品作物の栽培や貨幣経済浸透により、米作基盤の幕藩体制が動揺する過程を踏まえ、飢饉や一揆が幕藩体制に与えた影響を考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 幕藩体制下の社会・経済の仕組みの変化や、幕府・諸藩の政策の変化について課題を見出し、主体的に追究する。	1 幕政の改革 2 宝暦・天明期の文化 3 幕府の衰退と近代への道 4 化政文化	【知識及び技能】 幕府・諸藩の経済的窮乏、百姓一揆などに関する諸資料から情報を読み取り、享保の改革や田沼時代の諸政策の意義について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 商品作物の栽培や貨幣経済浸透により、米作基盤の幕藩体制が動揺する過程を踏まえ、飢饉や一揆が幕藩体制に与えた影響を考察し、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 幕藩体制下の社会・経済の仕組みの変化や、幕府・諸藩の政策の変化について課題を見出し、主体的に追究することができる。	○	○	○	10
	定期考査			○	○	○	1

2 学 期	第1 1 章 近世から近代へ 【知識及び技能】 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化について諸資料から適切に情報を読み取り、江戸幕府が対外政策を転換して開国に至る経緯などを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 日本が直面していた国内外における諸課題を踏まえ、政治や経済などの諸側面の変化などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 日本の開国に関わる諸事象を国際的な視点から考察し、開国のもたらす政治的・経済的・社会的影響について主体的に追究する。	1 開国と幕末の動乱 2 幕府の滅亡と新政府の発足	第1 1 章 【知識及び技能】 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化について諸資料から適切に情報を読み取り、江戸幕府が対外政策を転換して開国に至る経緯などを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 日本が直面していた国内外における諸課題を踏まえ、政治や経済などの諸側面の変化などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 日本の開国に関わる諸事象を国際的な視点から考察し、開国のもたらす政治的・経済的・社会的影響について主体的に追究することができる。	○	○	○	17
	第1 2 章 近代国家の成立 【知識及び技能】 明治政府による中央集権化の諸政策と土族反乱の終焉、欧米・アジア諸地域との国際関係、文明開化の風潮について、諸資料から情報を読み取って理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 諸制度の改革が地域社会にもたらした変化や諸外国と結んだ条約の相互比較、欧米の思想・文化の影響などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 明治維新や文明開化の風潮が展開する中で生じた様々な課題や、歴史の展開における画期についての課題を見出し、主体的に追究する。	1 明治維新と富国強兵 2 立憲国家の成立	【知識及び技能】 明治政府による中央集権化の諸政策と土族反乱の終焉、欧米・アジア諸地域との国際関係、文明開化の風潮について、諸資料から情報を読み取って理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 諸制度の改革が地域社会にもたらした変化や諸外国と結んだ条約の相互比較、欧米の思想・文化の影響などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 明治維新や文明開化の風潮が展開する中で生じた様々な課題や、歴史の展開における画期についての課題を見出し、主体的に追究することができる。	○	○	○	15
	定期考査			○	○	○	1
	第1 3 章 近代国家の展開 【知識及び技能】 日清・日露戦争の前後における条約改正の完成、韓国併合や満洲への勢力拡張などについて諸資料から情報を読み取り、この時期の戦争の様相や背景、日本の国際的地位の変化を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 議会が戦争を支持する一方で反戦論が存在したこと、戦争が国民としての自覚や意識の高まりをもたらしたことなどについて多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 対外的な戦争が日本の近代化の過程の中でもった意味を考察し、主体的に追究する。	1 日清・日露戦争と国際関係 2 第一次世界大戦と日本 3 ワシントン体制	【知識及び技能】 日清・日露戦争の前後における条約改正の完成、韓国併合や満洲への勢力拡張などについて諸資料から情報を読み取り、この時期の戦争の様相や背景、日本の国際的地位の変化を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 議会が戦争を支持する一方で反戦論が存在したこと、戦争が国民としての自覚や意識の高まりをもたらしたことなどについて多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 対外的な戦争が日本の近代化の過程の中でもった意味を考察し、主体的に追究することができる。	○	○	○	14
	第1 4 章 近代の産業と生活 【知識・技能】 産業の発達の背景と影響などに着目し、諸資料から産業革命の展開について適切に情報を読み取り、地域社会における労働や生活の変化が社会問題を生み出したことを理解する。 【思考・判断・表現】 地域社会の変化などを踏まえて産業全般の変化がもたらされたことや、労働問題や公害問題の発生について多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 産業の発展とそれによる社会問題への対応について課題を見出し、自ら主体的に追究する。	1 近代産業の発展 2 近代文化の発達 3 市民生活の変容と大衆文化	【知識・技能】 産業の発達の背景と影響などに着目し、諸資料から産業革命の展開について適切に情報を読み取り、地域社会における労働や生活の変化が社会問題を生み出したことを理解することができる。 【思考・判断・表現】 地域社会の変化などを踏まえて産業全般の変化がもたらされたことや、労働問題や公害問題の発生について多面的・多角的に考察し、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 産業の発展とそれによる社会問題への対応について課題を見出し、自ら主体的に追究することができる。	○	○	○	9
2 学 期	定期考査			○	○	○	1
	第1 5 章 恐慌と第二次世界大戦 【知識及び技能】 日清・日露戦争の前後における条約改正の完成、韓国併合や満洲への勢力拡張などについて諸資料から情報を読み取り、この時期の戦争の様相や背景、日本の国際的地位の変化を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 議会が戦争を支持する一方で反戦論が存在したこと、戦争が国民としての自覚や意識の高まりをもたらしたことなどについて多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 対外的な戦争が日本の近代化の過程の中でもった意味を考察し、主体的に追究する。	1 恐慌の時代 2 軍部の台頭 3 第二次世界大戦	【知識及び技能】 日清・日露戦争の前後における条約改正の完成、韓国併合や満洲への勢力拡張などについて諸資料から情報を読み取り、この時期の戦争の様相や背景、日本の国際的地位の変化を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 議会が戦争を支持する一方で反戦論が存在したこと、戦争が国民としての自覚や意識の高まりをもたらしたことなどについて多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 対外的な戦争が日本の近代化の過程の中でもった意味を考察し、主体的に追究することができる。	○	○	○	15

	第16章 占領下の日本 【知識及び技能】 第二次大戦前後の政治や社会の類似と相違などに着目して、戦後の諸改革の内容と日本国憲法の制定に関わる諸資料を読み取り、占領政策と諸改革について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 戦後の諸改革が連合国の対日占領政策にもつくとともに、戦争に対する日本国民の反省に支えられつつ実施されたことについて、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の日本との関係性を踏まえながら、占領期における諸改革が生み出した成果と課題について、主体的に追究する。	1 占領と改革 2 冷戦の開始と講話	【知識及び技能】 第二次大戦前後の政治や社会の類似と相違などに着目して、戦後の諸改革の内容と日本国憲法の制定に関わる諸資料を読み取り、占領政策と諸改革について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 戦後の諸改革が連合国の対日占領政策にもつくとともに、戦争に対する日本国民の反省に支えられつつ実施されたことについて、多面的・多角的に考察し、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の日本との関係性を踏まえながら、占領期における諸改革が生み出した成果と課題について、主体的に追究することができる。	○	○	○	10
	第17章 高度成長の時代 【知識及び技能】 保守合同による自由民主党の成立から、経済成長を背景とする安定した保守政権の誕生に至る経緯について諸資料から情報を読み取り、外交・政治・経済を踏まえて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 日ソ共同宣言をはじめとする国交交渉と国際連合への加盟、新安保条約・L T貿易・日韓基本条約・沖縄返還問題などの外交事案がもたらした課題を多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 55年体制の歴史的意義や、1960年代における保守政権の安定化を考察することを通じて、独立後の国内政治について主体的に課題を見出そうとする。	1 55年体制 2 経済復興から高度経済成長へ	【知識及び技能】 保守合同による自由民主党の成立から、経済成長を背景とする安定した保守政権の誕生に至る経緯について諸資料から情報を読み取り、外交・政治・経済を踏まえて理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 日ソ共同宣言をはじめとする国交交渉と国際連合への加盟、新安保条約・L T貿易・日韓基本条約・沖縄返還問題などの外交事案がもたらした課題を多面的・多角的に考察し、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 55年体制の歴史的意義や、1960年代における保守政権の安定化を考察することを通じて、独立後の国内政治について主体的に課題を見出そうとすることができる。	○	○	○	6
	定期考査			○	○	○	1
3学期	第17章 高度成長の時代 【知識及び技能】 保守合同による自由民主党の成立から、経済成長を背景とする安定した保守政権の誕生に至る経緯について諸資料から情報を読み取り、外交・政治・経済を踏まえて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 日ソ共同宣言をはじめとする国交交渉と国際連合への加盟、新安保条約・L T貿易・日韓基本条約・沖縄返還問題などの外交事案がもたらした課題を多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 55年体制の歴史的意義や、1960年代における保守政権の安定化を考察することを通じて、独立後の国内政治について主体的に課題を見出そうとする。	1 55年体制 2 経済復興から高度経済成長へ	【知識及び技能】 保守合同による自由民主党の成立から、経済成長を背景とする安定した保守政権の誕生に至る経緯について諸資料から情報を読み取り、外交・政治・経済を踏まえて理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 日ソ共同宣言をはじめとする国交交渉と国際連合への加盟、新安保条約・L T貿易・日韓基本条約・沖縄返還問題などの外交事案がもたらした課題を多面的・多角的に考察し、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 55年体制の歴史的意義や、1960年代における保守政権の安定化を考察することを通じて、独立後の国内政治について主体的に課題を見出そうとすることができる。	○	○	○	10
	第18章 激動する世界と日本 【知識及び技能】 ドル＝ショックや石油危機による世界経済の混乱に対応するため主要先進国首脳会議が開かれる一方、日本は石油危機を乗り越えて経済大国となったことを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 日本が石油危機を乗り越えて経済大国となった要因について多面的・多角的に考察し、その結果を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 第二次世界大戦後の日本の国際社会における様々な取り組みについて、課題を主体的に追究する。	1 経済大国への道 2 冷戦の終結と日本社会の変容	【知識及び技能】 ドル＝ショックや石油危機による世界経済の混乱に対応するため主要先進国首脳会議が開かれる一方、日本は石油危機を乗り越えて経済大国となったことを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 日本が石油危機を乗り越えて経済大国となった要因について多面的・多角的に考察し、その結果を表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 第二次世界大戦後の日本の国際社会における様々な取り組みについて、課題を主体的に追究することができる。	○	○	○	10

高等学校 令和6年度（3学年用）教科 地理歴史科 科目 地理探究

教科：地理歴史科 科目：地理探究

単位数： 4 単位

対象学年組：第 3 学年 5 組

教科担当者：米谷

使用教科書：（ 地理探究（帝国書院） ）

教科 地理歴史科 の目標：

- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料からさまざまな情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身につけるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 地理・歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる今日的な課題の解決に向けての構想力、考察、構想したことを効果的に説明したり、議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 地理・歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現に向けて課題を主体的に探究しようとする態度を養い、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する深い理解、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。

科目 地理探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付ける。	地理に関わる事象の意味や意義、特徴や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事情について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国が抱える地理的な諸課題についての関心、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重することの大切さについての意識を深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	世界の地形、地形をつくる力、プレート運動と様々な地形 【知識及び技能】 地図や景観写真、衛星画像、模式図などに取り組みせ、地球表面の起伏の状況について理解し、景観写真や模式図の読み取りを通して、大地形の分布の特徴について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 球体としての地球の観点から、世界の大地形や小地形の形成過程、大地形の分布の特徴、変動帯の形成過程を考察し、その特徴を踏まえながら人間生活との関係について表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 地形と人間生活との関係について、その形成過程や特徴を踏まえながら、関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、提えようとする。	・自作プリント・ワークノート・資料集・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 人間の生活基盤である地形の重要性について認識するとともに、それを空間的解像と形成要因、人間生活との関係に着目しながら理解することができたか。 【思考・判断・表現】 球体としての地球の観点から、世界の大地形や小地形の形成過程、大地形の分布の特徴、変動帯の形成過程を考察することができ、その特徴を踏まえながら人間生活との関係について表現することができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 地形と人間生活との関係について、その形成過程や特徴を踏まえながら、関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、提えようとすることができたか。	○	○	○	10
	河川がつくる地形、海岸と海に見られる地形、自然災害Ⅰ 【知識及び技能】 景観写真や模式図の読み取りを通して、変動帯にみられる小地形の一つである河川がつくるさまざまな地形の特徴や、海岸地形、米河地形、カルスト地形などについて、理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 変動帯にみられる小地形（海岸地形、サンゴ礁地形、米河地形や感想地形、カルスト地形など）の特徴や形成過程を考察し、その特徴を踏まえながら人間生活との関係について考察・表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 さまざまな地形の特徴や形成過程、人間生活との関係について、関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、提えようとする。	・自作プリント・ワークノート・資料集・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 景観写真や模式図の読み取りを通して、変動帯にみられる小地形の一つである河川がつくるさまざまな地形の特徴や、海岸地形、米河地形、カルスト地形などについて、理解することができたか。 【思考・判断・表現】 変動帯にみられる小地形（海岸地形、サンゴ礁地形、米河地形や感想地形、カルスト地形など）の特徴や形成過程を考察し、その特徴を踏まえながら人間生活との関係について考察・表現することができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 さまざまな地形の特徴や形成過程、人間生活との関係について、関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、提えようとすることができたか。	○	○	○	10
	気候と自然環境、気候の見方、大気大循環と気候、世界の植生・土壌 【知識及び技能】 模式図や主題図などを用いて、地球規模でみられる気候と降水の分布の特徴や原因、大気大循環による風の流れる特徴などについて、理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 気候の特徴と植生、土壌との関係について、多面的・多角的に考察・表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 世界規模での気候帯の分布と特徴、各気候帯と植生・土壌との対応関係について、関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、提えようとする。	・自作プリント・ワークノート・資料集・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 模式図や主題図などを用いて、地球規模でみられる気候と降水の分布の特徴や原因、大気大循環による風の流れる特徴などについて、理解することができたか。 【思考・判断・表現】 気候の特徴と植生、土壌との関係について、多面的・多角的に考察・表現することができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 世界規模での気候帯の分布と特徴、各気候帯と植生・土壌との対応関係について、関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、提えようとすることができたか。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	ケッペン気候区分、各気候帯の特徴と人々の生活、自然災害Ⅱ 【知識及び技能】 気温図やハイサーグラフの作成・読み取り、景観写真の読み取りなどを通して、各気候帯の特徴やその生活文化、生じている諸課題について多面的・多角的に理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 気候の特徴となる気温と降水量の地域ごとの違いについて、各々の気候帯の自然環境の自覚的な認識を踏まえ考察するとともに、人間生活との関係について、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 各気候帯の自然環境の特徴と人間生活との関係について、関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、提えようとする。	・自作プリント・ワークノート・資料集・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 気温図やハイサーグラフの作成・読み取り、景観写真の読み取りなどを通して、各気候帯の特徴や生活文化、生じている諸課題について多面的・多角的に理解しているかどうか。 【思考・判断・表現】 気候の特徴となる気温と降水量の地域ごとの違いについて、各々の気候帯の自然環境の特徴を踏まえ考察するとともに、人間生活との関係について、多面的・多角的に考察し表現しているかどうか。 【主体的に学習に取り組む態度】 各気候帯の自然環境の特徴と人間生活との関係について、関心と課題意識を高め、興味・関心や疑問、追究してみたいなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	12
	農林水産業 【知識及び技能】 主題図や模式図、グラフや写真などを用いて、農林水産業の立地とその形態について地域性との関係から把握するとともに、アグリビジネスの活動が国境を越えた産地と消費地とを結びつけていることを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 農林水産業の立地とその形態、アグリビジネスの活動を通した国境を越えた産地と消費地との結びつきや、世界の農産物流通の特徴について、多面的・多角的に考察・表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 農林水産業の立地とその形態、アグリビジネスの活動を通した国境を越えた産地と消費地との結びつきや、世界の農産物流通の特徴について、意欲的に追究し、提えようとしている。	・自作プリント・ワークノート・資料集・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 主題図や模式図、グラフや写真などを用いて、農林水産業の立地とその形態について地域性との関係から把握するとともに、アグリビジネスの活動が国境を越えた産地と消費地とを結びつけていることを理解することができる。 【思考・判断・表現】 農林水産業の立地とその形態、アグリビジネスの活動を通した国境を越えた産地と消費地との結びつきや、世界の農産物流通の特徴について、多面的・多角的に考察・表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 農林水産業の立地とその形態、アグリビジネスの活動を通した国境を越えた産地と消費地との結びつきや、世界の農産物流通の特徴について、意欲的に追究し、提えようとするができる。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	資源・エネルギー問題、環境問題、工業の立地と工業地域の分布 【知識及び技能】 主題図や模式図、グラフや写真の諸資料を用いて、資源・エネルギー問題や環境問題、工業立地の特徴とその変化の動向について、産業の進みや国際分業との関係から把握するとともに、知識集約型の進む工業の新展開や日本の工業の変化とその課題について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 資源の国際取引を成立させている背景や環境問題の原因、工業立地の特徴とその変化の動向について、産業の進みや国際分業との関係から把握するとともに、知識集約型の進む工業の新展開や日本の工業の変化とその課題について、多面的・多角的に考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 暮らしをさせるエネルギーの必要性や環境問題、工業立地の特徴とその変化の動向とともに、知識集約型の進む工業の展開や日本の工業の変化とその課題について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、提えようとしている。	・自作プリント・ワークノート・資料集・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 主題図や模式図、グラフや写真の諸資料を用いて、資源・エネルギー問題や環境問題、工業立地の特徴とその変化の動向について、産業の進みや国際分業との関係から把握するとともに、知識集約型の進む工業の新展開や日本の工業の変化とその課題について理解することができたか。 【思考・判断・表現】 資源の国際取引を成立させている背景や環境問題の原因、工業立地の特徴とその変化の動向について、産業の進みや国際分業との関係から把握するとともに、知識集約型の進む工業の新展開や日本の工業の変化とその課題について理解することができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 暮らしをさせるエネルギーの必要性や環境問題、工業立地の特徴とその変化の動向とともに、知識集約型の進む工業の展開や日本の工業の変化とその課題について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、提えようとすることができる。	○	○	○	12
	第三次産業、交通・通信、観光、人口問題、都市・村落、国土・民衆 【知識及び技能】 主題図や模式図、グラフや写真の諸資料を用いて、第三次産業の特徴その変化の把握、交通・通信の発展による世界の結びつきの現状、発達途上国と先進諸国が抱えている人口問題について把握するとともに、それらの現代的な位置づけとその課題について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 第三次産業の特徴その変化、交通・通信の発展による世界の結びつきの現状と発展により生じる諸課題の解決に向けた取組や、発達途上国と先進諸国が抱えている人口問題についての課題について、多面的・多角的に考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 第三次産業の特徴その変化、交通・通信の発展による世界の結びつきの現状と発展により生じる諸課題の解決に向けた取組や、発達途上国と先進諸国が抱えている人口問題についての課題について、関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、提えようとしている。	・自作プリント・ワークノート・資料集・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 主題図や模式図、グラフや写真の諸資料を用いて、第三次産業の特徴その変化の把握、交通・通信の発展による世界の結びつきの現状と発展により生じる諸課題の解決に向けた取組や、発達途上国と先進諸国が抱えている人口問題について把握するとともに、それらの現代的な位置づけとその課題について理解し、諸資料から関連する様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身につけることができる。	○	○	○	10

2 学 期	東アジア、東南アジア、南アジア、西アジア、西アジア、中東アジア 【知識及び技能】 主題図や模式図、グラフや写真の読資料を用いて、アジア各地域の産業や地域格差、文化などの事象を項目ごとに整理して考察することを通して、地域理解を深めていく。 【思考力、判断力、表現力等】 アジア各地域の産業や地域格差、文化などのさまざまな事象を項目ごとに整理し、多面的・多角的に考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 アジア各地域の産業や地域格差、文化などのさまざまな事象を項目ごとに整理して関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、捉えようとしている。	・自作プリント・ワークノート・資料集・一人2台端末の活用等	【知識・技能】 主題図や模式図、グラフや写真の読資料を用いて、アジア各地域の産業や地域格差、文化などのさまざまな事象を項目ごとに整理して考察することを通して、地域理解を深め、読資料から関連する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 アジア各地域の産業や地域格差、文化などのさまざまな事象を項目ごとに整理し、図版や読資料をもとに、多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 アジア各地域の産業や地域格差、文化などのさまざまな事象を項目ごとに整理して関心と課題意識を高める意欲的に追究し、見通しを持って学習に取り組むことができる。					14
	定期考査							1
	北アフリカとサハラ以南の地域、ヨーロッパとロシア 【知識及び技能】 主題図や模式図、グラフや写真の読資料を用いて、北アフリカとサハラ以南の地域、ヨーロッパとロシア各地域の産業や地域格差、文化などの事象を項目ごとに整理して考察することを通して、地域理解を深めていく。 【思考力、判断力、表現力等】 北アフリカとサハラ以南の地域、ヨーロッパとロシアの産業や地域格差、文化などのさまざまな事象を項目ごとに整理し、多面的・多角的に考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 北アフリカとサハラ以南の地域、ヨーロッパとロシアの産業や地域格差、文化などのさまざまな事象を項目ごとに整理して関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、捉えようとしている。	・自作プリント・ワークノート・資料集・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 主題図や模式図、グラフや写真の読資料を用いて、北アフリカとサハラ以南の地域、ヨーロッパとロシア各地域の産業や地域格差、文化などの事象を項目ごとに整理して考察することを通して、地域理解を深め、読資料から関連する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 北アフリカとサハラ以南の地域、ヨーロッパとロシアの産業や地域格差、文化などのさまざまな事象を項目ごとに整理し、図版や読資料をもとに、多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 北アフリカとサハラ以南の地域、ヨーロッパとロシアの産業や地域格差、文化などのさまざまな事象を項目ごとに整理して関心と課題意識を高める意欲的に追究し、見通しを持って学習に取り組むことができる。					18
3 学 期	アンゴラアメリカとラテンアメリカ、オセアニア 【知識及び技能】 主題図や模式図、グラフや写真の読資料を用いて、アンゴラアメリカとラテンアメリカ、オセアニア各地域の産業や地域格差、文化などの事象を項目ごとに整理して考察することを通して、地域理解を深めていく。 【思考力、判断力、表現力等】 アンゴラアメリカとラテンアメリカ、オセアニア各地域の産業や地域格差、文化などのさまざまな事象を項目ごとに整理し、多面的・多角的に考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 アンゴラアメリカとラテンアメリカ、オセアニアの産業や地域格差、文化などのさまざまな事象を項目ごとに整理して関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、捉えようとしている。	・自作プリント・ワークノート・資料集・一人2台端末の活用等	【知識・技能】 主題図や模式図、グラフや写真の読資料を用いて、アンゴラアメリカとラテンアメリカ、オセアニア各地域の産業や地域格差、文化などのさまざまな事象を項目ごとに整理して考察することを通して、地域理解を深め、読資料から関連する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 アンゴラアメリカとラテンアメリカ、オセアニア各地域の産業や地域格差、文化などのさまざまな事象を項目ごとに整理し、図版や読資料をもとに、多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 アンゴラアメリカとラテンアメリカ、オセアニア各地域の産業や地域格差、文化などのさまざまな事象を項目ごとに整理して関心と課題意識を高める意欲的に追究し、見通しを持って学習に取り組むことができる。					20
	定期考査							1
	日本の地理的課題を眺め解く、持続可能な国土づくりの探究 【知識及び技能】 主題図や模式図、各種統計資料などを用いて、日本における産業立地や都市化の深化、国土政策の成れを理解し、「主体的・対話的な学習方法」を駆使しながら、地球規模の視点で日本が抱える地理的課題について理解を深めていく。 【思考力、判断力、表現力等】 日本における産業立地や都市化の深化、国土政策の成れに関連するさまざまな資料を眺め解くことを通して、日本の抱える地理的課題について、多面的・多角的に考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 日本が抱える地理的課題の解決と持続可能な国土形成の在り方について、関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、捉えようとしている。	・自作プリント・ワークノート・資料集・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 自らの疑問や探究したい課題を個人またはグループで見つけ、その解決に向けて調査・分析する技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 図版や読資料をもとに、地球世界の課題について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って個人またはグループで学習に取り組もうとしている。					14

高等学校 令和6年度（1・3学年用）

公民

科目 政治・経済

教科：公民

科目：政治・経済

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 組～ 組

教科担当者：（ 組：末吉智典 （ 組： （ 組： （ 組： （ 組： （ 組： ）

使用教科書：（ 「高等学校 政治・経済」（第一学習社） ）

教科 公民

の目標：

【知識及び技能】社会の見方・考え方を知り、客観的データを用いて把握できる

【思考力、判断力、表現力等】社会の諸課題について、社会的な見方・考え方を働かせ考えることができる

【学びに向かう力、人間性等】社会の諸課題に対し自分事としてとらえ向き合い主体的に考える

科目 政治・経済

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	社会の形成者として選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用し、現実社会の課題を把握し、構想する力や、構想したこととの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断している。	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元市場経済の機能と限界 【知識及び技能】時代背景と経済理論とを結び付け理解している。 【思考力、判断力、表現力等】資本主義経済にはどのような課題があるか考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】資本主義経済の課題への対処を考えている。	・指導事項 経済活動の意義 資本主義経済の発展と変容 ・一人1台端末の活用 ClassiNote	【知識・技能】経済の役割、市場経済における選択について、理解している。資本主義経済の特質と変容を理解している。 【思考・判断・表現】価格はどのように決まるのか、具体的な市場を取り上げて多面的・多角的に考察し、表現している 【主体的に学習に取り組む態度】今日の資本主義経済の課題について主体的に追究している。	○	○	○	5
	B 単元 市場経済の機能と限界 【知識及び技能】市場の限界、経済成長の仕組みについて理解している。【思考力、判断力、表現力等】インフレ・デフレの要因を説明できる。【学びに向かう力、人間性等】経済成長を図るため個別の創意工夫、政府の支援や政策が必要となることについて理解を深めることができる。	・指導事項 市場経済の機能と限界 国民所得と経済成長 ・一人1台端末の活用 等 ClassiNote	【知識・技能】市場における価格の役割や、独占禁止法による規制の必要性について理解している。 【思考・判断・表現】インフレーションやデプレッションが国民生活にどのような影響を与えるか多面的・多角的に考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】よい社会の実現のため社会の課題を解決しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	C 単元 金融の仕組み 【知識及び技能】金融が資金の過不足解消、経済の円滑化促進させる一方で、不確実性が発生するので信用が重要であることを理解する。【思考力、判断力、表現力等】インフレ・デフレの要因を説明できる。【学びに向かう力、人間性等】経済成長を図るため個別の創意工夫、政府の支援策が必要となることについて理解を深めることができるようにする。	・指導事項 金融の仕組み、財政の仕組み ・一人1台端末の活用 等 ClassiNote	【知識・技能】金融の役割や金融政策の手段について理解している。 【思考・判断・表現】なぜ金融自由化が進められたのか、日本経済にどのような影響を与えたのかを考察している。【主体的に学習に取り組む態度】金融の自由化の功罪について主体的に考察している。	○	○	○	8
	B 単元 財政 【知識及び技能】租税や国債など財源の調達方法の仕組みやそれぞれの問題点について理解できるようにする【思考力、判断力、表現力等】公正で適切な負担と受益の関係に基づいて税制度について考えている 【学びに向かう力、人間性等】、国民生活における租税の意義と役割に関心をもつ	・指導事項 財政の仕組み、日本の社会保障 ・一人1台端末の活用 等 ClassiNote	【知識・技能】財政の役割や、公平な税制のあり方について理解している。 【思考・判断・表現】日本の財政の抱える課題や、持続可能な財政および租税のあり方について多面的・多角的に考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】財政の役割、公平な税制のあり方、日本の財政が抱える課題、持続可能な財政および租税のあり方について主体的に追究しに現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
2 学 期	D 単元 国際社会の変遷 【知識及び技能】戦後の国際社会の動向について理解を深める【思考力、判断力、表現力等】人権、国家主権、領土（領海、領空を含む。）などに関する国際法の意義について考えている【学びに向かう力、人間性等】国際問題について平和的な手段による解決について考えている	・指導事項 国際社会の変遷 ・一人1台端末の活用 等 ClassiNote	【知識・技能】国際社会の変遷、国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割について理解を深めている。【思考・判断・表現】国際法の果たす役割について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している【主体的に学習に取り組む態度】現代の国際政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。				8
	定期考査			○	○		1
	E 単元 【知識及び技能】我が国の安全保障と防衛、国際貢献について理解を深める【思考力、判断力、表現力等】「国際紛争の諸要因」については、多様な角度から考察している【学びに向かう力、人間性等】平和的解決の方法について考えている	・指導事項 国際政治 ・一人1台端末の活用 等 ClassiNote	【知識・技能】核抑止体制、軍縮をめぐる動向について理解している。【思考・判断・表現】地域紛争を予防し解決する方法や、日本は難民問題に対してどのように向き合うべきか多面的・多角的に考察している。【主体的に学習に取り組む態度】現代の国際政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。				8

3 学 期	F 単元 国際経済 【知識及び技能】貿易意義、為替の変動、国際収支、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について理解している 【思考力、判断力、表現力等】国益と地球規模での協調が求められている現状と問題点について多面的・多角的に考察している【学びに向かう力、人間性等】EPAやFTAの進展と国際経済との関連について多面的・多角的に考察し、表現できる 定期考査	・指導事項 財政の仕組み、日本の社会保障 ・一人1台端末の活用 等 ClassiNote	【知識・技能】貿易の意義、為替の変動、国際収支、国際経済機関の役割を理解している【思考・判断・表現】国際経済の特質から日本の役割について、多面的・多角的に考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。				8
				○	○		1
	G 単元 国際経済 格差問題 【知識及び技能】国際経済の安定と成長のために果たすべき日本の役割について理解している【思考力、判断力、表現力等】日本がどのような貢献できるか、客観的な資料を基に多面的・多角的に考察し、表現できる【学びに向かう力、人間性等】提案や貢献ができるかを課題に即して調査する	・指導事項 財政の仕組み、日本の社会保障 ・一人1台端末の活用 等 ClassiNote	【知識・技能】南北問題の解消に向けた国際社会の取り組みや、新興経済諸国の現状について理解している【思考・判断・表現】地球社会の一員として、地球規模の課題について多面的・多角的に考察し、表現している。【主体的に学習に取り組む態度】現代の国際経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。				8
	B 単元 環境問題 【知識及び技能】環境問題を整理する 【思考力、判断力、表現力等】持続可能な社会に向け考察する【学びに向かう力、人間性等】「誰一人取り残さない」との理念の下、自然環境や資源の有限性、貧困、イノベーションなどに関わるSDGsに触れ、自分の考えを説明、論述できるようにする	・指導事項 財政の仕組み、日本の社会保障 ・一人1台端末の活用 等 ClassiNote	【知識・技能】地球環境問題への対応をめぐる国際社会の利害対立について理解している【思考・判断・表現】日本のこれからのエネルギー供給はどうあるべきか多面的・多角的に考察している【主体的に学習に取り組む態度】21世紀の世界人口の変動予想、貧困の発生要因、持続可能な社会の形成に向け現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。				6

高等学校 令和6年度（1・3学年用） 公民 科目 倫理

教科：公民 科目：倫理 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 組～組

教科担当者：鯉淵

使用教科書：（「詳述 倫理」（実教出版））

教科 公民 の目標：

- 【知識及び技能】現代を取り巻く諸課題の解決を通して、社会の秩序が形成されていくことについて理解する。
- 【思考力、判断力、表現力等】自ら主題を設定し、その主題の解決に向けて協働・考察・構想し、論拠をもって表現する。
- 【学びに向かう力、人間性等】社会の諸課題について、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする。

科目 倫理 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・自分自身が公共的空間の主体となり、自分のキャリア形成とともによりよい社会の形成に結びつくことについて理解する。 ・選択・判断の手がかりとして功利主義、義務論などの考え方について理解する。	地域社会などのさまざまな集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現すること。	よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、公共的空間に生きる人間としてのあり方生き方について自覚を深めている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	【知識及び技能】 西洋の源流思想について、哲学者・思想家を中心に特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 主に古代ギリシャ・三大世界宗教・中国の思想の教義を、比較しながら考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 哲学者・思想家の教えや教義について、その後の影響や潮流について主体的に追究する。	ギリシャの思想 ユダヤ教・キリスト教 イスラーム 仏教 中国の思想	【知識・技能】西洋の源流思想の特徴を理解している。 【思考・判断・表現】それぞれの教義の特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】西洋の源流思想について、主体的に追究している。	○	○	○	8
				○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	【知識及び技能】 中世の思想について、哲学者・思想家を中心に特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 主にルネサンスから始まる宗教的な変化とその時代の特徴を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 哲学者・思想家の教えや教義について、その後の影響や潮流について主体的に追究する。	ルネサンス 宗教改革 合理的精神 社会契約説	【知識・技能】中世の思想について、特徴を理解している。 【思考・判断・表現】ルネサンスから社会契約説に至る思想の展開を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】中世の思想について、主体的に追究している。	○	○	○	8
				○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
2 学 期	【知識及び技能】 近代の思想について、哲学者・思想家を中心に特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ドイツ観念論（ヘーゲル・カント）の思想を中心に、その後の哲学に与えた影響を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 哲学者・思想家の教えや教義について、その後の影響や潮流について主体的に追究する。	ドイツ観念論 民主社会の原理 プラグマティズム 実存主義 現代の思想	【知識・技能】近代の思想について、特徴を理解している。 【思考・判断・表現】ヘーゲルから始まるドイツ観念論の思想がその後の哲学に与えた影響を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】近代の思想について、主体的に追究している。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	【知識及び技能】 日本の思想について、哲学者・思想家を中心に特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 仏教を中心に、外来の宗教が日本に与えた影響とその後の日本の骨格となった理由を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 哲学者・思想家の教えや教義について、その後の影響や潮流について主体的に追究する。	日本の風土と伝統 日本仏教の展開 江戸時代の儒学 国学 町人・農村の思想 西洋思想の受容・近代化 現代の思想	【知識・技能】日本の思想について、特徴を理解している。 【思考・判断・表現】外来の宗教である仏教がその後の日本の思想に与えた影響を多面的・多角的に考察し、表現している。また、江戸以降の思想が現代の日本に与えた影響を考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】日本の思想について、主体的に追究している。	○	○	○	8
				○	○	○	10
	定期考査			○	○		1

3 学 期	【知識及び技能】 世界及び日本の思想について、哲学者・思想家を中心に特徴をまとめる。 【思考力、判断力、表現力等】 世界及び日本の思想について、それぞれの時代区分における特徴を考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 哲学者・思想家の教えや教義についてまとめ、それぞれの特徴を主体的に追究する。	思想のまとめ	【知識・技能】世界及び日本の思想について、特徴を理解している。 【思考・判断・表現】世界及び日本の思想についての特徴や相互関係を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】哲学者・思想家の教えや教義について、主体的に追究している。	○	○	○	8
-------------	--	--------	---	---	---	---	---

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和6年度（3学年用）教科

地歴科 科目 世界史通史演習

教科：地歴科

科目：世界史通史演習

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 3組～5組

教科担当者：（3組：橋本）（4組：橋本）（5組：橋本）

使用教科書：（詳説世界史 世界史探究（山川出版社））

教科 地歴科

の目標：

【知識及び技能】世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら、様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象の意味や意義、特色などを比較・相互の関連や現代世界とのつながりに着目して、多面的・多角的に考察したり表現したりするなどの歴史的思考力を培う。

【学びに向かう力、人間性等】世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、より良い社会実現に向けて課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的考察や深い理解を通して、国際社会に生きる日本国民としての自覚、他国や他国の文化を尊重することの大切さについて自覚を深める。

科目 世界史通史演習

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
歴史総合の学習を踏まえて、世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら、様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。	歴史総合の学習を踏まえて、歴史の諸事象の意味や意義、特色などを比較・相互の関連や現代世界とのつながりに着目して、多面的・多角的に考察したり表現したりするなどの歴史的思考力を培う。	歴史総合の学習を踏まえて、より良い社会実現に向けて課題を主体的に探究しようとする態度を養い、多面的・多角的考察や深い理解を通して、国際社会に生きる日本国民としての自覚、他国や他国の文化を尊重することの大切さについて自覚を深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	【知識及び技能】 東アジア世界の展開とモンゴル帝国に関する諸事象について理解し、諸資料から関連する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 東アジア世界の展開とモンゴル帝国について多面的・多角的に考察し、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 東アジア世界の展開とモンゴル帝国について、多面的・多角的な考察を通して興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	東アジア世界の展開とモンゴル帝国 ・自作プリント・ワークノート・ 資料集・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 10世紀前半に東アジアで政権の交替があいついだ背景や、そこで成立した諸国の姿を理解している。 【思考・判断・表現】 宋の対外関係の特徴やモンゴル帝国時代の東西交流について多面的・多角的に考察し表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に宋代の文化の特徴や社会・経済、モンゴル帝国解体の要因について多面的・多角的に考察し表現できる。	○	○	○	3
	【知識及び技能】 アジアの諸帝国の繁栄に関連する諸事象について理解し、諸資料から関連する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 アジアの諸帝国の繁栄について多面的・多角的に考察し、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 アジアの諸帝国の繁栄について、多面的・多角的な考察や深い理解を通して興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	アジアの諸帝国の繁栄 ・自作プリント・ワークノート・ 資料集・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 オスマン帝国やムガル帝国の基礎が築かれた経緯と勢力拡大について理解する。 【思考・判断・表現】 オスマン帝国の統治が当時の人々に与えた影響とムガル帝国衰退の背景や要因を多面的・多角的に考察し表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 近代における周辺諸国と中国との関係について、明代と比較したうえで多面的・多角的に考察し、追究することができる。	○	○	○	3
	小テストやプレゼン			○	○	○	2
	【知識及び技能】 アジア諸地域の動揺に関連する諸事象について理解し、諸資料から関連する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 アジア諸地域の動揺について、多面的・多角的に考察し、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 アジア諸地域の動揺について、多面的・多角的な考察や深い理解を通して興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組むことができる。	アジア諸地域の動揺―① ―西・南・東南アジア― ・自作プリント・ワークノート・ 資料集・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 オスマン帝国の改革の成果と課題、南・東南アジアの植民地化の経緯を理解する。 【思考・判断・表現】 イギリス東インド会社の機能の変化を多面的・多角的に考察し表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ロシアやイギリスの競合関係が西アジアに与えた影響や大規模植民地化となつた要因などを多面的・多角的に考察し追究することができる。	○	○	○	4
	【知識及び技能】 イギリスの覇権と欧米国民国家の形成に関連する諸事象について理解し、諸資料から関連する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 イギリスの覇権と欧米国民国家の形成について、多面的・多角的に考察し、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 イギリスの覇権と欧米国民国家の形成について、多面的・多角的な考察や深い理解を通して興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組むことができる。	アジア諸地域の動揺―② ―東アジア― ・自作プリント・ワークノート・ 資料集・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 アジアの諸地域の背景および開港の進展の経緯を理解する。 【思考・判断・表現】 欧米諸国の進出と日本の台頭が東アジア諸国間の関係に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 東アジア各地の開港および貿易の拡大がもたらした影響を主体的に深く追究する。	○	○	○	4
2 学期	小テストやプレゼン（またはレポート）			○	○	○	2
	【知識及び技能】 帝国主義とアジアの民族運動に関連する諸事象について、諸資料から関連する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 帝国主義とアジアの民族運動について、多面的・多角的に考察し、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 帝国主義とアジアの民族運動について、多面的・多角的な考察や深い理解を通して興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組むことができる。	帝国主義とアジアの民族運動 ・自作プリント・ワークノート・ 資料集・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 改革をおこなったにもかかわらず清朝が倒れた原因を理解する。 【思考・判断・表現】 清朝と日露戦争が中国および東アジアに与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 インドにおける民族運動の社会的背景や西アジア・東南アジア各地の民族運動に共通する傾向を主体的に追究する。	○	○	○	6
	【知識及び技能】 第一次世界大戦とアジア・アフリカ世界の容変に関連する諸事象を理解し、諸資料から関連する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 第一次世界大戦とアジア・アフリカ世界の容変について、多面的・多角的に考察し、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 第一次世界大戦とアジア・アフリカ世界の容変について、多面的・多角的な考察を通して興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組むことができる。	第一次世界大戦と世界の容変 ・自作プリント・ワークノート・ 資料集・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 第一次世界大戦後のインド・東南アジア・アフリカにおける民族運動の経緯を理解する。 【思考・判断・表現】 日本の勢力拡大に対する中国、朝鮮の人々の対応を多面的・多角的に考察し表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 第一次世界大戦が東アジアの政治、経済、文化に与えた影響を主体的に深く追究する。	○	○	○	10
	小テストやプレゼン			○	○	○	2
	【知識及び技能】 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成に関連する諸事象について理解し、諸資料から関連する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成について、多面的・多角的に考察し、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成について、多面的な考察を通して興味・関心や疑問、追究してみたいことなど見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成 ・自作プリント・ワークノート・ 資料集・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 国民党政権が敗れた原因と東南アジアや南アジアの独立の背景を理解する。 【思考・判断・表現】 朝鮮戦争が東アジアの国際情勢に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代の東アジア情勢の要因を多面的・多角的に深く追究する。	○	○	○	10
3 学期	【知識及び技能】 冷戦と第三世界の台頭／冷戦の終結と今日の世界に関する諸事象について理解し、諸資料から関連する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 冷戦と第三世界の台頭／冷戦の終結と今日の世界について、多面的・多角的に考察し、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 冷戦と第三世界の台頭／冷戦の終結と今日の世界について、多面的な考察を通して興味・関心や疑問、追究してみたいことなど見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	冷戦と第三世界の台頭／冷戦の終結と今日の世界―① ・自作プリント・ワークノート・ 資料集・一人2台端末の活用 等	【知識・技能】 自立化を追求するアジア・アフリカの新興諸国がいかなる行動をとったのかを理解する。 【思考・判断・表現】 キューバ革命の背景および影響を多面的・多角的に考察し表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 アフリカなどの新興国が直面した困難の内容とその原因を主体的に追究する。	○	○	○	8
	小テストやプレゼン（またはレポート）			○	○	○	2
	【知識及び技能】 冷戦の終結と今日の世界に関する諸事象について理解し、諸資料から関連する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 冷戦の終結と今日の世界について、多面的・多角的に考察し、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 冷戦の終結と今日の世界について、多面的な考察を通して興味・関心や疑問、追究してみたいことなど見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	冷戦と第三世界の台頭／冷戦の終結と今日の世界―② ・自作プリント・ワークノート・ 資料集・一人2台端末の活用 等	【知識・技能】 旧社会主義国で起こった民族運動や民族対立の特徴を理解する。 【思考・判断・表現】 冷戦終結後の東アジア諸国の変化を多面的・多角的に考察し表現する。 ③冷戦終結後のアフリカが有する課題と可能性を多面的・多角的に考察し表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 冷戦終結後の東アジア・南アジア諸国においていかなる政治的、経済的変化が生じているのかを主体的に追究する。	○	○	○	8
3 学期	【知識及び技能】 地球世界の課題に関連する諸事象について理解し、諸資料から関連する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 地球世界の課題について、主体的に探究しようとする態度を養い、多面的・多角的に考察し、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 地球世界の課題について、多面的な考察を通して興味・関心や疑問、追究してみたいことなど見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	地球世界の課題 ・自作プリント・ワークノート・ 資料集・一人2台端末の活用 等	【知識・技能】 ①課題を見つけ、その解決に向けて個人またはグループで課題解決学習を行う。②探究の成果をレポートにまとめ、発表する。 【思考・判断・表現】 地球世界の課題の形成に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸資料を比較したり関連付けたりして多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 地球世界の課題について、よりよい社会の実現を視野に主体的に探究しようとする態度を養っている。	○	○	○	6

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 地理歴史科 科目 地理演習（文系）

教科： 地理歴史科 科目： 地理演習（文系） 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 5 組

教科担当者：米谷

使用教科書：（ 地理探究（帝国書院） ）

教科 地理歴史科 の目標：

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料からさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。
地理・歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる今日的な課題の解決に向けての構想力、考察、構想したことを効果的に説明したり、議論したりする力を養う。
地理・歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現に向けて課題を主体的に探究しようとする態度を養い、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する深い理解、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。

科目 地理演習（文系） の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
演習を通じて、地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	演習を通じて、地理に関わる事象の意味や意義、特徴や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	演習を通じて、地理に関わる諸事情について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国が抱える地理的な諸課題についての関心、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重することの大切さについての意識を深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	世界の地形、地形をつくる力、プレート運動と様々な境界 【知識及び技能】 地図や景観写真、衛星画像、模式図などに取り組み、地球表面の起伏の形態について理解し、景観写真や模式図の読み取りを通して、大地形の分布の特徴について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 球体としての地球の観点から、世界の大地形や小地形の形成過程、大地形の分布の特徴、変動帯の形成過程を考察し、その特徴を踏まえながら人間生活との関係について表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 地形と人間生活との関係について、その形成過程や特徴を踏まえながら、関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、捉えようとする。	・自作プリント・ワークノート・資料集・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 演習を通じて、人間の生活基盤である地形の重要性について認識するとともに、それを空間的規模と形成要因、人間生活との関係に着目しながら理解することができたか。 【思考・判断・表現】 演習を通じて、球体としての地球の観点から、世界の大地形や小地形の形成過程、大地形の分布の特徴、変動帯の形成過程を考察することができ、その特徴を踏まえながら人間生活との関係について表現することができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 演習を通じて、地形と人間生活との関係について、その形成過程や特徴を踏まえながら、関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、捉えようとすることができたか。	○	○	○	6
	河川がつくる地形、海岸と海に見られる地形、自然災害1 【知識及び技能】 景観写真や模式図の読み取りを通して、変動帯にみられる小地形の一つである河川がつくるさまざまな地形の特徴や、海岸地形、氷河地形、カルスト地形などについて、理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 変動帯にみられる小地形（海岸地形、サンゴ礁地形、氷河地形や感地形、カルスト地形など）の特徴や形成過程を考察し、その特徴を踏まえながら人間生活との関係について考察・表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 さまざまな地形にの特徴や形成過程、人間生活との関係について、関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究して捉えようとする。	・自作プリント・ワークノート・資料集・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 演習を通じて、景観写真や模式図の読み取りを通して、変動帯にみられる小地形の一つである河川がつくるさまざまな地形の特徴や、海岸地形、氷河地形、カルスト地形などについて、理解することができたか。 【思考・判断・表現】 演習を通じて、変動帯にみられる小地形（海岸地形、サンゴ礁地形、氷河地形や感地形、カルスト地形など）の特徴や形成過程を考察し、その特徴を踏まえながら人間生活との関係について考察・表現することができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 演習を通じて、さまざまな地形にの特徴や形成過程、人間生活との関係について、関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究して捉えようとすることができたか。	○	○	○	6
	気候と自然環境、気候の見方、大気循環と気候、世界の植生・土壌 【知識及び技能】 模式図や主題図などを用いて、地球規模でみられる気温と降水りよの分布の特徴や原因、大気大循環による風の流れと特徴などについて、理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 気候の特徴と植生、土壌との関係について、多面的・多角的に考察・表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 世界規模での気候帯の分布と特徴、各気候帯と植生・土壌との対応関係について、関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究して捉えようとする。	・自作プリント・ワークノート・資料集・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 模式図や主題図などを用いて、地球規模でみられる気温と降水りよの分布の特徴や原因、大気大循環による風の流れと特徴などについて、理解することができたか。 【思考・判断・表現】 気候の特徴と植生、土壌との関係について、多面的・多角的に考察・表現することができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 世界規模での気候帯の分布と特徴、各気候帯と植生・土壌との対応関係について、関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究して捉えようとすることができたか。	○	○	○	6
	ケッパンの気候区分、各気候帯の特徴と人々の生活、自然災害Ⅱ 【知識及び技能】 雨温図やハイスサーグラフの作成・読み取り。景観写真の読み取りなどを通して、各気候区の特徴やそこで生活文化、生じている諸課題について多面的・多角的に理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 気候区の特徴となる気温と降水量の地域ごとの違いについて、各々の気候区の特徴を踏まえて考察するとともに、人間生活との関係について、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 各気候区の特徴と人間生活との関係について、関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究して捉えようとする。	・自作プリント・ワークノート・資料集・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 演習を通じて雨温図やハイスサーグラフの作成・読み取り。景観写真の読み取りなど、各気候区の特徴や生活文化、生じている諸課題について多面的・多角的に理解しているかどうか。 【思考・判断・表現】 演習を通じて、気候区の特徴となる気温と降水量の地域ごとの違いについて、各々の気候区の特徴を踏まえて考察するとともに、人間生活との関係について、多面的・多角的に考察し表現しているかどうか。 【主体的に学習に取り組む態度】 演習を通じて、各気候区の特徴と人間生活との関係について、関心と課題意識を高め、興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	農林水産業 【知識及び技能】 主題図や模式図、グラフや写真などを用いて、農林水産業の立地とその形態について地域性との関係から把握するとともに、アグリビジネスの活動が国境を越えて産地と消費地とを結びつけていることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 農林水産業の立地とその形態、アグリビジネスの活動を通した国境を越えた産地と消費地との結びつきや、世界の農産物流通の特徴について、多面的・多角的に考察・表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 農林水産業の立地とその形態、アグリビジネスの活動を通した国境を越えた産地と消費地との結びつきや、世界の農産物流通の特徴について、意欲的に追究して捉えようとしている。	・自作プリント・ワークノート・資料集・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 演習を通じて、主題図や模式図、グラフや写真などを用いて、農林水産業の立地や地域性との関係から把握するとともに、アグリビジネスの活動が国境を越えて産地と消費地とを結びつけていることを理解することができる。 【思考・判断・表現】 演習を通じて、農林水産業の立地とその形態、アグリビジネスの活動を通した国境を越えた産地と消費地との結びつきや、世界の農産物流通の特徴について、多面的・多角的に考察・表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 演習を通じて、農林水産業の立地とその形態、アグリビジネスの活動を通した国境を越えた産地と消費地との結びつきや、世界の農産物流通の特徴について、意欲的に追究して捉えようとするができる。	○	○	○	4
	定期考查			○	○		1

2 学 期	資源・エネルギー問題、環境問題、工業の立地と工業地域の定容 【知識及び技能】 主題図や模式図、グラフや写真の諸資料を用いて、資源・エネルギー問題や環境問題、工業立地の特徴とその変化の動向について、業種の違いや国際分業との関係から把握するとともに、知識集約型の進む工業の新展開や日本の工業の変化とその課題について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 資源の国際取引を成立させている背景や環境問題の原因、工業立地の特徴とその変化の動向について、業種の違いや国際分業との関係から考察するとともに、知識集約化の進む工業の新展開や日本の工業の変化とその課題について、関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、捉えようとしている。	・自作プリント・ワークノート・資料集・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 演習を通じて、主題図や模式図、グラフや写真の諸資料を用いて、資源・エネルギー問題や環境問題、工業立地の特徴とその変化の動向、業種の違いや国際分業との関係から把握するとともに、知識集約型の進む工業の新展開や日本の工業の変化とその課題について理解することができる。 【思考・判断・表現】 演習を通じて、資源の国際取引を成立させている背景や環境問題の原因、工業立地の特徴とその変化の動向について、業種の違いや国際分業との関係から考察するとともに、知識集約化の進む工業の新展開や日本の工業の変化とその課題について、多面的・多角的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 演習を通じて、暮らしをさせるエネルギーの必要性や環境問題、工業立地の特徴とその変化の動向とともに、知識集約化の進む新工業の展開や日本の工業の変化とその課題について、関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、捉えようとする可以尝试。	○	○	○	6
	第三次産業、交通・通信、観光、人口問題、都市・村落、領土・民族 【知識及び技能】 主題図や模式図、グラフや写真の諸資料を用いて、第三次産業の特徴その変化の把握、交通・通信の発展による世界の結びつきの現状、発展途上国と先進諸国が抱えている人口問題について把握するとともに、それらの現代的な位置づけとその課題について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 第三次産業の特徴その変化、交通・通信の発展による世界の結びつきの現状と発展により生じる諸課題の解決に向けた取組や、発展途上国と先進諸国が抱えている人口問題についての課題について、多面的・多角的に考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 第三次産業の特徴その変化、交通・通信の発展による世界の結びつきの現状と発展により生じる諸課題の解決に向けた取組や、発展途上国と先進諸国が抱えている人口問題についての課題について、関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、捉えようとしている。	・自作プリント・ワークノート・資料集・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 演習を通じて、主題図や模式図、グラフや写真の諸資料を用いて、第三次産業の特徴その変化の把握、交通・通信の発展による世界の結びつきの現状、発展途上国と先進諸国が抱えている人口問題について把握するとともに、それらの現代的な位置づけとその課題について理解し、諸資料から関連する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 演習を通じて、第三次産業の特徴その変化、交通・通信の発展による世界の結びつきの現状と発展により生じる諸課題の解決に向けた取組や、発展途上国と先進諸国が抱えている人口問題についての課題について、関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、捉えようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 演習を通じて、第三次産業の特徴その変化、交通・通信の発展による世界の結びつきの現状と発展により生じる諸課題の解決に向けた取組や、発展途上国と先進諸国が抱えている人口問題についての課題について、関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、捉えようとしている。	○	○	○	6
	東アジア、東南アジア、南アジア、西アジア、中央アジア 【知識及び技能】 主題図や模式図、グラフや写真の諸資料を用いて、アジア各地域の産業や地域格差、文化などのさまざまな事象を項目ごとに整理して考察することを通して、地域理解を深めていく。 【思考力、判断力、表現力等】 アジア各地域の産業や地域格差、文化などのさまざまな事象を項目ごとに整理し、多面的・多角的に考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 アジア各地域の産業や地域格差、文化などのさまざまな事象を項目ごとに整理して関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、捉えようとしている。	・自作プリント・ワークノート・資料集・一人2台端末の活用等	【知識・技能】 演習を通じて、主題図や模式図、グラフや写真の諸資料を用いて、アジア各地域の産業や地域格差、文化などのさまざまな事象を項目ごとに整理して考察し、地域理解を深め、諸資料から関連する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 演習を通じて、アジア各地域の産業や地域格差、文化などのさまざまな事象を項目ごとに整理し、図版や諸資料をもとに、多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 演習を通じて、アジア各地域の産業や地域格差、文化などのさまざまな事象を項目ごとに整理して関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、捉えようとしている。	○	○	○	8
	北アフリカとサハラ以南の地域、ヨーロッパとロシア 【知識及び技能】 主題図や模式図、グラフや写真の諸資料を用いて、北アフリカとサハラ以南の地域、ヨーロッパとロシア各地域の産業や地域格差、文化などの事象を項目ごとに整理して考察することを通して、地域理解を深めていく。 【思考力、判断力、表現力等】 北アフリカとサハラ以南の地域、ヨーロッパとロシアの産業や地域格差、文化などのさまざまな事象を項目ごとに整理し、多面的・多角的に考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 北アフリカとサハラ以南の地域、ヨーロッパとロシアの産業や地域格差、文化などのさまざまな事象を項目ごとに整理して関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、捉えようとしている。	・自作プリント・ワークノート・資料集・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 主題図や模式図、グラフや写真の諸資料を用いて、北アフリカとサハラ以南の地域、ヨーロッパとロシア各地域の産業や地域格差、文化などの事象を項目ごとに整理して考察することを通して、地域理解を深め、諸資料から関連する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 北アフリカとサハラ以南の地域、ヨーロッパとロシアの産業や地域格差、文化などのさまざまな事象を項目ごとに整理し、図版や諸資料をもとに、多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 北アフリカとサハラ以南の地域、ヨーロッパとロシアの産業や地域格差、文化などのさまざまな事象を項目ごとに整理して関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、捉えようとしている。	○	○	○	8

	アングロアメリカとラテンアメリカ、オセアニア 【知識及び技能】 主題図や模式図、グラフや写真の諸資料を用いて、アングロアメリカとラテンアメリカ、オセアニア各地域の産業や地域格差、文化などの事象を項目ごとに整理して考察することを通して、地域理解を深めていく。 【思考力、判断力、表現力等】 アングロアメリカとラテンアメリカ、オセアニア各地域の産業や地域格差、文化などのさまざまな事象を項目ごとに整理し、多面的・多角的に考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 アングロアメリカとラテンアメリカ、オセアニアの産業や地域格差、文化などのさまざまな事象を項目ごとに整理して関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、捉えようとしている。	・自作プリント・ワークノート・資料集・一人2台端末の活用等	【知識・技能】 演習を通じて、主題図や模式図、グラフや写真の諸資料を用いて、アングロアメリカとラテンアメリカ、オセアニア各地域の産業や地域格差、文化などのさまざまな事象を項目ごとに整理・考察し、諸資料から関連する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 演習を通じて、アングロアメリカとラテンアメリカ、オセアニア各地域の産業や地域格差、文化などのさまざまな事象を項目ごとに整理し、図版や諸資料をもとに、多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 演習を通じて、アングロアメリカとラテンアメリカ、オセアニア各地域の産業や地域格差、文化などのさまざまな事象を項目ごとに整理して関心と課題意識を高めて意欲的に追究し、見通しを持って学習に取り組むことができる。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
3 学 期	日本の地理的課題を読み解く、持続可能な国土探の探究 【知識及び技能】 主題図や模式図、各種統計資料などを用いて、日本における産業立地や都市化の変化、国土政策の流れを理解し、「主体的・対話的な学習方法」を駆使しながら、地球規模の視点で日本が抱える地理的課題について理解を深めていく。 【思考力、判断力、表現力等】 日本における産業立地や都市化の変化、国土政策の流れに関連するさまざまな資料を読み解くことを通じて、日本の抱える地理的課題について、多面的・多角的に考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 日本が抱える地理的課題の解決と持続可能な国土形成の在り方について、関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、捉えようとしている。	・自作プリント・ワークノート・資料集・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 演習を通じて、自らの疑問や探究したい課題を個人またはグループで見つけ、その解決に向け調査・分析する技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 演習を通じて、図版や諸資料をもとに、地球世界の課題について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 演習を通じて、興味・関心や疑問、追究してみたいことなど見出し、見通しを持って個人またはグループで学習に取り組もうとしている。	○	○	○	6

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 地理歴史科 科目 地理演習

教 科： 地理歴史科 科 目： 地理演習 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：三堀潔貴

使用教科書：（ 地理探究（帝国書院） ）

教科 地理歴史科 の目標：

【知 識 及 び 技 能】地理の見方・考え方を知り、客観的データを用いて把握できる

【思考力、判断力、表現力等】事実を基に多面的・多角的に考察する力、社会に積極的に参画できる市民の育成

【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う

科目 地理演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然、産業、生活文化の情報を理解し活用。	地理の見方考え方を多面的に考察し表現。	世界の諸地域の課題に主体的に取り組む。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1部 単元 1章 ・現代世界の系統 地理的考察地球環境と人間 1 地形 2 気 候 3 日本の自然環境 4 地球環境問題	・地球システムの中で生きる・地 形の成因、大地形、小地形。・気 候の成り立ち 世界の気候区分、 気候変動、日本の地形と気候、地 球環境問題とは。	【知識・技能】地形、気候に関して基本的な 知識と仕組みを理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本の具体的な地形と気候について、地図化 して考える主体的な取り組みができる。	○	○	○	5
	単元2章 ・資源と産業 1 農林水産業 2 食糧問題 3 エネルギー・鉱産資源 4 資源エネルギー問題 5 工業 6 第三 次産業	・農業の発達と分布、農業地域区 分、日本と世界の農業の現状と課 題、林業と水産業 ・世界と日本 の食糧問題 ・エネルギー資源の種 類と課題・化石燃料・電力 ・工 業の発達と立地 ・日本の工業 ・商業の発達と様々な第三次産業	【知識・技能】世界と日本の産業について基 礎的知識を理解している【思考・判断・表 現】産業の立地について、その背景を含め考 察できる。【主体的に学習に取り組む態度】 世界と日本の産業学習について各種書籍やSNS を活用して主体的に学習できる。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	単元 3章 交通・通信と観光、貿易 1 交通・通信 2 観光 3 貿易と経済圏	・世界を結ぶ交通 日本の交通 情報通信の発達 観光産業 日本の 観光産業 世界貿易と地域格差 貿易の自由化と連携 日本の貿易	【知識・技能】交通・通信について具体的事 例を通じて理解している。 【思考・判断・表現】交通通信、観光に関す る考え方などを用いて多面的・多角的に考察 し、表現できる。【主体的に学習に取り組む 態度】貿易ゲームなどを活用しながら主体的 に追究している。	○	○	○	8
	単元 4章 人口・村落・都市 1 人口 2 人口問題 3 村落と都市 4 都市と居 住	・世界の人口と移動 ・世界と日本の人口問題 ・村落と都市の成り立ちと都市 問題	【知識及び技能】世界と日本の人口問題 村落・都市 の居住と課題を理解している【思考力、判断力、表現 力等】村落・都市問題について多面的・多角的に考察 し、表現している。【主体的に学習に取り組む態 度】村落・都市の具体的事例についてグラフなどを作 成し主体的に追究している。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
2 学 期	単元 5章生活文化、民族・宗教 1 衣食住 2 民族宗教と民族問題 3 国家の領域と領土問題	・世界の衣服と食生活 ・世界の民族言語 ・世界の宗教 ・民族問題	【知識及び技能】世界の衣服と食生活について理 解している【思考力、判断力、表現力等】民族問 題のさまざまな役割と課題などについて、多面 的・多角的に考察し、表現している。【主体的 に学習に取り組む態度】多文化共生の課題などに ついて、主体的に追究している。				10
	定期考査			○	○		1
	第2部世界地誌 単元 1章 現代世界の地 域区分 第2章 世界の諸地域 1～ 9	1 章 現代世界の地域区分 第2章 東アジア 3章ASEAN 4章インド 5章西 アジア 6章EU 7章USA 8章 ラテンア メリカ 9章オセアニア	【知識及び技能】地誌的な考察方法を理解してい る【思考力、判断力、表現力等】特徴ある地域の事象を 他の事象と有機的に考察し表現できる 【主体的に取 り組む態度】世界地誌の基本的な事象について多角的 に考察、表現できる。				12
	定期考査			○	○		1
3 学 期	第3部 日本の国土像	・持続可能な国土像の探究 ・日本の地理的な課題	【知識及び技能】日本国土像の意味について理解して いる。【思考力、判断力、表現力等】日本の地理的な 課題について、多面的・多角的に考察し、表現してい る 【主体的に取り組む態度】持続可能な日本の国土 像について、主体的に追究している。				15
	定期考査			○	○		1

高等学校 令和6年度（3学年用）

教科 公民

科目 公共α

教科：公民

科目：公共α

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 組～ 組

教科担当者：（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）

使用教科書：（ ）

教科 公民

の目標：

【知識及び技能】社会の見方・考え方を知り、客観的データを用いて把握できる

【思考力、判断力、表現力等】事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う

【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う

科目 公共α

の目標：

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 単元 【知識及び技能】市場経済の働き、市場の失敗と政府の役割について、理解している【思考力、判断力、表現力等】多面的・多角的に考察し、表現している【学びに向かう力、人間性等】グローバル化のなかの経済活動の動きについて、主体的に追究している。	・指導事項①経済活動と市場 ②経済主体と経済循環 ③国民経済の大きさや経済成長 ④物価と景気変動 ⑤市場の失敗と公害・消費者問題	【知識・技能】市場経済の働き、市場の失敗と政府の役割について、理解している。【思考・判断・表現】多面的・多角的に考察し、表現している【主体的に学習に取り組む態度】グローバル化のなかの経済活動の動きについて、主体的に追究している。	○	○	○	5
	B 単元 【知識及び技能】財政の三つの働き、財政のしくみ、中央銀行の役割直接金融と間接金融について理解している。【思考力、判断力、表現力等】現在の財政状況、金融システムを多面的・多角的に考察し、表現している【学びに向かう力、人間性等】社会保障の課題などについて、主体的に追究している。	財政のしくみと租税の意義 金融のしくみとはたらき	【知識・技能】金融の仕組み、財政の特徴について理解している。【思考・判断・表現】金融の自由化と金融商品の多様化の動向について、多面的・多角的に考察し、表現している【主体的に学習に取り組む態度】社会保障の課題などについて、主体的に追究している。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	C 単元 【知識及び技能】義務論、功利主義など先哲の思想を理解している。【思考力、判断力、表現力等】義務論や正義に関する考えなどを用いて多面的・多角的に考察し、表現している。【学びに向かう力、人間性等】功利主義や義務論の考え方を活用しながら主体的に追究している。	・公共の扉 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】義務論、功利主義など先哲の思想を理解している。【思考・判断・表現】義務論や正義に関する考えなどを用いて多面的・多角的に考察し、表現している。【主体的に学習に取り組む態度】功利主義や義務論の考え方を活用しながら主体的に追究している。	○	○	○	8
	D 単元 【知識及び技能】アーレントの「活動」、ハーバーマスの「コミュニケーション的理性」、和辻哲郎の「間柄」などの観点から理解している。【思考力、判断力、表現力等】先哲の考え方を手がかりに、多面的・多角的に考察し、表現している。【学びに向かう力、人間性等】社会的存在としての人間のあり方について、アーレントやハーバーマス、和辻哲郎など先人の思想を手がかりに主体的に追究している。	・先哲の思想 ・教材 ・一人2台端末の活用 等	【知識及び技能】アーレントの「活動」、ハーバーマスの「コミュニケーション的理性」、和辻哲郎の「間柄」などの観点から理解している。【思考力、判断力、表現力等】先哲の考え方を手がかりに、多面的・多角的に考察し、表現している。【主体的に学習に取り組む態度】社会的存在としての人間のあり方について、アーレントやハーバーマス、和辻哲郎など先人の思想を手がかりに主体的に追究している。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
2 学期	D 単元 【知識及び技能】国際連合の役割、グローバル化と国際経済、国際経済の諸課題などについて理解している。【思考力、判断力、表現力等】国際連合のさまざまな役割と課題などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。【学びに向かう力、人間性等】国際連合のさまざまな役割と課題などについて、主体的に追究している。	・先哲の思想 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】国際連合の役割、グローバル化と国際経済、国際経済の諸課題などについて理解している。【思考力、判断力、表現力等】国際連合のさまざまな役割と課題などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。【主体的に学習に取り組む態度】国際連合のさまざまな役割と課題などについて、主体的に追究している。				10
	定期考査			○	○		1
	D 単元 【知識及び技能】平和主義と日本国憲法第9条、自衛隊と日米安全保障、戦後日本の防衛政策、冷戦後の世界の動き、冷戦終結後の日本の安全保障政策、自衛隊と海外派遣などについて理解している。【思考力、判断力、表現力等】自衛隊と海外派遣などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。【学びに向かう力、人間性等】核軍縮が進まない理由についての二つの視点を手がかりに、多面的・多角的に考察し、判断している。	国際政治 ・教材 ・一人2台端末の活用 等	【知識及び技能】平和主義と日本国憲法第9条、自衛隊と日米安全保障、戦後日本の防衛政策、冷戦後の世界の動き、冷戦終結後の日本の安全保障政策、自衛隊と海外派遣などについて理解している。【思考力、判断力、表現力等】自衛隊と海外派遣などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。【主体的に取り組む態度】核軍縮が進まない理由についての二つの視点を手がかりに、多面的・多角的に考察し、判断している。				12
3 学期	定期考査			○	○		1
	D 単元 【知識及び技能】自由貿易と保護貿易、自由貿易の推進に向けた体制、国際収支統計の意味について理解している。【思考力、判断力、表現力等】為替のしくみと外国為替市場、国際通貨制度とその変化、国際金融の動向について、多面的・多角的に考察し、表現している。【学びに向かう力、人間性等】現在の国際経済秩序と動き、地域統合の歴史と現在、台頭する新興国の動きなどについて、主体的に追究している。	国際経済 ・教材 ・一人3台端末の活用 等	【知識及び技能】自由貿易と保護貿易、自由貿易の推進に向けた体制、国際収支統計の意味について理解している。【思考力、判断力、表現力等】為替のしくみと外国為替市場、国際通貨制度とその変化、国際金融の動向について、多面的・多角的に考察し、表現している。【主体的に取り組む態度】現在の国際経済秩序と動き、地域統合の歴史と現在、台頭する新興国の動きなどについて、主体的に追究している。				15
	定期考査			○	○		1

高等学校 令和6年度（1・3学年用）

公民 科目 公共β

教科： 公民 科目： 公共β

単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 組～ 組

教科担当者： 鯉淵

使用教科書：（「高等学校 公共」（教育図書））

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】現代を取り巻く諸課題の解決を通して、社会の秩序が形成されていくことについて理解する。

【思考力、判断力、表現力等】自ら主題を設定し、その主題の解決に向けて協働・考察・構想し、論拠をもって表現する。

【学びに向かう力、人間性等】社会の諸課題について、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする。

科目 公共β の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・自分自身が公共的空間の主体となり、自分のキャリア形成とともによりよい社会の形成に結びつくことについて理解する。 ・選択・判断の手がかりとして功利主義、義務論などの考え方について理解する。	地域社会などのさまざまな集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現すること。	よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、公共的空間に生きる人間としてのあり方生き方について自覚を深めている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	【知識及び技能】 西洋の源流思想について、哲学者・思想家を中心に特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 主に古代ギリシャ・三大世界宗教・中国の思想の教義を、ビジネス的視点を加えて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 哲学者・思想家の教えや教義について、その後の影響や潮流について主体的に追究する。	ギリシャの思想 ユダヤ教・キリスト教 イスラーム 仏教 中国の思想	【知識・技能】西洋の源流思想の特徴を理解している。 【思考・判断・表現】それぞれの教義の特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】西洋の源流思想について、主体的に追究している。	○	○	○	8
				○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	【知識及び技能】 中世の思想について、哲学者・思想家を中心に特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 主にルネサンスから始まる宗教的な変化とその時代の特徴を、ビジネス的視点を加えて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 哲学者・思想家の教えや教義について、その後の影響や潮流について主体的に追究する。	ルネサンス 宗教改革 合理的精神 社会契約説	【知識・技能】中世の思想について、特徴を理解している。 【思考・判断・表現】ルネサンスから社会契約説に至る思想の展開を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】中世の思想について、主体的に追究している。	○	○	○	8
				○	○	○	8
2 学 期	定期考査			○	○		1
	【知識及び技能】 近代の思想について、哲学者・思想家を中心に特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ドイツ観念論（ヘーゲル・カント）の思想を中心に、その後の哲学に与えた影響を、ビジネス的視点を加えて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 哲学者・思想家の教えや教義について、その後の影響や潮流について主体的に追究する。	ドイツ観念論 民主社会の原理 プラグマティズム 実存主義 現代の思想	【知識・技能】近代の思想について、特徴を理解している。 【思考・判断・表現】ヘーゲルから始まるドイツ観念論の思想がその後の哲学に与えた影響を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】近代の思想について、主体的に追究している。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	【知識及び技能】 日本の思想について、哲学者・思想家を中心に特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 仏教を中心に、外来の宗教が日本に与えた影響とその後の日本の骨格となった理由を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 哲学者・思想家の教えや教義について、その後の影響や潮流について主体的に追究する。	日本の風土と伝統 日本仏教の展開 江戸時代の儒学 国学 町人・農村の思想 西洋思想の受容・近代化 現代の思想	【知識・技能】日本の思想について、特徴を理解している。 【思考・判断・表現】外来の宗教である仏教がその後の日本の思想に与えた影響を多面的・多角的に考察し、表現している。また、江戸以降の思想が現代の日本に与えた影響を考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】日本の思想について、主体的に追究している。	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	10
				○	○		1

3 学 期	【知識及び技能】 世界及び日本の思想について、哲学者・思想家を中心に特徴をまとめる。 【思考力、判断力、表現力等】 世界及び日本の思想について、それぞれの時代区分における特徴を考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 哲学者・思想家の教えや教義についてまとめ、それぞれの特徴を主体的に追究する。	思想のまとめ	【知識・技能】世界及び日本の思想について、特徴を理解している。 【思考・判断・表現】世界及び日本の思想についての特徴や相互関係を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】哲学者・思想家の教えや教義について、主体的に追究している。	○	○	○	8
-------------	--	--------	---	---	---	---	---

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 数学 科目 数学Ⅲ

教科： 数学 科目： 数学Ⅲ 単位数： 4 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（1組：）（2組：）（3組：）（4組：）（5組：）（6組：）（7組：）（8組：）

使用教科書：（数研出版 数学Ⅲ ）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】各単元の内容を理解し、事象を数学化し、表現、処理ができるようになる。

【思考力、判断力、表現力等】数学的な考え方、判断力を向上し、考えを表現できるようになる。

【学びに向かう力、人間性等】積極的に問題に取り組むことができ、与えられた課題に真剣に取り組むことができる。

科目 数学Ⅲ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
各単元の内容について、基本的な事柄を十分理解したうえで、これらを用いた問題を解くことができるようになる。	数学的な思考力、解法発見力をつけ、自らの考え解法を記述などで的確に表現することができるようになる。	数学に対して積極的に学ぶ姿勢をもち、与えられた課題などに真剣に取り組む姿勢を身につけさせる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	極限と微分法に関する単元 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況	数学Ⅲの極限、微分法の分野について、基本的な内容の復習と演習を実施する。さらにこれらの分野から出題されている大学入試問題の演習を実施する。	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○	○	○	30
	定期考査			○	○		1
	積分法に関する単元 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況	数学Ⅲの積分法の分野について、基本的な内容の復習と演習を実施する。さらにこれらの分野から出題されている大学入試問題の演習を実施する。	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○	○	○	29
	定期考査			○	○		1
2 学 期	極限、微分法、積分法 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況	数学Ⅲ、数学Cの全範囲について、基本的な内容の復習と演習を実施する。さらにこれらの分野から出題されている大学入試問題の演習を実施する。	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○	○	○	29
	定期考査			○	○		1
	総合演習 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況	数学Ⅲ、数学Cの全範囲について、基本的な内容の復習と演習を実施する。さらにこれらの分野から出題されている大学入試問題の演習を実施する。	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○	○	○	29
	定期考査			○	○		1
3 学 期	総合演習 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況	数学Ⅲ、数学Cの全範囲について、基本的な内容の復習と演習を実施する。さらにこれらの分野から出題されている大学入試問題の演習を実施する。	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○	○		19

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 数学 科目 数学C

教科： 数学 科目： 数学C 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（1組：）（2組：）（3組：）（4組：）（5組：）（6組：）（7組：）（8組：）

使用教科書：（数研出版 数学C ）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】各単元の内容を理解し、事象を数学化し、表現、処理ができるようになる。

【思考力、判断力、表現力等】数学的な考え方、判断力を向上し、考えを表現できるようになる。

【学びに向かう力、人間性等】積極的に問題に取り組むことができ、与えられた課題に真剣に取り組むことができる。

科目 数学C の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
各単元の内容について、基本的な事柄を十分理解したうえで、これらを用いた問題を解くことができるようになる。	数学的な思考力、解法発見力をつけ、自らの考え解法を記述などで的確に表現することができるようになる。	数学に対して積極的に学ぶ姿勢をもち、与えられた課題などに真剣に取り組む姿勢を身につけさせる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	式と曲線に関する単元 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況	数学Cの式と曲線の分野について、基本的な内容の復習と演習を実施する。さらにこれらの分野から出題されている大学入試問題の演習を実施する。	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	式と曲線に関する単元 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況	数学Cの式と曲線の分野について、基本的な内容の復習と演習を実施する。さらにこれらの分野から出題されている大学入試問題の演習を実施する。	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
2 学 期	総合演習 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況	数学Ⅲ、数学Cの全範囲について、基本的な内容の復習と演習を実施する。さらにこれらの分野から出題されている大学入試問題の演習を実施する。	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	総合演習 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況	数学Ⅲ、数学Cの全範囲について、基本的な内容の復習と演習を実施する。さらにこれらの分野から出題されている大学入試問題の演習を実施する。	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
3 学 期	総合演習 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況	数学Ⅲ、数学Cの全範囲について、基本的な内容の復習と演習を実施する。さらにこれらの分野から出題されている大学入試問題の演習を実施する。	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○	○		10

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 数学 科目 理系数学演習

教科： 数学 科目： 理系数学演習 単位数： 6 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（1組：）（2組：）（3組：）（4組：）（5組：）（6組：）（7組：）（8組：）

使用教科書：（数研出版 数学Ⅰ・Ⅱ・A・B・C ）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】各単元の内容を理解し、事象を数学化し、表現、処理ができるようになる。

【思考力、判断力、表現力等】数学的な考え方、判断力を向上し、考えを表現できるようになる。

【学びに向かう力、人間性等】積極的に問題に取り組むことができ、与えられた課題に真剣に取り組むことができる。

科目 理系数学演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
各単元の内容について、基本的な事柄を十分理解したうえで、これらを用いた問題を解くことができるようになる。	数学的な思考力、解法発見力をつけ、自らの考え解法を記述などで的確に表現することができるようになる。	数学に対して積極的に学ぶ姿勢をもち、与えられた課題などに真剣に取り組む姿勢を身につけさせる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	場合の数・確率や幾何的な単元 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況	数学Ⅰ・Ⅱ・A・B・C（ベクトル） の全範囲について、基本的な内容 の復習と演習を実施する。さらに これらの分野から出題されている 大学入試問題の演習を実施する。	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○	○	○	50
	定期考査			○	○		1
	解析的単元 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況	数学Ⅰ・Ⅱ・A・B・C（ベクトル） の全範囲について、基本的な内容 の復習と演習を実施する。さらに これらの分野から出題されている 大学入試問題の演習を実施する。	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○	○	○	50
	定期考査			○	○		1
2 学 期	代数的単元 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況	数学Ⅰ・Ⅱ・A・B・C（ベクトル） の全範囲について、基本的な内容 の復習と演習を実施する。さらに これらの分野から出題されている 大学入試問題の演習を実施する。	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○	○	○	50
	定期考査			○	○		1
	総合演習 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況	数学Ⅰ・Ⅱ・A・B・C（ベクトル） の全範囲について、基本的な内容 の復習と演習を実施する。さらに これらの分野から出題されている 大学入試問題の演習を実施する。	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○	○	○	46
	定期考査			○	○		1
3 学 期	総合演習 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況	数学Ⅰ・Ⅱ・A・B・C（ベクトル） の全範囲について、基本的な内容 の復習と演習を実施する。さらに これらの分野から出題されている 大学入試問題の演習を実施する。	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○	○		10

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 数学 科目 総合数学演習

教科： 数学 科目： 総合数学演習 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（1組：）（2組：）（3組：）（4組：）（5組：）（6組：）（7組：）（8組：）

使用教科書：（数研出版 数学Ⅰ・Ⅱ・A・B・C ）

教科 数学 の目標：

- 【知識及び技能】各単元の内容を理解し、事象を数学化し、表現、処理ができるようになる。
- 【思考力、判断力、表現力等】数学的な考え方、判断力を向上し、考えを表現できるようになる。
- 【学びに向かう力、人間性等】積極的に問題に取り組むことができ、与えられた課題に真剣に取り組むことができる。

科目 総合数学演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
各単元の内容について、基本的な事柄を十分理解したうえで、これらを用いた問題を解くことができるようになる。	数学的な思考力、解法発見力をつけ、自らの考え解法を記述などで的確に表現することができるようになる。	数学に対して積極的に学ぶ姿勢をもち、与えられた課題などに真剣に取り組む姿勢を身につけさせる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	場合の数・確率や幾何的な単元 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況	数学Ⅰ・Ⅱ・A・B・C（ベクトル） の全範囲について、基本的な内容 の復習と演習を実施する。さらに これらの分野から出題されている 大学入試問題の演習を実施する。	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
	解析的単元 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況	数学Ⅰ・Ⅱ・A・B・C（ベクトル） の全範囲について、基本的な内容 の復習と演習を実施する。さらに これらの分野から出題されている 大学入試問題の演習を実施する。	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
2 学 期	代数的単元 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況	数学Ⅰ・Ⅱ・A・B・C（ベクトル） の全範囲について、基本的な内容 の復習と演習を実施する。さらに これらの分野から出題されている 大学入試問題の演習を実施する。	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
	総合演習 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況	数学Ⅰ・Ⅱ・A・B・C（ベクトル） の全範囲について、基本的な内容 の復習と演習を実施する。さらに これらの分野から出題されている 大学入試問題の演習を実施する。	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
3 学 期	総合演習 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況	数学Ⅰ・Ⅱ・A・B・C（ベクトル） の全範囲について、基本的な内容 の復習と演習を実施する。さらに これらの分野から出題されている 大学入試問題の演習を実施する。	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○	○		2

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 数学 科目 数学標準①

教 科： 数学 科 目： 数学標準① 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（1組：）（2組：）（3組：）（4組：）（5組：）（6組：）（7組：）（8組：）

使用教科書：（ 数研出版 数学Ⅰ・Ⅱ・A・B・C ）

教科 数学 の目標：

【知 識 及 び 技 能】各単元の内容を理解し、事象を数学化し、表現、処理ができるようになる。

【思考力、判断力、表現力等】数学的な考え方、判断力を向上し、考えを表現できるようになる。

【学びに向かう力、人間性等】積極的に問題に取り組むことができ、与えられた課題に真剣に取り組むことができる。

科目 数学標準① の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
各単元の内容について、基本的な事柄を十分理解したうえで、これらを用いた問題を解くことができるようになる。	数学的な思考力、解法発見力をつけ、自らの考え解法を記述などでの的確に表現することができるようになる。	数学に対して積極的に学ぶ姿勢をもち、与えられた課題などに真剣に取り組む姿勢を身につけさせる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	共通テスト対策問題演習 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況	数学Ⅰ・Aの全範囲について、基本的な内容の復習と演習を実施する。さらにこれらの分野から出題されている大学入試問題の演習を実施する。	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	共通テスト対策問題演習 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況	数学Ⅰ・Aの全範囲について、基本的な内容の復習と演習を実施する。さらにこれらの分野から出題されている大学入試問題の演習を実施する。	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
2 学 期	共通テスト対策問題演習 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況	数学Ⅰ・Aの全範囲について、基本的な内容の復習と演習を実施する。さらにこれらの分野から出題されている大学入試問題の演習を実施する。	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	共通テスト対策問題演習 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況	数学Ⅰ・Aの全範囲について、基本的な内容の復習と演習を実施する。さらにこれらの分野から出題されている大学入試問題の演習を実施する。	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
3 学 期	共通テスト対策問題演習 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況	数学Ⅰ・Aの全範囲について、基本的な内容の復習と演習を実施する。さらにこれらの分野から出題されている大学入試問題の演習を実施する。	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○	○		16
							合計 70

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 数学 科目 数学標準②

教 科： 数学 科 目： 数学標準② 単位数： 2 単位
対象学年組：第 3 学年 1 組～ 8 組
教科担当者：（1組：）（2組：）（3組：）（4組：）（5組：）（6組：）（7組：）（8組：）
使用教科書：（ 数研出版 数学Ⅰ・Ⅱ・A・B・C ）

教科 数学 の目標：
【知 識 及 び 技 能】各単元の内容を理解し、事象を数学化し、表現、処理ができるようになる。
【思考力、判断力、表現力等】数学的な考え方、判断力を向上し、考えを表現できるようになる。
【学びに向かう力、人間性等】積極的に問題に取り組むことができ、与えられた課題に真剣に取り組むことができる。

科目 数学標準② の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
各単元の内容について、基本的な事柄を十分理解したうえで、これらを用いた問題を解くことができるようになる。	数学的な思考力、解法発見力をつけ、自らの考え解法を記述など的確に表現することができるようになる。	数学に対して積極的に学ぶ姿勢をもち、与えられた課題などに真剣に取り組む姿勢を身につけさせる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	共通テスト対策問題演習 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況	数学Ⅱ・B・C（ベクトル）の全範囲について、基本的な内容の復習と演習を実施する。さらにこれらの分野から出題されている大学入試問題の演習を実施する。	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	共通テスト対策問題演習 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況	数学Ⅱ・B・C（ベクトル）の全範囲について、基本的な内容の復習と演習を実施する。さらにこれらの分野から出題されている大学入試問題の演習を実施する。	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
2 学 期	共通テスト対策問題演習 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況	数学Ⅱ・B・C（ベクトル）の全範囲について、基本的な内容の復習と演習を実施する。さらにこれらの分野から出題されている大学入試問題の演習を実施する。	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	共通テスト対策問題演習 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況	数学Ⅱ・B・C（ベクトル）の全範囲について、基本的な内容の復習と演習を実施する。さらにこれらの分野から出題されている大学入試問題の演習を実施する。	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
3 学 期	共通テスト対策問題演習 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況	数学Ⅱ・B・C（ベクトル）の全範囲について、基本的な内容の復習と演習を実施する。さらにこれらの分野から出題されている大学入試問題の演習を実施する。	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○	○		16
							合計 70

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 数学 科目 数学ⅡBC演習

教科：数学 科目：数学ⅡBC演習 単位数：2 単位
対象学年組：第3学年 1組～8組
教科担当者：（1組：）（2組：）（3組：）（4組：）（5組：）（6組：）（7組：）（8組：）
使用教科書：（数研出版 数学Ⅰ・Ⅱ・A・B・C）

- 教科 数学 の目標：
- 【知識及び技能】各単元の内容を理解し、事象を数学化し、表現、処理ができるようになる。
 - 【思考力、判断力、表現力等】数学的な考え方、判断力を向上し、考えを表現できるようになる。
 - 【学びに向かう力、人間性等】積極的に問題に取り組むことができ、与えられた課題に真剣に取り組むことができる。

科目 数学ⅡBC演習	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
各単元の内容について、基本的な事柄を十分理解したうえで、これらを用いた問題を解くことができるようになる。	数学的な思考力、解法発見力をつけ、自らの考え解法を記述など的確に表現することができるようになる。
【学びに向かう力、人間性等】	数学に対して積極的に学ぶ姿勢をもち、与えられた課題などに真剣に取り組む姿勢を身につけさせる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	共通テスト対策問題演習 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況	数学Ⅱ・B・C（ベクトル）の全範囲について、基本的な内容の復習と演習を実施する。さらにこれらの分野から出題されている大学入試問題の演習を実施する。	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	共通テスト対策問題演習 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況	数学Ⅱ・B・C（ベクトル）の全範囲について、基本的な内容の復習と演習を実施する。さらにこれらの分野から出題されている大学入試問題の演習を実施する。	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
2 学 期	共通テスト対策問題演習 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況	数学Ⅱ・B・C（ベクトル）の全範囲について、基本的な内容の復習と演習を実施する。さらにこれらの分野から出題されている大学入試問題の演習を実施する。	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	共通テスト対策問題演習 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況	数学Ⅱ・B・C（ベクトル）の全範囲について、基本的な内容の復習と演習を実施する。さらにこれらの分野から出題されている大学入試問題の演習を実施する。	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
3 学 期	共通テスト対策問題演習 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況	数学Ⅱ・B・C（ベクトル）の全範囲について、基本的な内容の復習と演習を実施する。さらにこれらの分野から出題されている大学入試問題の演習を実施する。	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○	○		16
							合計 70

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 数学 科目 数学発展①②

教科： 数学 科目： 数学発展①② 単位数： 4 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（1組：）（2組：）（3組：）（4組：）（5組：）（6組：）（7組：）（8組：）

使用教科書：（数研出版 数学Ⅰ・Ⅱ・A・B・C ）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】各単元の内容を理解し、事象を数学化し、表現、処理ができるようになる。

【思考力、判断力、表現力等】数学的な考え方、判断力を向上し、考えを表現できるようになる。

【学びに向かう力、人間性等】積極的に問題に取り組むことができ、与えられた課題に真剣に取り組むことができる。

科目 数学発展①② の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
各単元の内容について、基本的な事柄を十分理解したうえで、これらを用いた問題を解くことができるようになる。	数学的な思考力、解法発見力をつけ、自らの考え解法を記述などで的確に表現することができるようになる。	数学に対して積極的に学ぶ姿勢をもち、与えられた課題などに真剣に取り組む姿勢を身につけさせる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	場合の数・確率や幾何的な単元 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況	数学Ⅰ・Ⅱ・A・B・C（ベクトル）の全範囲について、基本的な内容の復習と演習を実施する。さらにこれらの分野から出題されている大学入試問題の演習を実施する。	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○	○	○	33
	定期考査			○	○		1
	解析的単元 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況	数学Ⅰ・Ⅱ・A・B・C（ベクトル）の全範囲について、基本的な内容の復習と演習を実施する。さらにこれらの分野から出題されている大学入試問題の演習を実施する。	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○	○	○	33
	定期考査			○	○		1
2 学 期	代数的単元 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況	数学Ⅰ・Ⅱ・A・B・C（ベクトル）の全範囲について、基本的な内容の復習と演習を実施する。さらにこれらの分野から出題されている大学入試問題の演習を実施する。	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○	○	○	33
	定期考査			○	○		1
	総合演習 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況	数学Ⅰ・Ⅱ・A・B・C（ベクトル）の全範囲について、基本的な内容の復習と演習を実施する。さらにこれらの分野から出題されている大学入試問題の演習を実施する。	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○	○	○	33
	定期考査			○	○		1
3 学 期	総合演習 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況	数学Ⅰ・Ⅱ・A・B・C（ベクトル）の全範囲について、基本的な内容の復習と演習を実施する。さらにこれらの分野から出題されている大学入試問題の演習を実施する。	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○	○		4

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科

科目 物理

教 科： 理科

科 目： 物理

6 単位

対象学年組：第 3 学年 1組・6組・7組・8組

教科担当者：（ 1組・6組・7組・8組：津田一哉・宮川朋一 ）

使用教科書：（ 総合物理 1－力と運動・熱一、総合物理 2－波・電気と磁気・原子－（数研出版） ）

教科 理科

の目標： 自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うこと等を通して、それらを科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する

【知 識 及 び 技 能】自然の事物・現象について理解を深め、科学的探究に必要な観察、実験等に関する技能を身に付ける

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う

科目 物理

の目標： 物理的な事物・現象について、理科の見方・考え方にに基づき、見通しをもって観察、実験を行うこと等を通して、それらを科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的探究に必要な観察、実験等に関する技能を身に付ける	観察、実験等の探究活動や問題演習などを通して、科学的に探究する力を養う	物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 力学分野 剛体のつり合い 運動量 円運動・慣性力 単振動・万有引力 【知識及び技能】基本的概念や原理・法則を理解し、実験・観察等で探究に必要な技能を体験する。 【思考力、判断力、表現力等】問題演習や思考実験等を通して、学んだ知識を適用する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】身の回りの現象について、学んだ知識を応用してその原因や過程について考察する。	・剛体にはたらく力、力のモーメント、剛体のつり合い、偶力、重心 ・運動量と力積、運動量保存則、反発係数、運動量と力学的エネルギー ・等速円運動、向心力、慣性力 ・単振動、復元力、ばね振り子、単振り子 ・惑星の運動、万有引力の法則、重力、万有引力による位置エネルギー ・一人 1 台端末の活用	【知識及び技能】 定期考査、問題演習、提出物、質疑 等 【思考力、判断力、表現力等】 定期考査、発言・発表、提出物 等 【学びに向かう力、人間性等】 主体性、提出状況、授業観察 等	○	○	○	17
	B 電磁気分野 電場・電位 導体・不導体 コンデンサー 電流・直流回路 【知識及び技能】基本的概念や原理・法則を理解し、実験・観察等で探究に必要な技能を体験する。 【思考力、判断力、表現力等】問題演習や思考実験等を通して、学んだ知識を適用する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】身の回りの現象について、学んだ知識を応用してその原因や過程について考察する。	・点電荷のまわりの電場と電位、電気力線、ガウスの法則、電場・電位の重ね合わせ、電場中の導体・不導体 ・平行板コンデンサー、電気容量、コンデンサーの接続、静電エネルギー ・オームの法則、ジュール熱と電力、電子論から見たオームの法則と電力、電流計・電圧計、キルヒホッフの法則、電池の起電力と内部抵抗、ブリッジ回路、電位差計、非直線抵抗、コンデンサーを含む直流回路 ・一人 1 台端末の活用	【知識及び技能】 定期考査、問題演習、提出物、質疑 等 【思考力、判断力、表現力等】 定期考査、発言・発表、提出物 等 【学びに向かう力、人間性等】 主体性、提出状況、授業観察 等	○	○	○	17
	定期考査			○	○		2
	C 熱学分野 気体の法則 気体分子運動論 気体の状態変化 【知識及び技能】基本的概念や原理・法則を理解し、実験・観察等で探究に必要な技能を体験する。 【思考力、判断力、表現力等】問題演習や思考実験等を通して、学んだ知識を適用する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】身の回りの現象について、学んだ知識を応用してその原因や過程について考察する。	・気体の圧力、ボイル・シャルルの法則、理想気体の状態方程式 ・分子運動と圧力、平均運動エネルギーと絶対温度、単原子分子と二原子分子、内部エネルギー、熱力学第一法則、気体の状態変化、モル比熱、不可逆変化、熱機関と熱効率、熱力学第二法則 ・一人 1 台端末の活用	【知識及び技能】 定期考査、問題演習、提出物、質疑 等 【思考力、判断力、表現力等】 定期考査、発言・発表、提出物 等 【学びに向かう力、人間性等】 主体性、提出状況、授業観察 等	○	○	○	8
	D 波動分野 正弦波の式 ドップラー効果 光波・レンズと鏡 【知識及び技能】基本的概念や原理・法則を理解し、実験・観察等で探究に必要な技能を体験する。 【思考力、判断力、表現力等】問題演習や思考実験等を通して、学んだ知識を適用する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】身の回りの現象について、学んだ知識を応用してその原因や過程について考察する。	・正弦波の式、位相 ・音のドップラー効果（音源・観測者の運動、風が吹く場合、移動する壁、斜め方向のドップラー効果） ・光の種類、光速、光の反射・屈折、全反射、分散とスペクトル、散乱と偏光 ・凸レンズ、凹レンズ、レンズによる像と作図、写像公式、組み合わせレンズ、平面鏡と球面鏡 ・一人 1 台端末の活用	【知識及び技能】 定期考査、問題演習、提出物、質疑 等 【思考力、判断力、表現力等】 定期考査、発言・発表、提出物 等 【学びに向かう力、人間性等】 主体性、提出状況、授業観察 等	○	○	○	11
	E 電磁気分野 半導体 電流と磁場 電磁誘導 【知識及び技能】基本的概念や原理・法則を理解し、実験・観察等で探究に必要な技能を体験する。 【思考力、判断力、表現力等】問題演習や思考実験等を通して、学んだ知識を適用する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】身の回りの現象について、学んだ知識を応用してその原因や過程について考察する。	・半導体の種類とキャリア、ダイオード、トランジスタ ・磁場と磁気力、磁力線、磁性体、電流の作る磁場、電磁力、磁束と磁束密度、平行電流間の力、ローレンツ力、磁場中の荷電粒子、ホール効果、サイクロトロン ・電磁誘導とレンツの法則、誘導起電力、磁場を横切る導線に生じる誘導起電力、ローレンツ力と誘導起電力、誘導起電力とエネルギー、渦電流と誘導電場、自己誘導と自己インダクタンス、コイルの磁気エネルギー、相互誘導	【知識及び技能】 定期考査、問題演習、提出物、質疑 等 【思考力、判断力、表現力等】 定期考査、発言・発表、提出物 等 【学びに向かう力、人間性等】 主体性、提出状況、授業観察 等	○	○	○	19
	定期考査			○	○		2

2 学 期	F 波動分野 光波の干渉と回折 【知識及び技能】基本的概念や原理・法則を理解し、実験・観察等で探究に必要な技能を体験する。 【思考力、判断力、表現力等】問題演習や思考実験等を通して、学んだ知識を適用する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】身の回りの現象について、学んだ知識を応用してその原因や過程について考察する。	・光波の干渉条件と位相、ヤングの実験、回折格子、薄膜による干渉、くさび形空気層における干渉、ニュートンリング	【知識及び技能】 定期考査、問題演習、提出物、質疑 等 【思考力、判断力、表現力等】 定期考査、発言・発表、提出物 等 【学びに向かう力、人間性等】 主体性、提出状況、授業観察 等	○	○	○	10
	G 電磁気分野 交流と交流回路 電磁波 【知識及び技能】基本的概念や原理・法則を理解し、実験・観察等で探究に必要な技能を体験する。 【思考力、判断力、表現力等】問題演習や思考実験等を通して、学んだ知識を適用する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】身の回りの現象について、学んだ知識を応用してその原因や過程について考察する。	・磁場を横切る導線に生じる誘導起電力、ローレンツ力と誘導起電力、誘導起電力とエネルギー、渦電流と誘導電場、自己誘導と自己インダクタンス、コイルの磁気エネルギー、相互誘導 ・交流の発生、実効値、変圧器、交流電圧と交流電流、交流と抵抗、交流とコイル、交流とコンデンサー、電圧と電流の位相差、交流回路のインピーダンス、共振、電氣振動 ・電磁波の発見と発生、電磁波の性質、電磁波の種類	【知識及び技能】 定期考査、問題演習、提出物、質疑 等 【思考力、判断力、表現力等】 定期考査、発言・発表、提出物 等 【学びに向かう力、人間性等】 主体性、提出状況、授業観察 等	○	○	○	18
	H 原子分野 電子と光・光電効果 粒子と波動の二重性 【知識及び技能】基本的概念や原理・法則を理解し、実験・観察等で探究に必要な技能を体験する。 【思考力、判断力、表現力等】問題演習や思考実験等を通して、学んだ知識を適用する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】身の回りの現象について、学んだ知識を応用してその原因や過程について考察する。 定期考査	・真空放電と陰極線、電子の比電荷と電氣素量、光量子仮説、光電効果、X線の発見と性質、ブラッグ反射、コンプトン効果、物質波、電子の波動性、不確定性原理	【知識及び技能】 定期考査、問題演習、提出物、質疑 等 【思考力、判断力、表現力等】 定期考査、発言・発表、提出物 等 【学びに向かう力、人間性等】 主体性、提出状況、授業観察 等	○	○	○	22
				○	○		2
	I 原子分野 原子と原子核 放射線とその性質 核反応と核エネルギー 素粒子 【知識及び技能】基本的概念や原理・法則を理解し、実験・観察等で探究に必要な技能を体験する。 【思考力、判断力、表現力等】問題演習や思考実験等を通して、学んだ知識を適用する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】身の回りの現象について、学んだ知識を応用してその原因や過程について考察する。 問題演習 I 【知識及び技能】学習事項を確認し、それらの知識を利用して基本的な問題に正しく解答する。 【思考力、判断力、表現力等】入試レベルの標準的な問題に、各単元ごとに取り組みながら、思考力・判断力をはたらかせる。 【学びに向かう力、人間性等】少し難易度の高い問題に主体的に取り組みながら、周囲と相談し、共働して解答にたどり着く過程を体験する。 定期考査	・原子模型、水素原子のスペクトル、前期量子論、電子のエネルギー準位、原子核の構成、同位体、統一原子質量単位 ・放射線の種類と性質、原子核崩壊、半減期、放射線の測定と単位 ・原子核反応式、アインシュタインの関係式、質量欠損と核エネルギー、核分裂、核融合 ・素粒子の種類、クォーク模型、自然界の4つの力、ゲージ粒子	【知識及び技能】 定期考査、問題演習、提出物、質疑 等 【思考力、判断力、表現力等】 定期考査、発言・発表、提出物 等 【学びに向かう力、人間性等】 主体性、提出状況、授業観察 等	○	○	○	10
3 学 期		・各単元・分野別の基本問題演習 力学分野 熱学分野 波動分野 電磁気分野 原子分野 ・入試レベルの単元別・分野別問題演習 力学分野 電磁気分野 ・入試基本問題（総合問題）演習	【知識及び技能】 定期考査、問題演習、提出物、質疑 等 【思考力、判断力、表現力等】 定期考査、発言・発表、提出物 等 【学びに向かう力、人間性等】 主体性、提出状況、授業観察 等	○	○	○	40
	問題演習 II 共通テスト問題演習 総合問題演習 【知識及び技能】入試問題を利用して、原理・法則の理解を確認する。 【思考力、判断力、表現力等】総合的な入試問題に取り組み、これまで学習した知識を活用して、思考力、判断力、表現力を伸長させる。 【学びに向かう力、人間性等】各自の目標とする大学の入試過去問題に主体的に取り組む。	・共通テスト対策問題演習 ・入試問題（総合問題）演習 ・難易度の高い入試問題演習 ・各大学ごとの過去問題演習	【知識及び技能】 問題演習、提出物、質疑 等 【思考力、判断力、表現力等】 発言・発表、提出物 等 【学びに向かう力、人間性等】 主体性、提出状況、授業観察 等	○	○	○	30

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 理科 科目 生物			
教科：理科	科目：生物	単位数：6	単位
対象学年組：第 3 学年 6 組 8 組			
教科担当者：（ 6 組：冬木、大西 ） （ 8 組：冬木、大西 ）			
使用教科書：（ 高等学校 生物（第一学習社）新課程 二訂版 スクエア最新図説生物（第一学習社） ）			
教科 理科		の目標：自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うこと等を通して、それらを科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する	
【知識及び技能】		自然の事物・現象について理解を深め、科学的探究に必要な観察、実験等に関する技能を身に付ける	
【思考力、判断力、表現力等】		観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う	
【学びに向かう力、人間性等】		自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う	
科目 生物		の目標：生物的事物・現象について、理科の見方・考え方に基づき、見通しをもって観察、実験を行うこと等を通して、それらを科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する	
【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。		自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 生物の進化と系統 ・生物の進化 ・生物の系統 【知識及び技能】 基本的概念を理解し、実験・観察を通して必要な技能を体験する 【思考力、判断力、表現力等】 演習や実験等を通して、学んだ知識を適用する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 学んだ知識を応用してその原因や過程について考察する。	・生命の起源 ・細胞の進化 ・遺伝子の変化 ・進化のしくみ ・生物の系統 ・生物の進化 ・人間の系統と進化 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 定期考査、問題演習、提出物、質疑 等 【思考・判断・表現】 定期考査、発言・発表、質疑 等 【主体的に学習に取り組む態度】 主体性、提出状況、授業観察 等	○	○	○	17
	B 細胞と分子 ・生体物質と細胞 ・タンパク質の構造と性質 【知識及び技能】 基本的概念を理解し、実験・観察を通して必要な技能を体験する 【思考力、判断力、表現力等】 演習や実験等を通して、学んだ知識を適用する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 学んだ知識を応用してその原因や過程について考察する。	・生体物質と細胞 ・タンパク質の構造 ・タンパク質の性質 ・生命現象とタンパク質 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 定期考査、問題演習、提出物、質疑 等 【思考・判断・表現】 定期考査、発言・発表、質疑 等 【主体的に学習に取り組む態度】 主体性、提出状況、授業観察 等	○	○	○	17
	定期考査			○	○		2
	C 代謝 ・代謝とエネルギー ・同化・異化 【知識及び技能】 基本的概念を理解し、実験・観察を通して必要な技能を体験する 【思考力、判断力、表現力等】 演習や実験等を通して、学んだ知識を適用する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 学んだ知識を応用してその原因や過程について考察する。	・代謝とエネルギー ・光合成と葉緑体 ・光合成の過程 ・呼吸とミトコンドリア ・発酵 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 定期考査、問題演習、提出物、質疑 等 【思考・判断・表現】 定期考査、発言・発表、質疑 等 【主体的に学習に取り組む態度】 主体性、提出状況、授業観察 等	○	○	○	18
	D 遺伝情報の発現と発生 ・遺伝情報とその発現 ・遺伝子の発現調節と発生 【知識及び技能】 基本的概念を理解し、実験・観察を通して必要な技能を体験する 【思考力、判断力、表現力等】 演習や実験等を通して、学んだ知識を適用する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 学んだ知識を応用してその原因や過程について考察する。	・DNAの複製 ・遺伝子の発現 ・遺伝子の発現調節 ・発生と遺伝子の発現 ・遺伝子を扱う技術 ・遺伝子を扱う技術の応用 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 定期考査、問題演習、提出物、質疑 等 【思考・判断・表現】 定期考査、発言・発表、質疑 等 【主体的に学習に取り組む態度】 主体性、提出状況、授業観察 等	○	○	○	20
	定期考査			○	○		2

2 学 期	E 動物の反応と行動 ・刺激の受容と反応 ・動物の行動 【知識及び技能】 基本的概念を理解し、実験・観察を通して必要な技能を体験する 【思考力、判断力、表現力等】 演習や実験等を通して、学んだ知識を適用する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 学んだ知識を応用してその原因や過程について考察する。	・刺激の受容 ・神経系とニューロン ・受容器 ・効果器 ・動物の行動 ・生得的行動 ・習得的行動 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 定期考査、問題演習、提出物、質疑 等 【思考・判断・表現】 定期考査、発言・発表、質疑 等 【主体的に学習に取り組む態度】 主体性、提出状況、授業観察 等	○	○	○	22
	F 植物の成長と環境応答 ・植物と環境 ・植物の一生と植物ホルモン 【知識及び技能】 基本的概念を理解し、実験・観察を通して必要な技能を体験する 【思考力、判断力、表現力等】 演習や実験等を通して、学んだ知識を適用する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 学んだ知識を応用してその原因や過程について考察する。	・植物と環境 ・被子植物の受精と胚発生 ・種子の発芽と光環境 ・植物の環境応答と成長 ・花芽形成と花の形成 ・果実の成長と成熟、落葉・落果 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 定期考査、問題演習、提出物、質疑 等 【思考・判断・表現】 定期考査、発言・発表、質疑 等 【主体的に学習に取り組む態度】 主体性、提出状況、授業観察 等	○	○	○	22
	定期考査			○	○		2
	F 生態と環境 ・個体群と生物群集 ・生態系の物質生産と消費 【知識及び技能】 基本的概念を理解し、実験・観察を通して必要な技能を体験する 【思考力、判断力、表現力等】 演習や実験等を通して、学んだ知識を適用する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 学んだ知識を応用してその原因や過程について考察する。	・個体群とその特徴 ・個体群の変動と維持 ・個体群内外の相互作用 ・物質生産 ・物質とエネルギーの移動 ・生態系と生物多様性 ・生物多様性の保全とその意義 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 定期考査、問題演習、提出物、質疑 等 【思考・判断・表現】 定期考査、発言・発表、質疑 等 【主体的に学習に取り組む態度】 主体性、提出状況、授業観察 等	○	○	○	21
	問題演習Ⅰ 【知識及び技能】学習事項を確認し、それらの知識を利用して基本的な問題に正しく解答する。 【思考力、判断力、表現力等】入試レベルの標準的な問題に、各単元ごとに取り組みながら、思考力・判断力をはたらかせる。 【学びに向かう力、人間性等】少し難易度の高い問題に主体的に取り組みながら、周囲と相談し、共働して解答にたどり着く過程を体験する。	・各単元・分野別の基本問題演習 ・入試レベルの単元別・分野別問題演習 ・入試基本問題（総合問題）演習	【知識・技能】 定期考査、問題演習、提出物、質疑 等 【思考・判断・表現】 定期考査、発言・発表、質疑 等 【主体的に学習に取り組む態度】 主体性、提出状況、授業観察 等	○	○	○	35
	定期考査			○	○		2
3 学 期	問題演習Ⅱ 共通テスト問題演習 総合問題演習 【知識及び技能】入試問題を利用して、原理・法則の理解を確認する。 【思考力、判断力、表現力等】総合的な入試問題に取り組み、これまで学習した知識を活用して、思考力、判断力、表現力を伸長させる。 【学びに向かう力、人間性等】各自の目標とする大学の入試過去問題に主体的に取り組む。	・共通テスト対策問題演習 ・入試問題（総合問題）演習 ・難易度の高い入試問題演習 ・各大学ごとの過去問題演習	【知識及び技能】 問題演習、提出物、質疑 等 【思考力、判断力、表現力等】 発言・発表、提出物 等 【学びに向かう力、人間性等】 主体性、提出状況、授業観察 等	○	○	○	30

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科		理科	科目	理系化学
教科：	理科	科目：	理系化学	単位数： 4 単位
対象学年組：	第 2 学年 1 組～ 8 組			
教科担当者：	（ 1, 6, 7, 8 組：黒澤・郡司 ）			
使用教科書：	（ 化学academia 実教出版 ）			
教科	理科	の目標：		
【知識及び技能】		自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、現象などに関する基本的な技能を身に付けようとする。		
【思考力、判断力、表現力等】		観察・実験などを行い、科学的に探究し、それを表現する力を養う。		
【学びに向かう力、人間性等】		自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。		
科目	理系化学	の目標：		
【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】	
化学的な事物・現象についての観察、実験などを行うことを通して、化学の基本的な概念や原理・法則の理解を図るとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。		化学的な事物・現象を対象に、探究の過程を通して、情報の収集、仮設の設定、実験の計画、実験による検証、実験データの分析・解釈などの探究の方法を習得している。また、報告書を作成したり発表したりして、科学的に探究する力を身に付ける。	化学的な事物・現象に対して主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など、科学的に探究しようとする態度を身に付ける。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	(1)無機物質 【知識及び技能】 ・無機物質の性質や反応について、観察実験の基本操作や記録の仕方を習得するとともに、実験器具の選定や扱い方を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日常生活と関わりの深い無機物質について、観察実験を通して、規則性を見出し、さまざまな事象が生じる要因やしくみを科学的に考察して報告書にまとめることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・無機物質に関する性質や反応に関する事物・現象に関心をもち、それらに関する基本的な概念や法則を意欲的に探究させる。 (2)有機化合物 【知識及び技能】 ・脂肪族化合物の性質や反応について、観察、実験の基本操作や記録の仕方を習得するとともに、実験器具の選定や扱い方を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・構造式によって、その化合物の性質や反応性について推論することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・脂肪族化合物について観察、実験を行うとともに、それらを日常生活と関連させて探究させる。	(1)無機物質 ・元素と周期表 ・非金属元素 (2)有機化合物 ・有機化合物とその構造 ・脂肪族炭化水素	【知識・技能】 ・非金属元素や金属元素の単体・化合物の性質や反応について、周期表と関連づけながら理解し、知識を身につけている。 ・炭化水素の分類とその反応性の関係や構造異性体の関係を理解している。 【思考・判断・表現】 ・無機物質の性質や反応などについて、周期表と関連づけて考察することができる。 ・炭化水素、官能基をもつ有機化合物の性質や反応性が構造に特徴づけられることを見出し、構造異性体、鏡像異性体などを論理的に考察し、説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・無機物質に関する性質や反応に関する事物・現象に関心をもち、それらに関する基本的な概念や法則を意欲的に探究しようとする。また、観察・実験を行い探究しようとする。 ・有機化合物に関する性質や反応に関する事物・現象に関心をもち、その構造と性質や反応性の関係について意欲的に探究しようとする。	○	○	○	28
	定期考査			○	○		1
	(1)無機物質 【知識及び技能】 ・観察、実験過程や結果から生じる問題や発見事項について、自ら考えを導き出して、新しい課題を設定させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・無機物質と化学工業との関係をさまざまな観点で捉え、科学的に考察、判断させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・無機物質について観察、実験を行うとともに、それらを日常生活と関連させたり、化学工業と関連づけて意欲的に探究させる。 (2)有機化合物 【知識及び技能】 ・芳香族化合物の性質が置換基により特徴づけられることを具体的な物質で理解し、さらに芳香族化合物相互の関連性について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ベンゼン、置換基をもつ芳香族化合物の性質や反応性が構造に特徴づけられることを見出し、異性体、配向性などを論理的に考察し、説明させる。	(1)無機物質 ・典型金属元素 (2)有機化合物 ・酸素を含む脂肪族化合物 ・芳香族化合物	【知識・技能】 ・典型元素と遷移元素の特徴を正確に把握できている。 ・芳香族化合物の性質が置換基により特徴づけられることを具体的な物質で理解し、さらに芳香族化合物相互の関連性について理解している。 【思考・判断・表現】 ・日常生活と関わりの深い無機物質について、観察実験を通して、規則性を見出し、さまざまな事象が生じる要因やしくみを科学的に考察して報告書にまとめることができる。 ・ベンゼン、置換基をもつ芳香族化合物の性質や反応性が構造に特徴づけられることを見出し、異性体、配向性などを論理的に考察し、説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・無機物質について観察、実験を行うとともに、それらを日常生活と関連させたり、化学工業と関連づけて意欲的に探究したりしようとする。 ・有機化合物について観察、実験を行うとともに、それらを日常生活と関連させて探究しようとする。	○	○	○	28

	【学びに向かう力、人間性等】 ・芳香族化合物に関する性質や反応に関する事象・現象に関心を持ち、その構造と性質や反応性の関係について意欲的に探究させる。							
	定期考査			○	○	1		
2 学 期	(1)無機物質 【知識及び技能】 ・無機物質が実験を通してどのように人間生活に利用されているかを知る。 【思考力、判断力、表現力等】 ・無機物質と化学工業との関係をさまざまな観点で捉え、科学的に考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・無機物質について観察、実験を行うとともに、それらを日常生活と関連させたり、化学工業と関連づけて意欲的に探究させる。 (2)有機化合物 【知識及び技能】 ・合成高分子化合物の性質や反応について、観察、実験の基本操作や記録の仕方を習得するとともに、実験器具の選定や扱い方を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・合成高分子化合物の性質や反応性が、その構造および結合の状態に特徴づけられる面があることを見出し、いくつかの合成高分子化合物について具体的に考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・合成高分子化合物に関する性質や反応に関する事象・現象に関心を持ち、その構造と性質や反応性の関係について意欲的に探究しようとする。また、観察・実験を行い探究させる。	(1)無機物質 ・遷移元素 (2)有機化合物 ・高分子化合物 ・天然高分子化合物 ・合成高分子化合物	【知識・技能】 ・無機物質が実験を通してどのように人間生活に利用されているかを知っている。 ・天然高分子化合物、合成高分子化合物の構造や性質について理解し、知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・無機物質と化学工業との関係をさまざまな観点で捉え、科学的に考察、判断できる。 ・合成高分子化合物の性質や反応について、観察、実験の基本操作や記録の仕方を習得するとともに、実験器具の選定や扱い方が身についている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・無機物質について観察、実験を行うとともに、それらを日常生活と関連させたり、化学工業と関連づけて意欲的に探究したりしようとする。 ・天然高分子化合物、合成高分子化合物に関する性質や反応に関する事象・現象に関心を持ち、その構造と性質や反応性の関係について意欲的に探究しようとする。また、観察・実験を行い探究しようとする。	○	○	○	28	
	定期考査			○	○	1		
		(1)無機物質 【知識及び技能】 ・無機物質について観察、実験を行うとともに、それらを日常生活と関連させたり、化学工業と関連づけて意欲的に探究させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・無機物質と化学工業との関係をさまざまな観点で捉え、科学的に考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・無機物質について観察、実験を行うとともに、それらを日常生活と関連させたり、化学工業と関連づけて意欲的に探究させる。 (2)有機化合物 【知識及び技能】 ・天然高分子化合物、合成高分子化合物の構造や性質について理解し、知識を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・構造式によって、その化合物の性質や反応性について推論させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・天然高分子化合物に関する性質や反応に関する事象・現象に関心を持ち、その構造と性質や反応性の関係について意欲的に探究しようとする。また、観察・実験を行い探究させる。	(1)無機物質 ・無機化学分野・理論化学分野の大学入試問題演習 (2)有機化合物 ・有機化学分野・高分子化学分野の大学入試問題演習	【知識・技能】 ・無機物質が実験を通してどのように人間生活に利用されているかを知る。 ・天然高分子化合物、合成高分子化合物の構造や性質について理解し、知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・無機物質と化学工業との関係をさまざまな観点で捉え、科学的に考察、判断できる。 ・構造式によって、その化合物の性質や反応性について推論することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・無機物質に関する性質や反応に関する事象・現象に関心を持ち、それらに関する基本的な概念や法則を意欲的に探究しようとする。また、観察・実験を行い探究しようとする。 ・天然高分子化合物に関する性質や反応に関する事象・現象に関心を持ち、その構造と性質や反応性の関係について意欲的に探究しようとする。また、観察・実験を行い探究しようとする。	○	○	○	28
		定期考査			○	○	1	

3 学 期	(1)無機物質 【知識及び技能】 ・無機物質について観察，実験を行うとともに，それらを日常生活と関連させたり，化学工業と関連づけて意欲的に探究させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・無機物質と化学工業との関係をさまざまな観点で捉え，科学的に考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・無機物質について観察，実験を行うとともに，それらを日常生活と関連させたり，化学工業と関連づけて意欲的に探究させる。 (2)有機化合物 【知識及び技能】 ・天然高分子化合物，合成高分子化合物の構造や性質について理解し，知識を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・構造式によって，その化合物の性質や反応性について推論させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・天然高分子化合物に関する性質や反応に関する事物・現象に関心をもち，その構造と性質や反応性の関係について意欲的に探究しようとする。また，観察・実験を行い探究させる。	(1)無機物質 ・無機化学分野・理論化学分野の大学入試問題演習 (2)有機化合物 ・有機化学分野・高分子化学分野の大学入試問題演習	【知識・技能】 ・無機物質が実験を通してどのように人間生活に利用されているかを知る。 ・天然高分子化合物，合成高分子化合物の構造や性質について理解し，知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・無機物質と化学工業との関係をさまざまな観点で捉え，科学的に考察，判断できる。 ・構造式によって，その化合物の性質や反応性について推論することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・無機物質に関する性質や反応に関する事物・現象に関心をもち，それらに関する基本的な概念や法則を意欲的に探究しようとする。また，観察・実験を行い探究しようとする。 ・天然高分子化合物に関する性質や反応に関する事物・現象に関心をもち，その構造と性質や反応性の関係について意欲的に探究しようとする。また，観察・実験を行い探究しようとする。	○	○	○	24
定期考査				○	○		

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 理科 科目 物理化学基礎演習

教科： 理科 科目： 物理化学基礎演習 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 必修選択

教科担当者：（物理：津田 化学：藤田）

使用教科書：（化学基礎 academia 実教出版 副教材：ピーライン化学基礎 第一学習社 ）

教科 理科 の目標：

- 【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、現象などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 観察・実験などを行い、科学的に探究し、それを表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 物理化学基礎演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	問題演習を通して、科学的に思考する力と表現する力を養う。	自然とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	【化学基礎分野】 【知識及び技能】 物質の構成に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 原子と原どうしの結合について、電子の状態が物質の性質に大きく寄与していることを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 物質に関心をもち、物質が原子・分子・イオンなどの構成粒子からなっていることを探求しようとする。 ＜物理基礎分野＞ 【知識及び技能】 基本的概念や原理・法則を理解し、実験・観察等で探究に必要な技能を体験する。 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習や思考実験等を通して、学んだ知識を適用する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 身の回りの現象について、学んだ知識を応用してその原因や過程について考察する。 定期考査	【化学基礎分野】 ・原子の構造と周期表 ・化学結合 ＜物理基礎分野＞ ・電流と磁場 ・交流と電磁波	【化学基礎分野】 【知識・技能】 ・原子とその結合のしくみについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・原子の電子配置とイオンの生成する仕組みを表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業、演習問題、課題等に意欲的に取り組む姿勢がみられる。 ＜物理基礎分野＞ 【知識及び技能】 定期考査、問題演習、提出物、質疑 等 【思考力、判断力、表現力等】 定期考査、発言・発表、提出物 等 【学びに向かう力、人間性等】 主体性、提出状況、授業観察 等	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	【化学基礎分野】 【知識及び技能】 物質量の知識を身に付ける。化学変化の量的関係を理解し、知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 物質量を用いた基本的な計算をし、量的な関係を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 化学変化の量的な関係を物質量と関連付けて意欲的に探究しようとする。 ＜物理基礎分野＞ 【知識及び技能】 基本的概念や原理・法則を理解し、実験・観察等で探究に必要な技能を体験する。 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習や思考実験等を通して、学んだ知識を適用する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 身の回りの現象について、学んだ知識を応用してその原因や過程について考察する。 定期考査	【化学基礎分野】 ・物質量と濃度 ・化学反応式 ＜物理基礎分野＞ ・運動の法則 ・仕事とエネルギー	【化学基礎分野】 【知識・技能】 ・化学反応式の係数について正確に当てはめることができる。 【思考・判断・表現】 ・物質量について理解し、質量や体積と間の換算ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業、演習問題、課題等に意欲的に取り組む姿勢がみられる。 ＜物理基礎分野＞ 【知識及び技能】 定期考査、問題演習、提出物、質疑 等 【思考力、判断力、表現力等】 定期考査、発言・発表、提出物 等 【学びに向かう力、人間性等】 主体性、提出状況、授業観察 等	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
	【化学基礎分野】 【知識及び技能】 酸と塩基の定義を理解し、中和滴定の量的関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 酸と塩基の反応を日常生活と関連付けて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 酸・塩基や中和反応に関心をもち、日常生活に関連付けて意欲的に探究しようとする。 ＜物理基礎分野＞ 【知識及び技能】 基本的概念や原理・法則を理解し、実験・観察等で探究に必要な技能を体験する。 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習や思考実験等を通して、学んだ知識を適用する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 身の回りの現象について、学んだ知識を応用してその原因や過程について考	【化学基礎分野】 ・酸と塩基 ・中和反応と塩 ＜物理基礎分野＞ ・総合演習	【化学基礎分野】 【知識・技能】 ・酸と塩基のモル濃度をpHで表すことができる。 【思考・判断・表現】 ・中和反応を理解し、それを化学反応式で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業、演習問題、課題等に意欲的に取り組む姿勢がみられる。 ＜物理基礎分野＞ 【知識及び技能】 定期考査、問題演習、提出物、質疑 等 【思考力、判断力、表現力等】 定期考査、発言・発表、提出物 等 【学びに向かう力、人間性等】 主体性、提出状況、授業観察 等	○	○	○	14

2 学 期	定期考査			○	○		1
	【化学基礎分野】 【知識及び技能】電子の授受や酸化数から酸化還元を説明できる。 【思考力、判断力、表現力等】酸化還元反応を論理的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】燃焼、金属の酸化、電池などに興味をもち、意欲的に探究する。 <物理基礎分野> 【知識及び技能】基本的概念や原理・法則を理解し、実験・観察等で探究に必要な技能を体験する。 【思考力、判断力、表現力等】問題演習や思考実験等を通して、学んだ知識を適用する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】身の回りの現象について、学んだ知識を応用してその原因や過程について考察する。	【化学基礎分野】 ・酸化と還元 ・酸化剤と還元剤 <物理基礎分野> ・実践演習	【化学基礎分野】 【知識・技能】 ・代表的な酸化剤と還元剤の反応を理解し、電子の授受で説明できる。 【思考・判断・表現】 ・金属の製錬と酸化還元反応を関連づけてそれらを表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業、演習問題、課題等に意欲的に取り組む姿勢がみられる。 <物理基礎分野> 【知識及び技能】 定期考査、問題演習、提出物、質疑 等 【思考力、判断力、表現力等】 定期考査、発言・発表、提出物 等 【学びに向かう力、人間性等】 主体性、提出状況、授業観察 等	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
3 学 期	【化学基礎分野】 【知識及び技能】身のまわりの現象を化学で説明する。 【思考力、判断力、表現力等】身のまわりの現象を化学的に思考できる。 【学びに向かう力、人間性等】身のまわりの現象について関心をもち、演習問題に積極的に取り組む。 <物理基礎分野> 【知識及び技能】基本的概念や原理・法則を理解し、実験・観察等で探究に必要な技能を体験する。 【思考力、判断力、表現力等】問題演習や思考実験等を通して、学んだ知識を適用する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】身の回りの現象について、学んだ知識を応用してその原因や過程について考察する。	【化学基礎分野】 ・身のまわりの化学 ・実験操作 <物理基礎分野> ・実践演習	【化学基礎分野】 【知識・技能】 ・身のまわりの現象を化学の知識で説明できる。 【思考・判断・表現】 ・身のまわりの現象について表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業、演習問題、課題等に意欲的に取り組む姿勢がみられる。 <物理基礎分野> 【知識及び技能】 定期考査、問題演習、提出物、質疑 等 【思考力、判断力、表現力等】 定期考査、発言・発表、提出物 等 【学びに向かう力、人間性等】 主体性、提出状況、授業観察 等	○	○	○	10

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 理科 科目 生物化学基礎演習

教科： 理科 科目： 生物化学基礎演習 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 必修選択

教科担当者：（生物：冬木 化学：郡司）

使用教科書：（化学基礎 academia 実教出版 副教材：ピーライン化学基礎 第一学習社）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、現象などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】観察・実験などを行い、科学的に探究し、それを表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物化学基礎演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	問題演習を通して、科学的に思考する力と表現する力を養う。	自然とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	【化学基礎分野】 【知識及び技能】物質の構成に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】原子と原どうしの結合について、電子の状態が物質の性質に大きく寄与していることを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】物質に関心をもち、物質が原子・分子・イオンなどの構成粒子からなっていることを探求しようとする。 【生物基礎分野】 【知識及び技能】生物の特徴や遺伝子のはたらきを理解し、知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】遺伝子のはたらきを説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】遺伝子のはたらきに関心をもつことができる。	【化学基礎分野】 ・原子の構造と周期表 ・化学結合 【生物基礎分野】 ・生物の特徴 ・遺伝子とそれはたらき	【化学基礎分野】 【知識・技能】 ・原子とその結合のしくみについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・原子の電子配置とイオンの生成する仕組みを表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業、演習問題、課題等に意欲的に取り組む姿勢がみられる。 【生物基礎分野】 【知識・技能】 ・生物の特徴と遺伝子について理解している。 【思考・判断・表現】 ・遺伝子のしくみを表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業、演習問題、課題等に意欲的に取り組む姿勢がみられる。	○	○	○	11
				○	○		1
	【化学基礎分野】 【知識及び技能】物質量の知識を身に付ける。化学変化の量的関係を理解し、知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】物質量を用いた基本的な計算をし、量的な関係を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】化学変化の量的な関係を物質量と関連付けて意欲的に探究しようとする。 【生物基礎分野】 【知識及び技能】恒常性について理解し、知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】恒常性のはたらきを説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】恒常性に関心をもつことができる。	【化学基礎分野】 ・物質量と濃度 ・化学反応式 【生物基礎分野】 ・神経系と内分泌系による調節 ・免疫	【化学基礎分野】 【知識・技能】 ・化学反応式の係数について正確に当てはめることができる。 【思考・判断・表現】 ・物質量について理解し、質量や体積との間の換算ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業、演習問題、課題等に意欲的に取り組む姿勢がみられる。 【生物基礎分野】 【知識・技能】 ・恒常性について理解している。 【思考・判断・表現】 ・恒常性のしくみを表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業、演習問題、課題等に意欲的に取り組む姿勢がみられる。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
	【化学基礎分野】 【知識及び技能】酸と塩基の定義を理解し、中和滴定の量的関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】酸と塩基の反応を日常生活と関連付けて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】酸・塩基や中和反応に関心をもち、日常生活に関連付けて意欲的に探究しようとする。 【生物基礎分野】 【知識及び技能】バイオームの特を理解し、知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】生態系について説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】生態系に関心をもつことができる。	【化学基礎分野】 ・酸と塩基 ・中和反応と塩 【生物基礎分野】 ・植生と遷移 ・生態系とその保全	【化学基礎分野】 【知識・技能】 ・酸と塩基のモル濃度をpHで表すことができる。 【思考・判断・表現】 ・中和反応を理解し、それを化学反応式で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業、演習問題、課題等に意欲的に取り組む姿勢がみられる。 【生物基礎分野】 【知識・技能】 ・バイオームの特徴について理解している。 【思考・判断・表現】 ・生態系のしくみを表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業、演習問題、課題等に意欲的に取り組む姿勢がみられる。	○	○	○	14

2 学 期	定期考査			○	○		1
	【化学基礎分野】 【知識及び技能】電子の授受や酸化数から酸化還元を説明できる。 【思考力、判断力、表現力等】酸化還元反応を論理的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】燃焼、金属の酸化、電池などに興味をもち、意欲的に探究する。 【生物基礎分野】 【知識及び技能】共通テストの知識問題に対応することができる。 【思考力、判断力、表現力等】共通テストの思考問題に対応することができる。 【学びに向かう力、人間性等】共通テストの問題演習に意欲的に取り組むことができる。	【化学基礎分野】 ・酸化と還元 ・酸化剤と還元剤 【生物基礎分野】 ・共通テスト対策問題演習	【化学基礎分野】 【知識・技能】 ・代表的な酸化剤と還元剤の反応を理解し、電子の授受で説明できる。 【思考・判断・表現】 ・金属の製錬と酸化還元反応を関連づけてそれらを表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業、演習問題、課題等に意欲的に取り組む姿勢がみられる。 【生物基礎分野】 【知識・技能】 ・共通テストの問題についての知識・技能が定着している。 【思考・判断・表現】 ・共通テストの思考問題に対応できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・共通テストの問題演習に意欲的に取り組む姿勢がみられる。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
3 学 期	【化学基礎分野】 【知識及び技能】身のまわりの現象を化学で説明する。 【思考力、判断力、表現力等】身のまわりの現象を化学的に思考できる。 【学びに向かう力、人間性等】身のまわりの現象について関心をもち、演習問題に積極的に取り組む。 【生物基礎分野】 【知識及び技能】共通テストの知識問題に対応することができる。 【思考力、判断力、表現力等】共通テストの思考問題に対応することができる。 【学びに向かう力、人間性等】共通テストの問題演習に意欲的に取り組むことができる。	【化学基礎分野】 ・身のまわりの化学 ・実験操作 【生物基礎分野】 ・共通テスト対策問題演習	【化学基礎分野】 【知識・技能】 ・身のまわりの現象を化学の知識で説明できる。 【思考・判断・表現】 ・身のまわりの現象について表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業、演習問題、課題等に意欲的に取り組む姿勢がみられる。 【生物基礎分野】 【知識・技能】 ・共通テストの問題についての知識・技能が定着している。 【思考・判断・表現】 ・共通テストの思考問題に対応できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・共通テストの問題演習に意欲的に取り組む姿勢がみられる。	○	○	○	10

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科

保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：3 単位
対象学年組：第3学年 1組～8組
教科担当者：三井・宮原・牛窪・柿崎・土屋・中川・佐藤・宗村
使用教科書：（現代 高等 保健体育（大修館書店））

- 教科 保健体育 の目標：
- 【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
 - 【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
 - 【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	〔球技〕 ネット型：バドミントン テニス バレーボール 卓球 ゴール型：バスケットボール サッカー ベースボール型：ソフトボール 多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方などを理解するとともに、仲間と連携しゲームを展開すること、生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題に取り組み、考えたことを他者に伝えること及び球技に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などの意欲を育み、健康・安全を確保することができるようにする。	① 男女選択制： バドミントン テニス ソフトボール バスケットボール バレーボール 卓球 サッカー	【知識・技能】 質疑 技能テスト 提出物 等 【思考・判断・表現】 発見 発言 提出物 等 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性 提出状況 授業観察 等	○	○	○	15
	〔体育理論〕 生涯にわたる豊かなスポーツライフを継続する資質・能力の育成に向け、知識と技能をより一層関連させ、主体的に取り組むことができるようにする。	・生涯スポーツの見方・考え方 ・ライフスタイルに応じたスポーツ	【知識・技能】 質疑 発表 提出物 等 【思考・判断・表現】 発見 発言 提出物 等 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性 提出状況 授業観察 等	○	○	○	3
	〔水泳〕 多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方などを理解するとともに、自己に適した泳法の効率を高めて泳ぐこと、生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題に取り組み、考えたことを他者に伝えること及び水泳に主体的に取り組むとともに、公正、協力、共生などの意欲を育み、健康・安全を確保することができるようにする。	・個人メドレー (背泳、バタフライ、平泳ぎ、クロール)	【知識・技能】 質疑 技能テスト 提出物 等 【思考・判断・表現】 発見 発言 提出物 等 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性 提出状況 授業観察 等	○	○	○	12
	〔体づくり運動〕 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の行い方などを理解するとともに、実生活に役立てること、生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題に取り組み、考えたことを他者に伝えること及び体づくり運動に主体的に取り組むとともに、協力、参画、共生などの意欲を育み、健康・安全を確保することができるようにする。	・スポーツテスト ・各種目における授業時間内での補強運動等	【知識・技能】 質疑 技能テスト 提出物 等 【思考・判断・表現】 発見 発言 提出物 等 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性 提出状況 授業観察 等				19
	定期考査			○	○	○	
	〔球技〕 ネット型：バドミントン テニス バレーボール 卓球 ゴール型：バスケットボール サッカー ベースボール型：ソフトボール 多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方などを理解するとともに、仲間と連携しゲームを展開すること、生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題に取り組み、考えたことを他者に伝えること及び球技に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などの意欲を育み、健康・安全を確保することができるようにする。	① 男女選択制： バドミントン テニス ソフトボール バスケットボール バレーボール 卓球 サッカー	【知識・技能】 質疑 技能テスト 提出物 等 【思考・判断・表現】 発見 発言 提出物 等 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性 提出状況 授業観察 等	○	○	○	18

2 学 期	【体育理論】 生涯にわたる豊かなスポーツライフを継続する資質・能力の育成に向け、知識と技能をより一層関連させ、主体的に取り組むことができるようにする。	・スポーツを推進する取り組み ・豊かなスポーツライフの創造	【知識・技能】 質疑 技能テスト 提出物 等 【思考・判断・表現】 発見 発言 提出物 等 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性 提出状況 授業観察 等	○	○	○	3
	【水泳】 多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方などを理解するとともに、自己に適した泳法の効率を高めて泳ぐこと、生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題に取り組む、考えたことを他者に伝えること及び水泳に主体的に取り組むとともに、公正、協力、共生などの意欲を育み、健康・安全を確保することができるようにする。	・個人メドレー (背泳、バタフライ、平泳ぎ、クロール)	【知識・技能】 質疑 技能テスト 提出物 等 【思考・判断・表現】 発見 発言 提出物 等 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性 提出状況 授業観察 等	○	○	○	9
	【体づくり運動】 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の行い方などを理解するとともに、実生活に役立てること、生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題に取り組む、考えたことを他者に伝えること及び体づくり運動に主体的に取り組むとともに、協力、参画、共生などの意欲を育み、健康・安全を確保することができるようにする。	・各種目における授業時間内での補強運動等	【知識・技能】 質疑 技能テスト 提出物 等 【思考・判断・表現】 発見 発言 提出物 等 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性 提出状況 授業観察 等	○	○	○	24
	定期考査						
3 学 期	【体づくり運動】 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の行い方などを理解するとともに、実生活に役立てること、生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題に取り組む、考えたことを他者に伝えること及び体づくり運動に主体的に取り組むとともに、協力、参画、共生などの意欲を育み、健康・安全を確保することができるようにする。	・各種目における授業時間内での補強運動等	【知識・技能】 質疑 技能テスト 提出物 等 【思考・判断・表現】 発見 発言 提出物 等 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性 提出状況 授業観察 等	○	○	○	2

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科
保健体育 科目 総合体育

教科：保健体育 科目：総合体育
単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 1組～ 8組

教科担当者：宮原

使用教科書：（現代 高等 保健体育（大修館書店））

- 教科 保健体育 の目標：
- 【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 総合体育 の目標：	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	各種の運動の特性に応じた技能を高めたり、身に付けたりする。	自他の運動の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	生涯にわたって継続して運動能力の向上を目指す。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	【スポーツⅥ】 ・体づくり運動への多様なかわり方 体力トレーニング（筋力・持久力等） 体づくり運動への多様な関わり方を理解し、目的に応じた心身の気付き、ライフスタイルに応じた運動の計画について理解すること。	男女共修： 有酸素運動 ・エルゴメーター ・時間走 ・インターバル ・サーキット 無酸素運動 ・ウエイトトレーニング (ウエイト＋自重) 体の使い方、動かし方 ・縄跳び ・マット運動 ・跳び箱 等の複合トレーニング 等から集団に適した題材を教員が選択して指導する。	【知識・技能】 質疑 技能テスト 授業観察 等 【思考・判断・表現】 発見 発言 授業観察 等 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性 授業観察 等				10
	【スポーツⅡ・スポーツⅤ】 競技を通じて多様な体の動かし方やトレーニングの内容、心身の気付き、ライフスタイルに応じた運動の計画について理解すること。	男女共修 ネット型：バドミントン テニス ソフトバレーボール (インディアカ) ゴール型：バスケットボール ベースボール型：ソフトボール 水辺活動：ボート 等から集団に適した題材を教員が選択して指導する。	【知識・技能】 質疑 技能テスト 授業観察 等 【思考・判断・表現】 発見 発言 授業観察 等 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性 授業観察 等	○	○	○	12
	【スポーツⅠ】 自己に適した泳法と効率を高めて泳ぐことを目指し、生涯にわたって運動を豊かに継続するためのスポーツの一つとして取り組む。	男女共修 ・四種泳法 (バタ・バック・ブレスト・フリー) ・100M個人メドレー ・着衣泳 等から集団に適した題材を教員が選択して指導する。	【知識・技能】 質疑 技能テスト 授業観察 等 【思考・判断・表現】 発見 発言 授業観察 等 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性 授業観察 等	○	○	○	10
	定期考査						
2 学 期	【スポーツⅠ】 自己に適した泳法と効率を高めて泳ぐことを目指し、生涯にわたって運動を豊かに継続するためのスポーツの一つとして取り組む。	男女共修 ・四種泳法 (バタ・バック・ブレスト・フリー) ・100M個人メドレー ・着衣泳 等から集団に適した題材を教員が選択して指導する。	【知識・技能】 質疑 技能テスト 授業観察 等 【思考・判断・表現】 発見 発言 授業観察 等 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性 授業観察 等	○	○	○	10
	【スポーツⅥ】 ・体づくり運動への多様なかわり方 体力トレーニング（筋力・持久力等） 体づくり運動への多様な関わり方を理解し、目的に応じた心身の気付き、ライフスタイルに応じた運動の計画について理解すること。	男女共修： 有酸素運動 ・エルゴメーター ・時間走 ・インターバル ・サーキット 無酸素運動 ・ウエイトトレーニング (ウエイト＋自重) 体の使い方、動かし方 ・縄跳び ・マット運動 ・跳び箱 等の複合トレーニング 等から集団に適した題材を教員が選択して指導する。	【知識・技能】 質疑 技能テスト 授業観察 等 【思考・判断・表現】 発見 発言 授業観察 等 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性 授業観察 等	○	○	○	10

3 学 期	【スポーツⅡ・スポーツⅤ】 球技を通じて多様な体の動かし方やトレーニングの内容、心身の気付き、ライフスタイルに応じた運動の計画について理解すること。	男女共修 ネット型：バドミントン テニス ソフトバレーボール (インディアカ) ゴール型：バスケットボール ベースボール型：ソフトボール 水辺活動：ボート 等から集団に適した題材を教員が選択して指導する。	【知識・技能】 質疑 技能テスト 授業観察 等 【思考・判断・表現】 発見 発言 授業観察 等 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性 授業観察 等	○	○	○	14
	定期考査						
	【スポーツⅥ】 ・体づくり運動への多様なかわり方 体力トレーニング（筋力・持久力等） 体づくり運動への多様な関わり方を理解し、目的に応じた心身の気付き、ライフスタイルに応じた運動の計画について理解すること。	男女共修： 有酸素運動 ・エルゴメーター ・時間走 ・インターバル ・サーキット 無酸素運動 ・ウエイトトレーニング (ウエイト＋自重) 体の使い方、動かし方 ・縄跳び ・マット運動 ・跳び箱 等の複合トレーニング 等から集団に適した題材を教員が選択して指導する。	【知識・技能】 質疑 技能テスト 授業観察 等 【思考・判断・表現】 発見 発言 授業観察 等 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性 授業観察 等				4

高等学校 令和6年度（3学年用）教科 外国語 科目 英語コミュニケーション

教科： 外国語 科目： 英語コミュニケーション 単位数： 4 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 8 組

教科担当者： （1組：小幡） （2組：川田） （3組：小幡） （4組：島崎） （5組：川上） （6組：島崎） （7組：川田） （8組：川

使用教科書：（Heartening English Communication III）

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】外国語の音声や語彙、表現、文法、語法などの理解を深めると共に、これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに

【思考力、判断力、表現力等】コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話

【学びに向かう力、人間性等】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、積極的に外国語を用いてコミュニケー

科目 英語コミュニケーション の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の音声や語彙、表現、文法、語法などの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことを含む実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、積極的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数		
			聞	読	話 〔や〕	話 〔発〕	書							
	Lesson 1: What Makes Up Your Identity? 【知識及び技能】コミュニケーション活動に必要な語彙や文法・語法をしっかりと身につける。 【思考力、判断力、表現力等】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報を聞き取ったり、読み取ったりし、話し手の意図や概要、要点を捉える。 【学びに向かう力、人間性等】トピックの背景にある状況や文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的、積極的にコミュニケーション活動に臨む。	<生き方・人生> アイデンティティとは何か （聞くこと） ・異なる文化を持つ人同士の会話を聞いて、概要や詳細を聞き取る。 （読むこと） ・The Culture Mapを読んで概要や詳細を理解し、情報を事実と意見に整理する。 ・形式目的語のit、対応する能動態を持たない受動態を用いた文の構造を理解する。 （話すこと【発表】） ・将来の職につながる自らのアイデンティティについて、詳しく話して伝える。 （話すこと【やり取り】） ・日本の習慣について質問したり、答えたりする。 （書くこと） ・自らのアイデンティティについての考え・気持ちなどを論理的に詳しく書いて伝える。		○	◎	○	○	○		○	○	○	11	
	Lesson2: Predicting Future Technology 【知識及び技能】コミュニケーション活動に必要な語彙や文法・語法をしっかりと身につける。 【思考力、判断力、表現力等】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報を聞き取ったり、読み取ったりし、話し手の意図や概要、要点を捉える。 【学びに向かう力、人間性等】トピックの背景にある状況や文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的、積極的にコミュニケーション活動に臨む。	<科学技術の未来・社会> 科学技術と未来 （聞くこと） ・様々な技能を使って、100年後の科学技術について、話の展開に注意しながら聞き取る。 （読むこと） ・語彙・文法の知識を用い、ある発明家が100年前に予測した科学技術について、文章の展開に注意しながら読み取る。 （話すこと【発表】） ・未来の科学技術で最も重要なものについての考えを論理的に発表する。 （話すこと【やり取り】） ・学んだ内容や表現を活用し、未来の科学技術についての考え・気持ちなどを論理的に伝え合う。 （書くこと） ・未来の科学技術で最も重要なものについて、自分の考えを論理的に詳しく書く。			◎	○	○	○	○		○	○	○	11
	Lesson 3: The Science of Sleep 【知識及び技能】コミュニケーション活動に必要な語彙や文法・語法をしっかりと身につける。 【思考力、判断力、表現力等】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報を聞き取ったり、読み取ったりし、話し手の意図や概要、要点を捉える。 【学びに向かう力、人間性等】トピックの背景にある状況や文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的、積極的にコミュニケーション活動に臨む。	<睡眠不足・健康> 睡眠不足とその影響 （聞くこと） ・睡眠と記憶の関係性について、話の展開に注意しながら内容を聞き取る。 （読むこと） ・睡眠と記憶の関係性について、文章の展開に注意しながら読み取る。 ・複合関係代名詞、be動詞+to不定詞を用いた文の構造を理解する。 （話すこと【発表】） ・睡眠不足の解決策についての自分の考えを論理的に伝える。 （話すこと【やり取り】） ・睡眠の重要性についての自分の考えを論理的に詳しく話して伝え合う。 （書くこと） ・睡眠不足によって起きる問題とその解決策について自分の意見を書く。			○	○	○	○	◎		○	○	○	11
1 学期	定期考査										○	○		1
	Lesson 4: Diversity and Inclusion 【知識及び技能】コミュニケーション活動に必要な語彙や文法・語法をしっかりと身につける。 【思考力、判断力、表現力等】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報を聞き取ったり、読み取ったりし、話し手の意図や概要、要点を捉える。 【学びに向かう力、人間性等】トピックの背景にある状況や文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的、積極的にコミュニケーション活動に臨む。	<多様性・包摂性> 多様性と自治体 （聞くこと） ・町や企業で多様性を促進している事例について聞き取る。 （読むこと） ・文化的な多様性を促進するために重要なことについて理解する。 （話すこと【発表】） ・多様性を促進する方法についてリテリングを行う。 （話すこと【やり取り】） ・多様性を促進する方法についての自分の意見を伝え合う。 （書くこと） ・多様性を促進するために最も重要な要素について書く。			○	◎	○	○	○		○	○	○	11

Lesson 5: Protein Crisis 【知識及び技能】コミュニケーション活動に必要な語彙や文法・語法をしっかりと身につける。 【思考力、判断力、表現力等】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報を聞き取ったり、読み取ったりし、話し手の意図や概要、要点を捉える。 【学びに向かう力、人間性等】トピックの背景にある状況や文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的、積極的にコミュニケーション活動に臨む。	＜食糧問題・社会＞ タンパク質を最もよく取る方法とは（聞くこと） ・タンパク源やそれらが将来不足する問題について聞き取る。 （読むこと） ・タンパク質の供給不足の問題と代替タンパク質について理解する。 （話すこと〔発表〕） ・将来のタンパク源として最適なものについて、自分の意見を発表する。 （話すこと〔やり取り〕） ・将来のタンパク源について、話し合う。 （書くこと） ・将来のタンパク源として最適なものについて、自分の考えを書く。	○	○	◎	○	○	【知識・技能】 【知識】 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【技能】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して伝え合う技能を身に付けている。 【思考、判断、表現】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて伝え合おうとしている。	○	○	○	11
Lesson 6: Different Types of Happiness 【知識及び技能】コミュニケーション活動に必要な語彙や文法・語法をしっかりと身につける。 【思考力、判断力、表現力等】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報を聞き取ったり、読み取ったりし、話し手の意図や概要、要点を捉える。 【学びに向かう力、人間性等】トピックの背景にある状況や文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的、積極的にコミュニケーション活動に臨む。	＜人生・幸福＞ 幸せな生き方とは（聞くこと） ・幸福度を測定するために用いられている要素についての話を聞き取る。 （読むこと） ・3カ国におけるそれぞれの人物にとっての幸せについて読み取る。 （話すこと〔発表〕） ・幸せに対する自分の考えについて、発表する。 （話すこと〔やり取り〕） ・自分の幸せにとって何が大切かについて、話し合う。 （書くこと） ・幸せな人生には何が必要かについて自分の考えを書く。	○	○	○	◎	○	【知識・技能】 【知識】 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【技能】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して伝え合う技能を身に付けている。 【思考、判断、表現】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて伝え合おうとしている。	○	○	○	11
定期考査								○	○		1
Lesson 7: Pros and Cons of Utilizing AI 【知識及び技能】コミュニケーション活動に必要な語彙や文法・語法をしっかりと身につける。 【思考力、判断力、表現力等】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報を聞き取ったり、読み取ったりし、話し手の意図や概要、要点を捉える。 【学びに向かう力、人間性等】トピックの背景にある状況や文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的、積極的にコミュニケーション活動に臨む。	＜先端科学・人工知能＞ AI先生は可能か（聞くこと） ・AIロボットが授業をすることへの賛否について聞き取る。 （読むこと） AIロボットが授業をすることへの賛否についての話を理解する。 （話すこと〔発表〕） ・AIの良い点と悪い点についての内容をリテリングする。 （話すこと〔やり取り〕） ・AIの良い点と悪い点についての考えを話し合う。 （書くこと） ・AIが授業をすることに賛成か、反対か自分の意見を書く。	◎	○	○	○	○	【知識・技能】 【知識】 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【技能】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について話された文等を開いて、その内容を捉える技能を身に付けている。 【思考、判断、表現】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報を聞き取り、話し手の意図や概要、要点を捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で話せることを開こうとしている。	○	○	○	11
Lesson 8: Kintsugi: The Art of Embracing the Imperfect 【知識及び技能】コミュニケーション活動に必要な語彙や文法・語法をしっかりと身につける。 【思考力、判断力、表現力等】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報を聞き取ったり、読み取ったりし、話し手の意図や概要、要点を捉える。 【学びに向かう力、人間性等】トピックの背景にある状況や文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的、積極的にコミュニケーション活動に臨む。	＜伝統・文化＞ 金継ぎ（聞くこと） ・和紙の特長やそれを作る職人の夢についての話を聞く。 （読むこと） ・金継ぎの特長やそこから学べる人生の教訓について理解する。 （話すこと〔発表〕） ・（話すこと〔発表〕） ・日本の伝統工芸品について自分の知っていることを話しあう。 （書くこと） ・未来に残したい伝統技能・伝統文化について書く。。	○	◎	○	○	○	【知識・技能】 【知識】 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【技能】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して伝え合う技能を身に付けている。 【思考、判断、表現】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて伝え合おうとしている。	○	○	○	11
Reading & Writing Strategy 【知識及び技能】パラグラフの構成についての知識を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】文章を論理的に読んだり書いたりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】段落の構成を工夫して自分の意図をより効果的に伝え、また筆者の意図を正しく読みとらうとする。	＜文章構成＞ パラグラフライティング パラグラフの構成について学び、読解や作文に活用できる力をつける。	○	○	○	○	◎	【知識・技能】 【知識】 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【技能】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して伝え合う技能を身に付けている。 【思考、判断、表現】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて伝え合おうとしている。	○	○	○	9
定期考査								○	○		1

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 外国語 科目 論理・表現Ⅲ

教 科： 外国語 科 目： 論理・表現Ⅲ 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 8 組

教科担当者： （1組：川上・高橋）（2組：島崎・大川）（3組：川田・大川）（4組：川上・川田）（5組：島崎・大川）（6組：川田・川上）（7組：島崎・川上）（8組：高橋・島崎）

使用教科書：（CRWON Logic and EnxpressionⅢ）

教科 外国語 の目標：

- 【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に着けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や聞き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う
- 【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、放して、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 論理・表現Ⅲ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
習得すべき知識や重要な概念等を理解している。それらを既有的知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等として理解したり、技能を習得したりしている。	知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。	知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることにに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 〔 や 〕	話 〔 発 〕 書					
Lesson1 Global Language 【知識及び技能】 文法面では「時制」「助動詞」「受動態」、機能表現面では「賛成・反対」を表す表現を理解することができる。「英語以外の外国語を学習すること」という問題をどう考えるかについて、やり取りの表現の機能に留意しながら、基本的な語彙や文法を活用して、自分の考えを詳しく伝え合う技能を身に付けることができる 【思考力、判断力、表現力等】 「英語以外の外国語を学習すること」をどう思うかについて、他者の様々な意見を参考にしながら、自分の意見を基本的な語彙や文法を活用して詳しく伝えたり相手からの質問に応答したりできる 【学びに向かう力、人間性等】 「英語以外の外国語を学習すること」をどう思うかについて、主体的に考え、他者の様々な意見も参考にしながら、自分の意見を基本的な語彙や文法を活用して主体的に表現して詳しく伝えようとしたり、相手からの質問に応答したりできる。	・主な言語材料 時制・助動詞・受動態／ 賛成・反対の表現 ・題材／場面 言語・外国語／スピーチ、ディス カッション、手紙を書く ・はたらき 賛成・反対する、主張する、理由を述べる	○	○	○	○	【知識及び技能】 文法面では「時制」「助動詞」「受動態」、機能表現面では「賛成・反対」を表す表現を理解している。「英語以外の外国語を学習すること」という問題をどう考えるかについて、やり取りの表現の機能に留意しながら、基本的な語彙や文法を活用して、自分の考えを詳しく伝え合う技能を身に付けている 【思考力、判断力、表現力等】 「英語以外の外国語を学習すること」をどう思うかについて、他者の様々な意見を参考にしながら、自分の意見を基本的な語彙や文法を活用して詳しく伝えたり、相手からの質問に応答したりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 「英語以外の外国語を学習すること」をどう思うかについて、主体的に考え、他者の様々な意見も参考にしながら、自分の意見を基本的な語彙や文法を活用して主体的に表現して詳しく伝えようとしたり、相手からの質問に応答しようとしている。	○	○	○	8
Lesson2 Millennials' Consumption Trends 【知識及び技能】 [知識] 不定詞「動名詞」「分態」、機能表現面では「例証」を表す表現を理解することができる。 [技能] [Sや]「サブスクリプション経済」をどう考えるかについて、やり取りの表現の機能に留意しながら、基本的な語彙や文法を活用して、自分の考えを詳しく伝え合う技能を身に付けることができる 【思考力、判断力、表現力等】 「ミニマリスト」の生活についてどう思うかを、論理展開に留意し、基本的な語彙や文法を活用して、読み手を意識した電子メールの原稿を書き、それを発表することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 「ミニマリスト」の生活についてどう思うかを主体的に考え、論理展開に留意し、基本的な語彙や文法を活用して、読み手を意識した電子メールの原稿を主体的に書き、それを発表することができる。 定期考査	・主な言語材料 不定詞・動名詞・分詞／ 例証の表現 ・題材／場面 経済・ビジネス／プレゼンテーション、ディベート、エッセイを書く ・はたらき 例を挙げる、説明する、主張する、理由を述べる	○	○	○	○	【知識及び技能】 [知識] 不定詞「動名詞」「分態」、機能表現面では「例証」を表す表現を理解している。 [技能] [Sや]「サブスクリプション経済」をどう考えるかについて、やり取りの表現の機能に留意しながら、基本的な語彙や文法を活用して、自分の考えを詳しく伝え合う技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 「ミニマリスト」の生活についてどう思うかを、論理展開に留意し、基本的な語彙や文法を活用して、読み手を意識した電子メールの原稿を書き、それを発表している。 【学びに向かう力、人間性等】 「ミニマリスト」の生活についてどう思うかを主体的に考え、論理展開に留意し、基本的な語彙や文法を活用して、読み手を意識した電子メールの原稿を主体的に書き、それを発表しようとしている。	○	○	○	8
1 学 期							○	○		1
Lesson3 Space Odyssey 【知識及び技能】 文法面では「仮定法」「接続詞」、機能表現面では「時間的順序」を表す表現を理解することができる。[Sや]「宇宙開発の必要性」をどう考えるかについて、やり取りの表現の機能に留意しながら、基本的な語彙や文法を活用して、自分の考えを詳しく伝え合う技能を身に付けることができる 【思考力、判断力、表現力等】 「宇宙開発の必要性」をどう考えるかについて、他者の様々な意見を参考にしながら、自分の意見を基本的な語彙や文法を活用して詳しく伝えたり、相手からの質問に応答したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 「宇宙開発の必要性」をどう考えるかについて、主体的に考え、他者の様々な意見も参考にしながら、自分の意見を基本的な語彙や文法を活用して主体的に表現して詳しく伝えようとしたり、相手からの質問に応答したりすることができる。	・主な言語材料 仮定法・接続詞／ 時間的順序を表す表現 ・題材／場面 科学・技術／スピーチ、ディスカッション、レポートを書く ・はたらき 説明する、理由を述べる、意見を述べる	○	○	○	○	【知識及び技能】 文法面では「仮定法」「接続詞」、機能表現面では「時間的順序」を表す表現を理解している。[Sや]「宇宙開発の必要性」をどう考えるかについて、やり取りの表現の機能に留意しながら、基本的な語彙や文法を活用して、自分の考えを詳しく伝え合う技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 「宇宙開発の必要性」をどう考えるかについて、他者の様々な意見を参考にしながら、自分の意見を基本的な語彙や文法を活用して詳しく伝えたり、相手からの質問に応答したりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 「宇宙開発の必要性」をどう考えるかについて、主体的に考え、他者の様々な意見も参考にしながら、自分の意見を基本的な語彙や文法を活用して主体的に表現して詳しく伝えようとしたり、相手からの質問に応答しようとしている。	○	○	○	8

Lesson 4 Art or Graffiti? 【知識及び技能】 文法面では「比較」「関係詞」、機能表現面では「確信」「提案・勧誘」「伝聞」を表す表現を理解することができる。「クローン文化財」をどう考えるかについて、やり取りの表現の機能に留意しながら、基本的な語彙や文法を活用して、自分の考えを詳しく伝え合う技能を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 「バンクシーの作品」について、論理展開に留意し、基本的な語彙や文法を活用して、読み手を意識した原稿を書き、それを発表することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 「バンクシーの作品」について主体的に考え、論理展開に留意し、基本的な語彙や文法を活用して、読み手を意識した原稿を主体的に書き、それを発表することができる。 定期考査	・主な言語材料 比較・関係詞／ 確信／提案・勧誘／伝聞の表現	・題材／場面 芸術／プレゼンテーション、デパート、投稿文を書く	・はたらき 意見を述べる、理由を述べる	○ ○ ○ ○ ○	【知識及び技能】 文法面では「比較」「関係詞」、機能表現面では「確信」「提案・勧誘」「伝聞」を表す表現を理解している。「クローン文化財」をどう考えるかについて、やり取りの表現の機能に留意しながら、基本的な語彙や文法を活用して、自分の考えを詳しく伝え合う技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 「バンクシーの作品」について、論理展開に留意し、基本的な語彙や文法を活用して、読み手を意識した原稿を書き、それを発表している。 【学びに向かう力、人間性等】 「バンクシーの作品」について主体的に考え、論理展開に留意し、基本的な語彙や文法を活用して、読み手を意識した原稿を主体的に書き、それを発表しようとしている。	○ ○ ○ ○ ○	8
Lesson 5 Are You a Great Creative Thinker? 【知識及び技能】 文法面では「疑問詞」、機能表現面では「忠告・義務」「必要」「譲歩」を表す表現を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 「メディアリテラシー」をどう考えるかについて、他者の様々な意見を参考にしながら、自分の意見を基本的な語彙や文法を活用して詳しく伝えたり、相手からの質問に応答することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 「メディアリテラシー」をどう考えるかについて、主体的に考え、他者の様々な意見も参考にしながら、自分の意見を基本的な語彙や文法を活用して主体的に表現して詳しく伝えようとしたり、相手からの質問に応答したりすることができる。	・主な言語材料 疑問詞／ 忠告・義務／必要／譲歩の表現	・題材／場面 情報・リテラシー／スピーチ、ディスカッション、エッセイを書く	・はたらき 意見を述べる、理由を述べる	○ ○ ○ ○ ○	【知識及び技能】 文法面では「疑問詞」、機能表現面では「忠告・義務」「必要」「譲歩」を表す表現を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「メディアリテラシー」をどう考えるかについて、他者の様々な意見を参考にしながら、自分の意見を基本的な語彙や文法を活用して詳しく伝えたり、相手からの質問に応答したりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 「メディアリテラシー」をどう考えるかについて、主体的に考え、他者の様々な意見も参考にしながら、自分の意見を基本的な語彙や文法を活用して主体的に表現して詳しく伝えようとしたり、相手からの質問に応答したりしようとしている。	○ ○ ○ ○ ○	8
Lesson 6 Are You a Great Creative Thinker? 【知識及び技能】 「否定」「比較・対照」を表す表現を理解することができる。[Sや]「レストランの売り上げ向上方法」や「若手起業家」についての考えを、やり取りの表現の機能に留意しながら、基本的な語彙や文法を活用して、詳しく伝え、質疑応答に応じる技能を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 「レストランの売り上げ向上方法」や「若手起業家」について、論理展開に留意し、基本的な語彙や文法を活用して、読み手を意識した原稿を書き、それを発表することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 「レストランの売り上げ向上方法」や「若手起業家」について主体的に考え、論理展開に留意し、基本的な語彙や文法を活用して、読み手を意識した原稿を主体的に書き、それを発表することができる。 定期考査	・主な言語材料 否定／ 比較・対照を表す表現	・題材／場面 創造性／プレゼンテーション、エッセイを書く	・はたらき 説明する、意見を述べる、理由を述べる	○ ○ ○ ○ ○	【知識及び技能】 「否定」「比較・対照」を表す表現を理解している。[Sや]「レストランの売り上げ向上方法」や「若手起業家」についての考えを、やり取りの表現の機能に留意しながら、基本的な語彙や文法を活用して、詳しく伝え、質疑応答に応じる技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 「レストランの売り上げ向上方法」や「若手起業家」について、論理展開に留意し、基本的な語彙や文法を活用して、読み手を意識した原稿を書き、それを発表している。 【学びに向かう力、人間性等】 「レストランの売り上げ向上方法」や「若手起業家」について主体的に考え、論理展開に留意し、基本的な語彙や文法を活用して、読み手を意識した原稿を主体的に書き、それを発表しようとしている。	○ ○ ○ ○ ○	8
2 学期 Lesson 7 Green Wisdom 【知識及び技能】 文法面では「名詞」「冠詞」、機能表現面では「統計資料を説明する表現」を理解することができる。「エコツーリズム」のメリットとデメリットについての考えを、やり取りの表現の機能に留意しながら、基本的な語彙や文法を活用して、詳しく伝え合い、質疑応答に応じる技能を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 「エコツーリズム」のメリットとデメリットについて、他者の様々な意見を参考にしながら、自分の意見を基本的な語彙や文法を活用して詳しく伝えたり、相手からの質問に応答したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 「エコツーリズム」のメリットとデメリットについて、主体的に考え、他者の様々な意見も参考にしながら、自分の意見を基本的な語彙や文法を活用して主体的に表現して詳しく伝えようとしたり、相手からの質問に応答したりしようとする。	・主な言語材料 名詞・冠詞／ 統計資料を説明する表現	・題材／場面 環境／スピーチ、ディスカッション、エッセイを書く	・はたらき 説明する、意見を述べる、理由を述べる、例を挙げる	○ ○ ○ ○ ○	【知識及び技能】 文法面では「名詞」「冠詞」、機能表現面では「統計資料を説明する表現」を理解している。「エコツーリズム」のメリットとデメリットについての考えを、やり取りの表現の機能に留意しながら、基本的な語彙や文法を活用して、詳しく伝え合い、質疑応答に応じる技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 「エコツーリズム」のメリットとデメリットについて、他者の様々な意見を参考にしながら、自分の意見を基本的な語彙や文法を活用して詳しく伝えたり、相手からの質問に応答したりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 「エコツーリズム」のメリットとデメリットについて、主体的に考え、他者の様々な意見も参考にしながら、自分の意見を基本的な語彙や文法を活用して主体的に表現して詳しく伝えようとしたり、相手からの質問に応答したりしようとしている。	○ ○ ○ ○ ○	7
Lesson 8 What Is Happiness? 【知識及び技能】 文法面では「特殊構文」、機能表現面では「因果関係」を表す表現を理解することができる。「SDG s」についての考えを、やり取りの表現の機能に留意しながら、基本的な語彙や文法を活用して、詳しく伝え合い、質疑応答に応じる技能を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 「クリス・ムーンのメッセージ」について、論理展開に留意し、基本的な語彙や文法を活用して、読み手を意識した原稿を書き、それを発表することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 「クリス・ムーンのメッセージ」について、主体的に考え、論理展開に留意し、基本的な語彙や文法を活用して、読み手を意識した原稿を主体的に書き、それを発表することができる。 定期考査	・主な言語材料 特殊構文／ 因果関係を表す表現	・題材／場面 平和・幸福論／プレゼンテーション、ディスカッション、エッセイを書く	・はたらき 説明する、意見を述べる、理由を述べる、例を挙げる	○ ○ ○ ○ ○	【知識及び技能】 文法面では「特殊構文」、機能表現面では「因果関係」を表す表現を理解している。「SDG s」についての考えを、やり取りの表現の機能に留意しながら、基本的な語彙や文法を活用して、詳しく伝え合い、質疑応答に応じる技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 「クリス・ムーンのメッセージ」について、論理展開に留意し、基本的な語彙や文法を活用して、読み手を意識した原稿を書き、それを発表している。 【学びに向かう力、人間性等】 「クリス・ムーンのメッセージ」について、主体的に考え、論理展開に留意し、基本的な語彙や文法を活用して、読み手を意識した原稿を主体的に書き、それを発表しようとしている。	○ ○ ○ ○ ○	7
3 学期 過去問演習						○ ○	1
							4

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 外国語 科目 英語総合

教 科： 外国語 科 目： 英語総合 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 組～ 組

教科担当者：（木曜日：大川、川上、小幡）（金曜日：島崎、青山）

使用教科書：（Heartening English Communication III、英語長文問題演習、Skyward Sky Course）

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、語法などの理解を深めると共に、これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に着けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や聞き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う

【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、積極的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語総合	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
外国語の音声や語彙、表現、文法、語法などの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことを含む実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	【思考力、判断力、表現力等】
外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、積極的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 〔 や 〕	話 〔 発 〕					
1 学 期	A ・長文演習 ・大学入試過去問演習 に取り組みながら、英文を読む力を伸ばす。	・入試頻出テーマの長文を読み、読解力を高めると共に背景知識を深める。 ・既習文法を英文読解に運用できるようにする。 ・継続的に多くの英文を読みながら、読むスピードを上げ、意識的に読む量を増やす。	○		○	①パラグラフリーディングができる。 ②文構造の理解をベースに、文法の知識を活用して高度の英文読解ができる。 ③構文の把握・運用ができる	○	○	○	12
	定期考査						○	○		1
	B ・長文演習 ・大学入試過去問演習 に取り組みながら、英文を読む力を伸ばす。	・入試頻出テーマの長文を読み、読解力を高めると共に背景知識を深める。 ・既習文法を英文読解に運用できるようにする。 ・継続的に多くの英文を読みながら、読むスピードを上げ、意識的に読む量を増やす。	○		○	①パラグラフリーディングができる。 ②文構造の理解をベースに、文法の知識を活用して高度の英文読解ができる。 ③構文の把握・運用ができる	○	○	○	16
	定期考査						○	○		1
2 学 期	C ・長文演習 ・大学入試過去問演習 に取り組みながら、英文を読む力を伸ばす。	・入試頻出テーマの長文を読み、読解力を高めると共に背景知識を深める。 ・既習文法を英文読解に運用できるようにする。 ・継続的に多くの英文を読みながら、読むスピードを上げ、意識的に読む量を増やす。	○		○	①パラグラフリーディングができる。 ②文構造の理解をベースに、文法の知識を活用して高度の英文読解ができる。 ③構文の把握・運用ができる				14
	定期考査						○	○		1
	D ・長文演習 ・大学入試過去問演習 に取り組みながら、英文を読む力を伸ばす。	・入試頻出テーマの長文を読み、読解力を高めると共に背景知識を深める。 ・既習文法を英文読解に運用できるようにする。 ・継続的に多くの英文を読みながら、読むスピードを上げ、意識的に読む量を増やす。	○		○	①パラグラフリーディングができる。 ②文構造の理解をベースに、文法の知識を活用して高度の英文読解ができる。 ③構文の把握・運用ができる				14
	定期考査						○	○		1
3 学 期	E ・長文演習 ・大学入試過去問演習 に取り組みながら、英文を読む力を伸ばす。	・入試頻出テーマの長文を読み、読解力を高めると共に背景知識を深める。 ・既習文法を英文読解に運用できるようにする。 ・継続的に多くの英文を読みながら、読むスピードを上げ、意識的に読む量を増やす。	○		○	①パラグラフリーディングができる。 ②文構造の理解をベースに、文法の知識を活用して高度の英文読解ができる。 ③構文の把握・運用ができる				10

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 芸術 科目 音楽Ⅱ

教科：芸術 科目：音楽Ⅱ 単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 8 組 音楽選択者

教科担当者：（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）

使用教科書：（ tutti+ ）

教科 音楽Ⅱ の目標：

【知識及び技能】曲想、音楽の構造、歴史的背景など音楽の多様な特性を理解しながら、創意工夫を生かした音楽表現に必要な技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】音楽が成り立つ要素を理解しながら、楽曲の特性をふまえて理想の表現を追求する。

【学びに向かう力、人間性等】音や音楽、音楽文化と豊かにかかわり、主体性をもって表現や学習活動に取り組む。

科目 音楽Ⅱ	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
音階、調性整判断、音楽史、音程を理解する。ビ 7/独奏、イタリア歌曲独唱、新曲視唱を正確に演 奏する。聴音を正確に書き取る。	身体でリズムを感じ取りながら、表情豊かにビ7/独奏、 イタリア歌曲独唱を行う。楽曲の構造や内容についての 思考をふまえて演奏に活かす。
	技能を高めるために模範演奏の情報を得るなどして音楽表現 の技能を常に向上させようと追求する。豊かな音楽性を身に 付け生涯にわたる音楽を愛好する心情を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創						
1 学 期	受験実技演習・不得意分野見極め 【知識及び技能】 楽典、新曲視唱 【思考力、判断力、表現力等】 イタリア歌曲表現、ビ7/表現 【学びに向かう力、人間性等】 多岐にわたる音楽表現での技能を授 業以外でも計画性を持ち常に高めよ うとしているか	①楽典：単元の理解 ②聴音：単旋律・四声体 ③新曲視唱：正確な音程とリズム ④ビ7/実技：技術・表現力 ⑤声楽実技：発声・音程・発音・ 表現	○	○		○	【知識・技能】楽典の各項目の知識を習得する、演奏実 技の向上を図る、聴音書き取り技能、新曲視唱技能 【思考・判断・表現】楽典問題を迷わずに回答できる か、演奏実技に豊かな表現力が加えられているか 【主体的に学習に取り組む態度】授業以外でも計画性を 持ち、多岐にわたる分野を学習できているか。	○	○	○	26
	受験実技演習・不得意分野重点 【知識及び技能】 楽典、新曲視唱 【思考力、判断力、表現力等】 イタリア歌曲表現、ビ7/表現 【学びに向かう力、人間性等】 多岐にわたる音楽表現での技能を授 業以外でも計画性を持ち常に高めよ うとしているか	①楽典：単元の理解 ②聴音：単旋律・四声体 ③新曲視唱：正確な音程とリズム ④ビ7/実技：技術・表現力 ⑤声楽実技：発声・音程・発音・ 表現	○	○		○	【知識・技能】楽典の各項目の知識を習得する、演奏実 技の向上を図る 【思考・判断・表現】楽典問題を迷わずに回答できる か、演奏実技に豊かな表現力が加えられているか 【主体的に学習に取り組む態度】授業以外でも計画性を 持ち、多岐にわたる分野を学習できているか。	○	○	○	
2 学 期	受験実技演習・不得意分野重点 【知識及び技能】 楽典、新曲視唱 【思考力、判断力、表現力等】 イタリア歌曲表現、ビ7/表現 【学びに向かう力、人間性等】 多岐にわたる音楽表現での技能を授 業以外でも計画性を持ち常に高めよ うとしているか	①楽典：単元の理解 ②聴音：単旋律・四声体 ③新曲視唱：正確な音程とリズム ④ビ7/実技：技術・表現力 ⑤声楽実技：発声・音程・発音・ 表現	○	○		○	【知識・技能】楽典の各項目の知識を習得する、演奏実 技の向上を図る 【思考・判断・表現】楽典問題を迷わずに回答できるか、演 奏実技に豊かな表現力が加えられているか 【主体的に学習に取り組む態度】授業以外でも計画性を 持ち、多岐にわたる分野を学習できているか。	○	○	○	30
	受験実技演習・試験想定実技 【知識及び技能】 楽典、新曲視唱 【思考力、判断力、表現力等】 イタリア歌曲表現、ビ7/表現 【学びに向かう力、人間性等】 多岐にわたる音楽表現での技能を授 業以外でも計画性を持ち常に高めよ うとしているか	①楽典：単元の理解 ②聴音：単旋律・四声体 ③新曲視唱：正確な音程とリズム ④ビ7/実技：技術・表現力 ⑤声楽実技：発声・音程・発音・ 表現	○	○		○	【知識・技能】楽典の各項目の知識を習得する、演奏実 技の向上を図る 【思考・判断・表現】楽典問題を迷わずに回答できるか、演 奏実技に豊かな表現力が加えられているか 【主体的に学習に取り組む態度】授業以外でも計画性を 持ち、多岐にわたる分野を学習できているか。	○	○	○	
3 学 期	受験実技演習・試験想定実技 【知識及び技能】 楽典、新曲視唱 【思考力、判断力、表現力等】 イタリア歌曲表現、ビ7/表現 【学びに向かう力、人間性等】 多岐にわたる音楽表現での技能を授 業以外でも計画性を持ち常に高めよ うとしているか	①楽典：単元の理解 ②聴音：単旋律・四声体 ③新曲視唱：正確な音程とリズム ④ビ7/実技：技術・表現力 ⑤声楽実技：発声・音程・発音・ 表現	○	○		○	【知識・技能】楽典の各項目の知識を習得する、演奏実 技の向上を図る 【思考・判断・表現】楽典問題を迷わずに回答できるか、演 奏実技に豊かな表現力が加えられているか 【主体的に学習に取り組む態度】授業以外でも計画性を 持ち、多岐にわたる分野を学習できているか。	○	○	○	14
	受験後実技テスト詳細記録作成	受験後実技テスト詳細記録作成					後輩に役立つ情報が発信できたか。			○	

高等学校 令和 6 年度（3学年用） 教科 自 自 選 科目 美術Ⅱ

教 科： 自 選 科 目： 美術Ⅱ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（ 組：渡辺）

使用教科書：（ 高校生の美術2 ）

- 教科 自 選 の目標：
- 【知 識 及 び 技 能】 希望進学先の試験及び社会の情報収集に努め、自らの知識技術を向上する努力をする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 情報収集や技術研鑽から得た自らの意図的な表現を他者に伝えることが出来る。
- 【学びに向かう力、人間性等】 自ら課題を見つけ、それに向かい努力することが出来る。また、共有教材、施設を大切に扱うことが出来る。

科目 美術Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
希望進学先の試験及び社会の情報収集をし、自らの知識技術を向上する努力をする。	情報収集や技術研鑽から得た自らの意図的な表現を他者に伝えることが出来る。	自ら課題を見つけ、それに向かい努力することが出来る。 また、共有教材、施設を大切に扱うことが出来る。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			絵 ・ 彫	デ	映	鑑 賞					
1 学 期	単元 鉛筆デッサン モチーフ；静物 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 静物のデッサンから、各自の課題を見つける ・教材 鉛筆、画用紙 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	技術点、平常点、情報収集力、情報圧縮力、伝達力を総合的に評価する。	○	○	○	12
	単元 アクリル画基礎 モチーフ；静物 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 技術研鑽をする ・教材 鉛筆、画用紙、アクリル絵の具 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	技術点、平常点、情報収集力、情報圧縮力、伝達力を総合的に評価する。	○	○	○	
	単元 構成課題 ポスター 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 技術向上を目指し、出来る事のレパートリーを増やす ・教材 鉛筆、ケントボード、筆、アクリル絵の具 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	技術点、平常点、情報収集力、情報圧縮力、伝達力を総合的に評価する。	○	○	○	14
2 学 期	単元 立体基礎 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 苦手分野の補充 ・教材 粘土板、油性粘土 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	技術点、平常点、情報収集力、情報圧縮力、伝達力を総合的に評価する。	○	○	○	10
	単元 入試過去問題 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 入試同様の時間内に完成度の高い作品を完成出来るように努力する ・教材 鉛筆、画用紙、ケントボード、筆、アクリル絵の具、木炭、油彩 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	技術点、平常点、情報収集力、情報圧縮力、伝達力を総合的に評価する。	○	○	○	20
3 学 期	単元 デッサン 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 課題に取り組み完成度を上げる ・教材 鉛筆、画用紙、ケント紙、木炭、木炭紙、アクリル絵の具、油彩 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	技術点、平常点、情報収集力、情報圧縮力、伝達力を総合的に評価する。	○	○	○	14